

女性の就業ニーズ調査

報 告 書

平成29年度

横浜市政策局男女共同参画推進課

目 次

I 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査の内容	1
4. 回収結果	3
5. 集計にあたって	3
6. 回答者の属性	
(1) 年齢【F 1】	4
(2) 居住区【F 2】	5
(3) 最終学歴【F 3】	6
(4) 現在、結婚しているか【F 4】	6
(5) 夫・パートナーの就業状況【F 5】	7
(6) 夫・パートナーの年収【F 6】	7
(7) 子どもの有無【F 7】	8
(8) 同居している子ども(末子)の年齢【F 8】	9
(9) 現在の就業状況【F 9】	9
(10) 収入を伴う仕事をしている人の働き方(雇用形態)【F10】	12
(11) 収入を伴う仕事をしている人の年収【F11】	13
(12) 収入を伴う仕事はしていない人の現況【F12】	14

II 調査の結果 ※★は新規設問

1. 現在、収入を伴う仕事をしている人について	
(1) 現在の仕事に就いた時期【問1】	15
(2) 働き始めることができた理由【問2】	16
(3) 現在の勤務先の業種【問3】	19
(4) 現在の職種【問4】	19
(5) 経営層・管理職になりたいか【問5★】	20
(6) 現在の働き方・将来希望する働き方【問6★】	21
(7) 現在の仕事に活かしている資格【問7】[自由回答]	23
(8) 働いている理由【問8】	24
(9) 現在の仕事の継続意向【問9】	27
(10) 仕事を変えたいと思う理由【問10】	28
(11) 配偶者控除・配偶者の第三号被保険者扱いの制度の認識【問11】	29

(12) 働き続けていく上での悩みや不安【問 12】	30
(13) 女性が働き続けていくために必要だと思うこと【問 13】	33
2. 現在、収入を伴う仕事はしていない人について	
(1) 過去の就業経験【問 14】	34
(2) 現在、仕事をしていない理由【問 15】	35
(3) 仕事を辞めた時期【問 16】	36
(4) 仕事を辞めた理由【問 17】	37
(5) 仕事を続けるために必要だったと思うこと【問 18★】 [自由回答]	38
(6) 最後に働いていた時の働き方（雇用形態）【問 19】	40
(7) 最後に勤めていた勤務先の業種【問 20】	40
(8) 最後に勤めていた職種【問 21】	41
(9) 今後の就業意向【問 22】	41
(10) 働きたいと思う理由【問 23】	43
(11) 希望する働き方（雇用形態）【問 24★】	44
(12) 資格や経験を活かした就業意向【問 25】	47
(13) 現在持っている資格・今後取得したい資格【問 26★】 [自由回答]	48
(14) 今後、仕事をする上で不安に思うこと・問題になること【問 27】	49
(15) 就業を希望しない理由【問 28】	50
(16) 働くために企業に求めること【問 29★】	51
(17) 働くために行政に求める支援【問 30】	53
(18) 就職するために足りないと感じていること【問 31★】 [自由回答]	55
3. 女性が働くこと・働き続けることについて	
(1) 内容別の回答件数	57
(2) 内容別の代表的な回答	58

Ⅲ 結果の分析

1. 女性の年齢階級別労働力率について	63
2. 現在、収入を伴う仕事をしている人について	65
3. 現在、収入を伴う仕事はしていない人について	66
4. 企業や行政に求められていること	67

[巻末資料]

調査票および単純集計表	69
-------------	----

I 調査の概要

1. 調査の目的

横浜市では、第4次横浜市男女共同参画行動計画に基づき、あらゆる分野における女性の活躍推進に取り組んでいる。

「日本一女性が働きやすい、働きがいのある都市横浜」の実現を目指し、平成28年4月、横浜市と市内経済団体を中心とした関係団体が集まり、「横浜市女性活躍推進協議会」を設立し、横浜市の女性活躍の更なる推進に向けて、行政と市内企業が連携して課題と解決策の検討を行っているところである。

本調査は、女性の就業に関する希望や悩み、必要とされる支援などを把握し、横浜市の施策や市内企業の取組をさらに進めるための基礎資料とすることを目的に実施するものである。

2. 調査の設計

調査対象	横浜市内在住の満20歳以上49歳以下の女性3,000人について、住民基本台帳から無作為に抽出
調査方法	調査票の郵送による配布および回収
調査期間	平成29年12月13日～平成30年1月12日

3. 調査の内容

調査票の設問内容は、次のとおりである。

内容	設問
回答者属性	(1) 年齢【F1】 (2) 居住区【F2】 (3) 最終学歴【F3】 (4) 現在、結婚しているか【F4】 (5) 夫・パートナーの就業状況【F5】 (6) 夫・パートナーの年収【F6】 (7) 子どもの有無【F7】 (8) 同居している子ども(末子)の年齢【F8】 (9) 現在の就業状況【F9】 (10) 収入を伴う仕事をしている人の働き方(雇用形態)【F10】 (11) 収入を伴う仕事をしている人の年収【F11】 (12) 収入を伴う仕事はしていない人の現況【F12】

内容	設 問※★は新規設問
現在、収入を伴う仕事をしている人について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 現在の仕事に就いた時期【問 1】 (2) 働き始めることができた理由【問 2】 (3) 現在の勤務先の業種【問 3】 (4) 現在の職種【問 4】 (5) 経営層・管理職になりたいか【問 5★】 (6) 現在の働き方・将来希望する働き方【問 6★】 (7) 現在の仕事に活かしている資格【問 7】 [自由回答] (8) 働いている理由【問 8】 (9) 現在の仕事の継続意向【問 9】 (10) 仕事を変えたいと思う理由【問 10】 (11) 配偶者控除・配偶者の第三号被保険者扱いの制度の認識【問 11】 (12) 働き続けていく上での悩みや不安【問 12】 (13) 女性が働き続けていくために必要だと思うこと【問 13】
現在、収入を伴う仕事はしていない人について	<ul style="list-style-type: none"> (1) 過去の就業経験【問 14】 (2) 現在、仕事をしていない理由【問 15】 (3) 仕事を辞めた時期【問 16】 (4) 仕事を辞めた理由【問 17】 (5) 仕事を続けるために必要だったと思うこと【問 18★】 [自由回答] (6) 最後に働いていた時の働き方（雇用形態）【問 19】 (7) 最後に勤めていた勤務先の業種【問 20】 (8) 最後に勤めていた職種【問 21】 (9) 今後の就業意向【問 22】 (10) 働きたいと思う理由【問 23】 (11) 希望する働き方（雇用形態）【問 24★】 (12) 資格や経験を活かした就業意向【問 25】 (13) 現在持っている資格・今後取得したい資格【問 26★】 [自由回答] (14) 今後、仕事をする上で不安に思うこと・問題になること【問 27】 (15) 就業を希望しない理由【問 28】 (16) 働くために企業に求めること【問 29★】 (17) 働くために行政に求める支援【問 30】 (18) 就職するために足りないと感じていること【問 31★】 [自由回答]
自由意見	女性が働くこと・働き続けることについて【問 32】 [自由回答]

4. 回収結果

調査票の回収状況は、次のとおりである。

配布票数	2,998 票 (送付数 3,000 票のうち 2 票は住所不在)
有効回収票数	817 票
有効回収率	27.3%

5. 集計にあたって

- ◆ 単数回答の設問についての回答者割合の%値は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が 100.0%にならないことがある。
- ◆ 複数回答の設問についての回答者割合の%値は、各設問の回答者の総数 (n) を基数として比率を算出しているため、合計は 100.0%を超える。
- ◆ 標本数「N」「n」は、設問に対する回答者の総数を表している。
- ◆ クロス集計の結果について、分析軸の項目のうちn数が少ないもの(10未満)については、分析項目の対象外としたり、他の分析項目の回答と合算したりしているものがある。

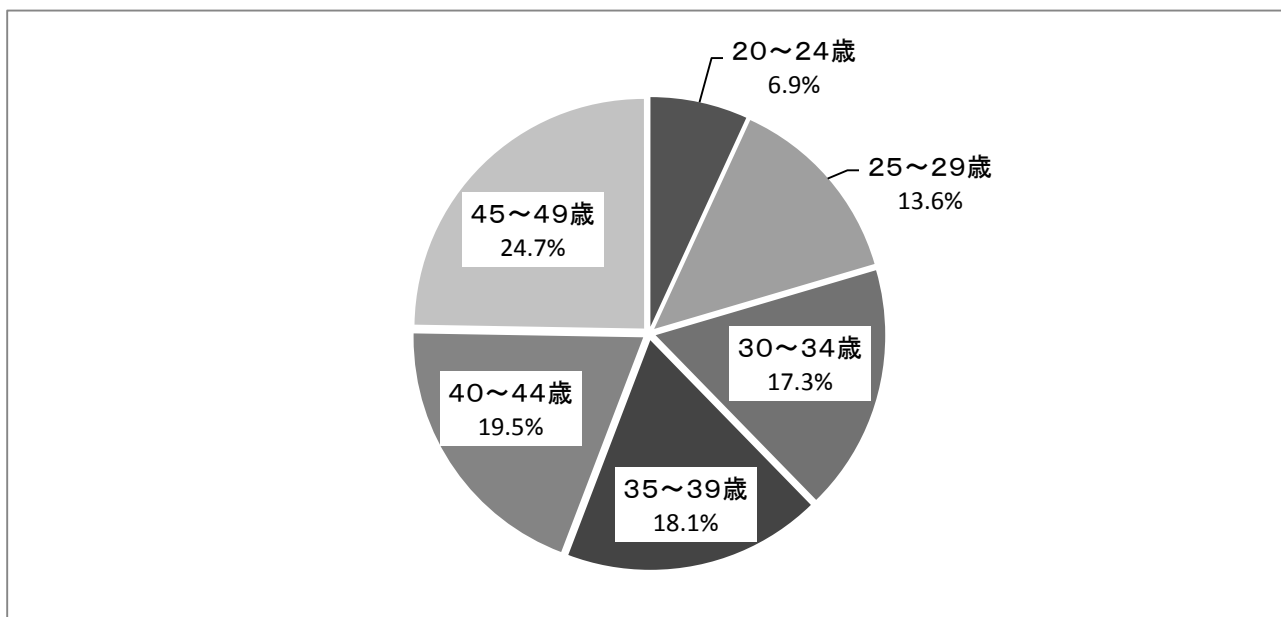
6. 回答者の属性

(1) 年齢【F1】

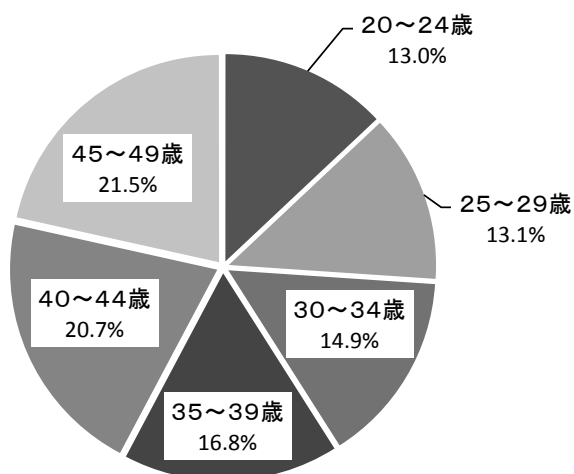
回答者の年齢構成は次のとおりである。

なお、平成29年1月1日現在における、横浜市民の調査対象と同じ年齢（20～49歳）である女性（732,424人）の実際の年齢構成は＜参考＞のとおりである。

回答者の年齢構成（N=817）



＜参考＞横浜市民（20～49歳女性）の年齢構成（732,424人）

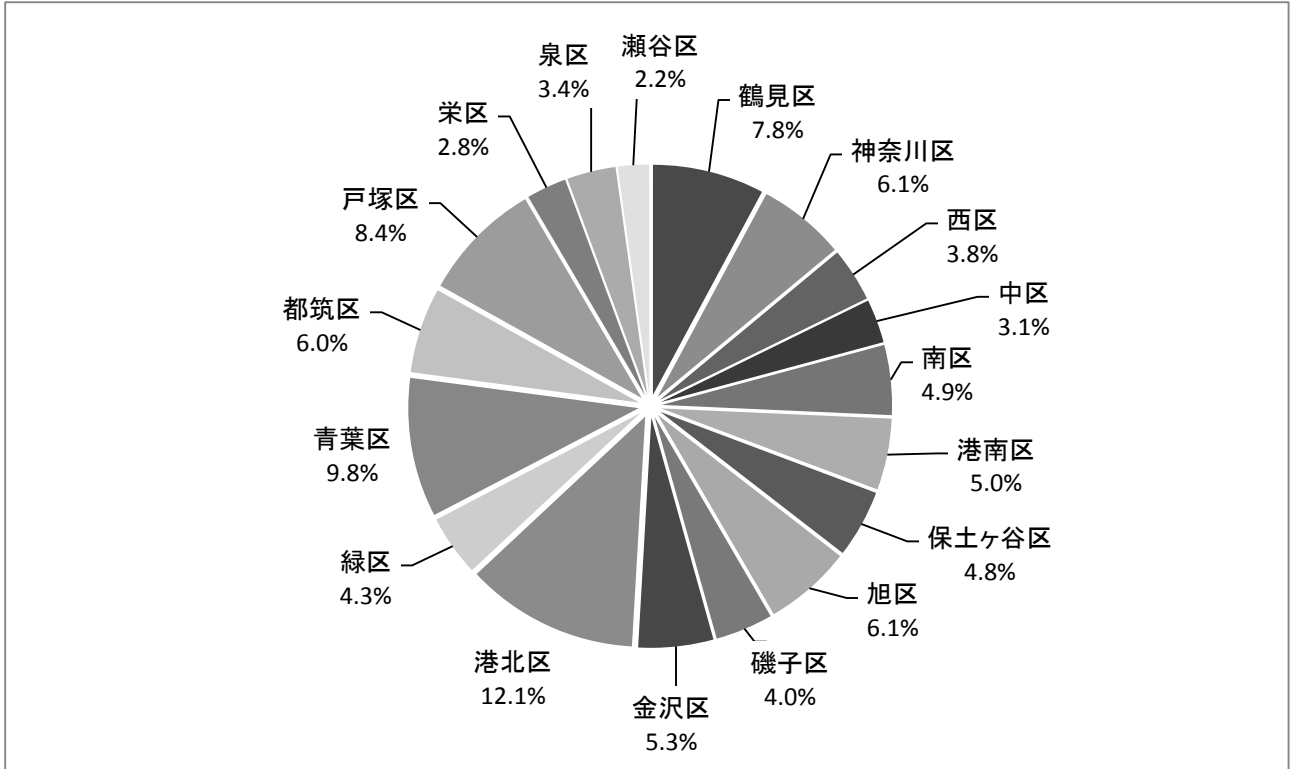


(2) 居住区【F2】

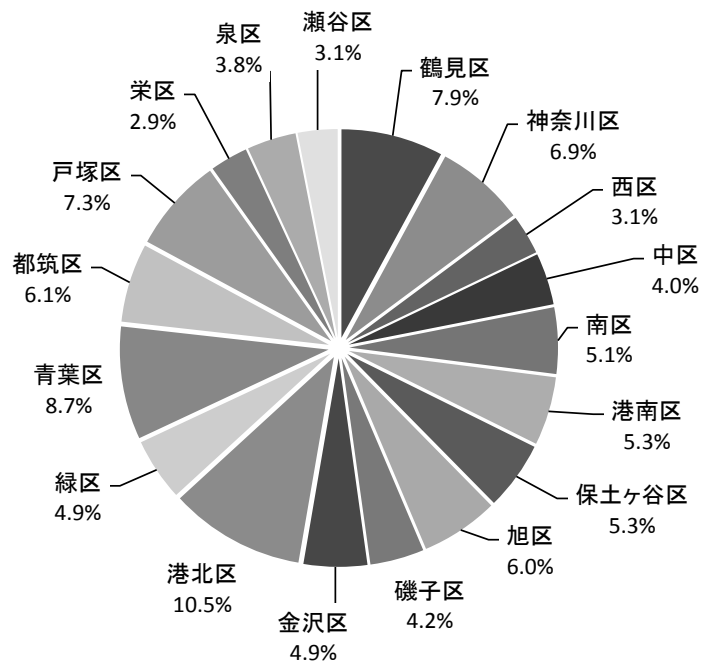
回答者の居住区は次のとおりである。

なお、平成29年1月1日現在における、横浜市民の調査対象と同じ年齢（20～49歳）である女性（732,424人）の実際の居住区は＜参考＞のとおりである。

回答者の居住区（N=817）



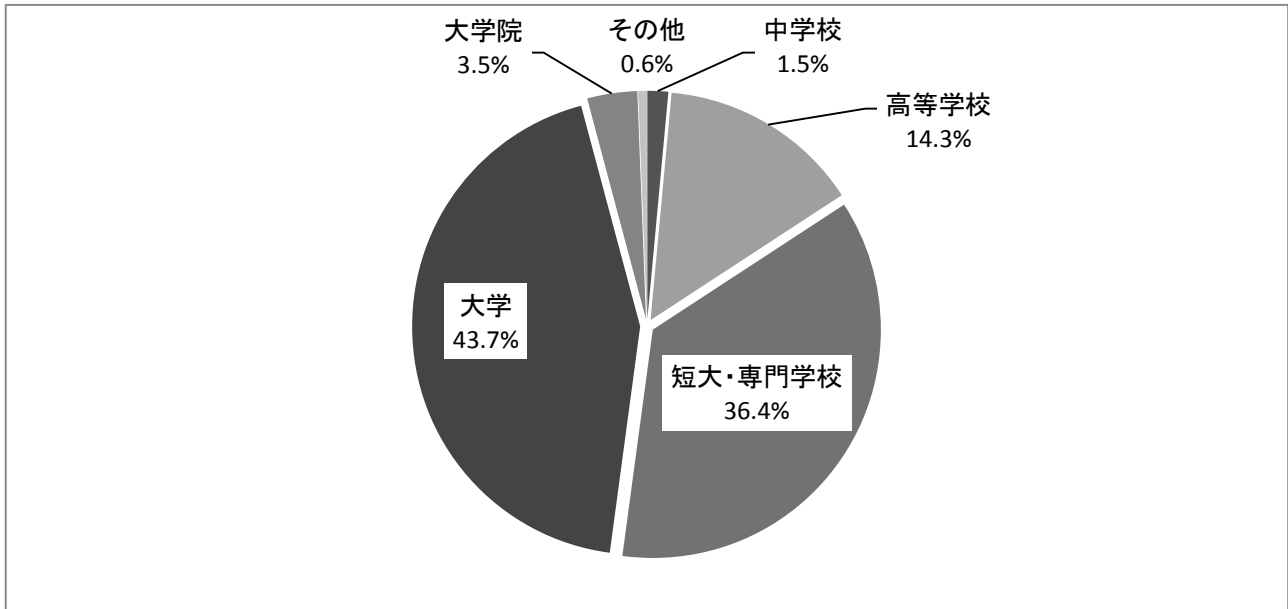
＜参考＞横浜市民（20～49歳女性）の居住区（732,424人）



(3) 最終学歴【F3】

最後に卒業した学校（または在学中の学校）を尋ねたところ、「大学」が最も多く 43.7%、次いで「短大・専門学校」が 36.4%となっている。

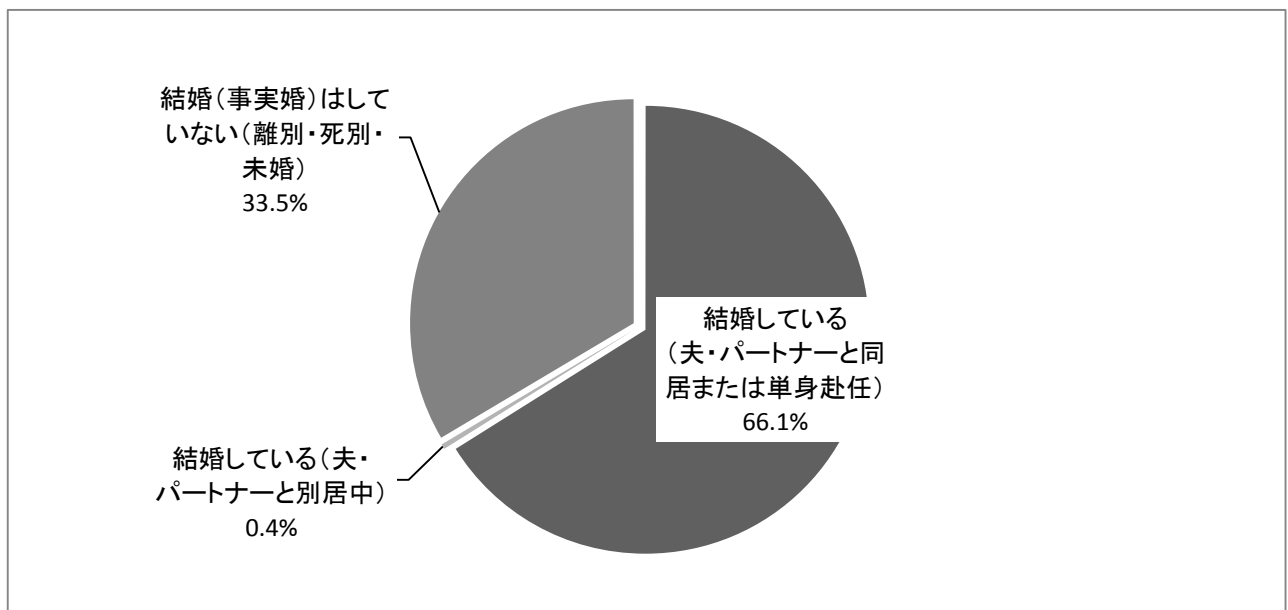
回答者の最終学歴（N=817）



(4) 現在、結婚しているか【F4】

現在、結婚しているか（事実婚も含む）を尋ねたところ、「結婚している」が 66.5%を占めている。

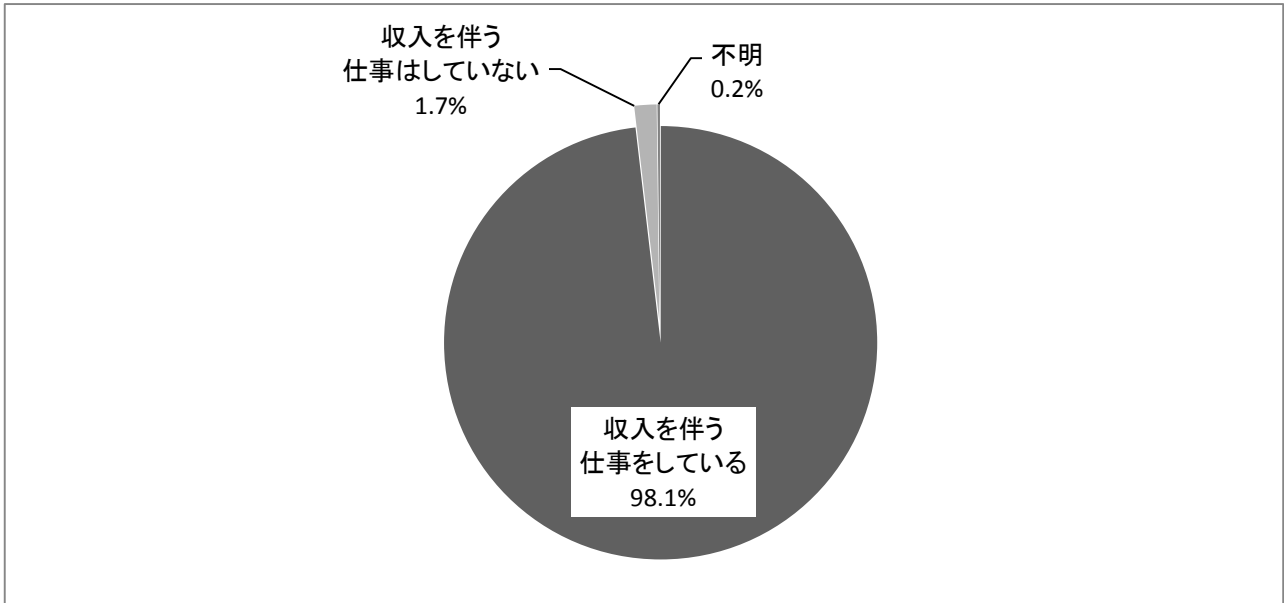
現在、結婚しているか（N=817）



(5) 夫・パートナーの就業状況【F5】

【F4】で「結婚している（夫・パートナーと同居または単身赴任）」と回答した方（540人）に、夫・パートナーは現在、収入を伴う仕事をしているかを尋ねたところ、「収入を伴う仕事をしている」がほとんどを占めている。

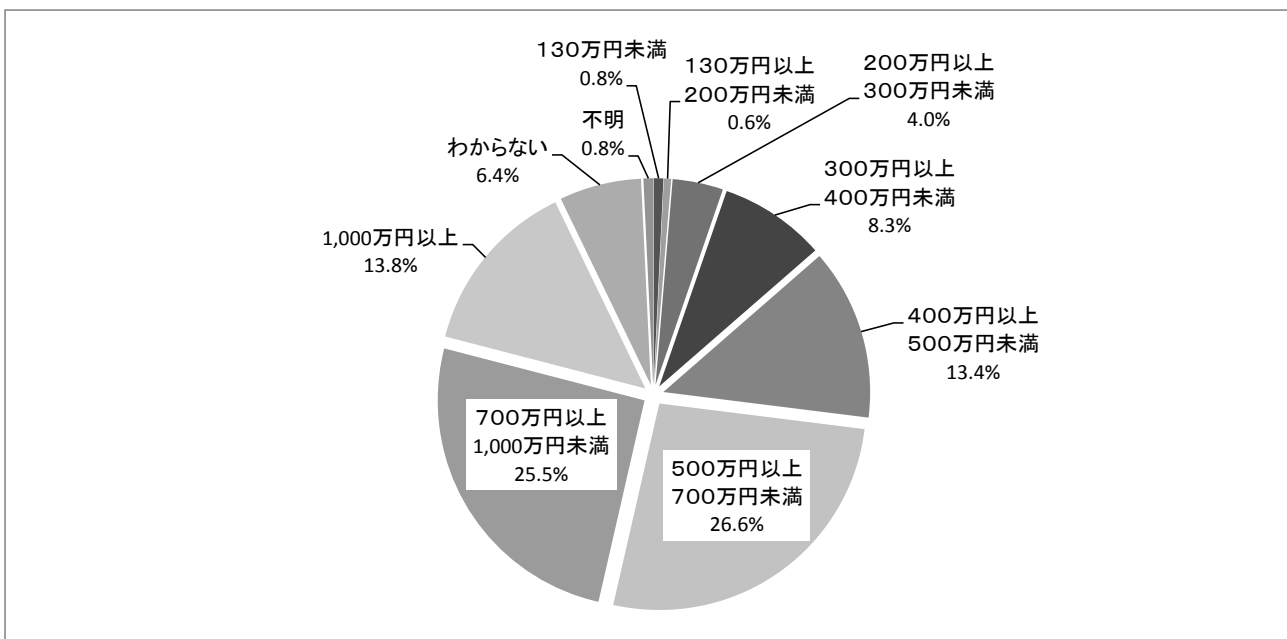
夫・パートナーの就業状況（n=540）



(6) 夫・パートナーの年収【F6】

【F5】で「収入を伴う仕事をしている」と回答した方（530人）に、夫・パートナーの年収を尋ねたところ、「500万円以上700万円未満」が最も多く26.6%、次いで「700万円以上1,000万円未満」が25.5%となっている。

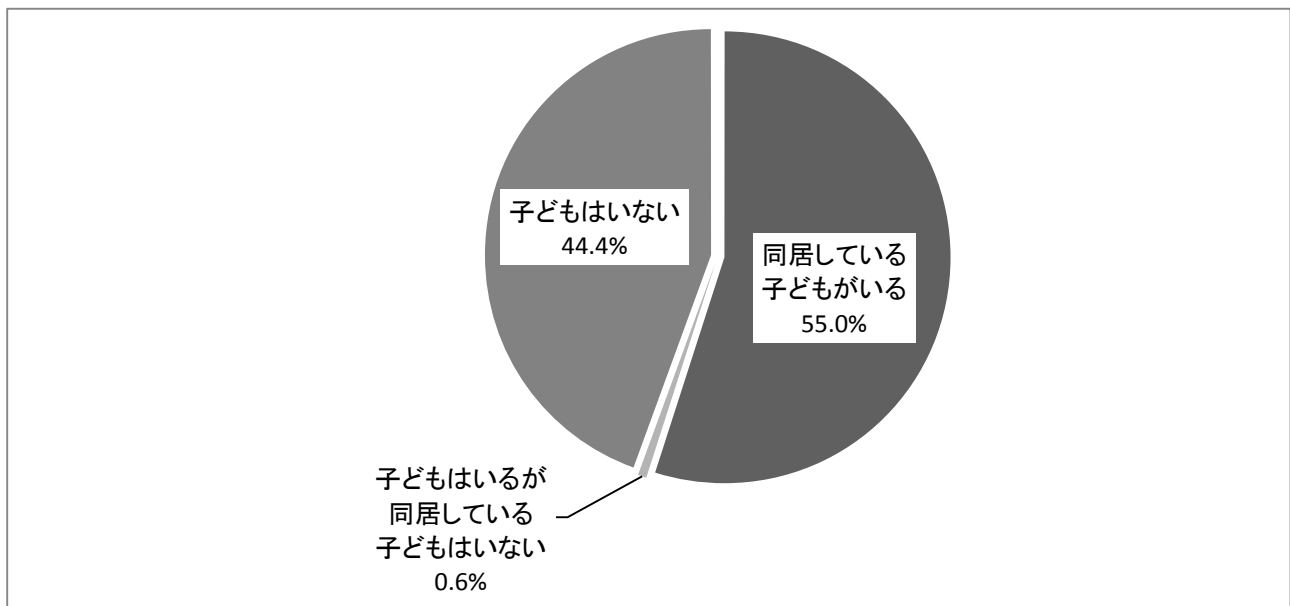
夫・パートナーの年収（n=530）



(7) 子どもの有無【F7】

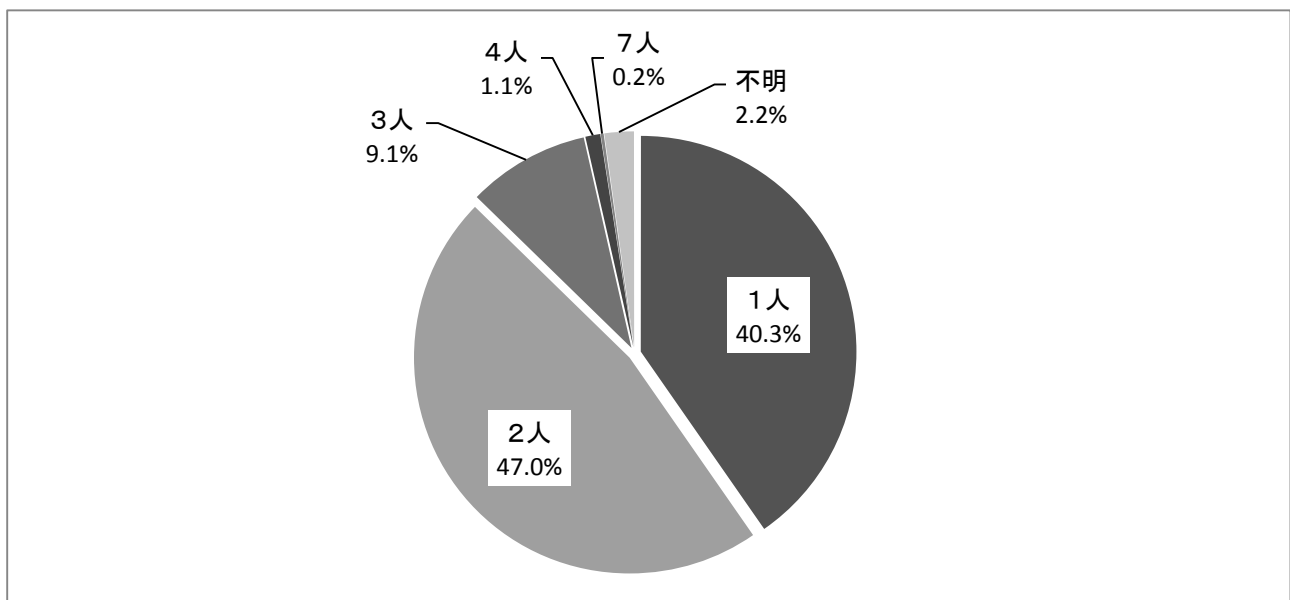
子どもがいるかを尋ねたところ、「子どもがいる」が55.6%を占めている。

子どもの有無 (N=817)



また、「同居している子どもがいる」と回答した方(449人)に、同居している子どもの人数を尋ねたところ、「2人」が最も多く47.0%、次いで「1人」が40.3%となっている。

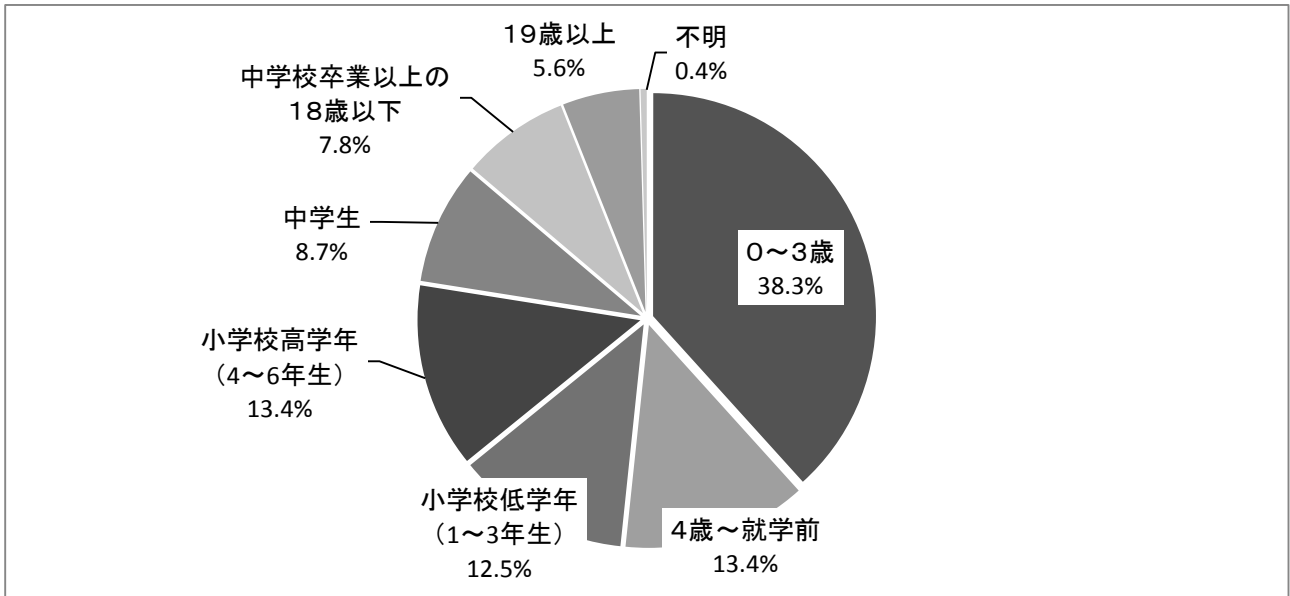
同居している子どもの人数 (n=449)



(8) 同居している子ども(末子)の年齢【F 8】

【F 7】で「同居している子どもがいる」と回答した方(449人)に、同居している一番下の子ども(末子)の年齢を尋ねたところ、「0～3歳」が最も多く38.3%、次いで「4歳～就学前」が13.4%となっている。

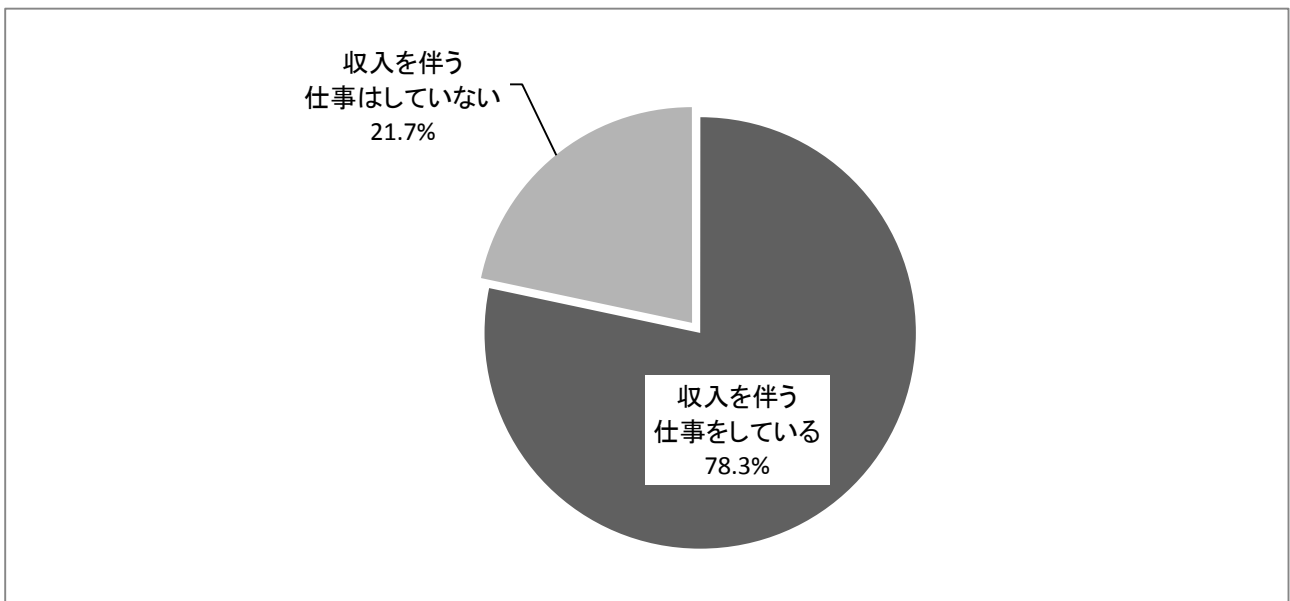
同居している子ども(末子)の年齢 (n=449)



(9) 現在の就業状況【F 9】

現在、収入を伴う仕事をしているかを尋ねたところ、「収入を伴う仕事をしている」が78.3%を占めている。

現在の就業状況 (N=817)

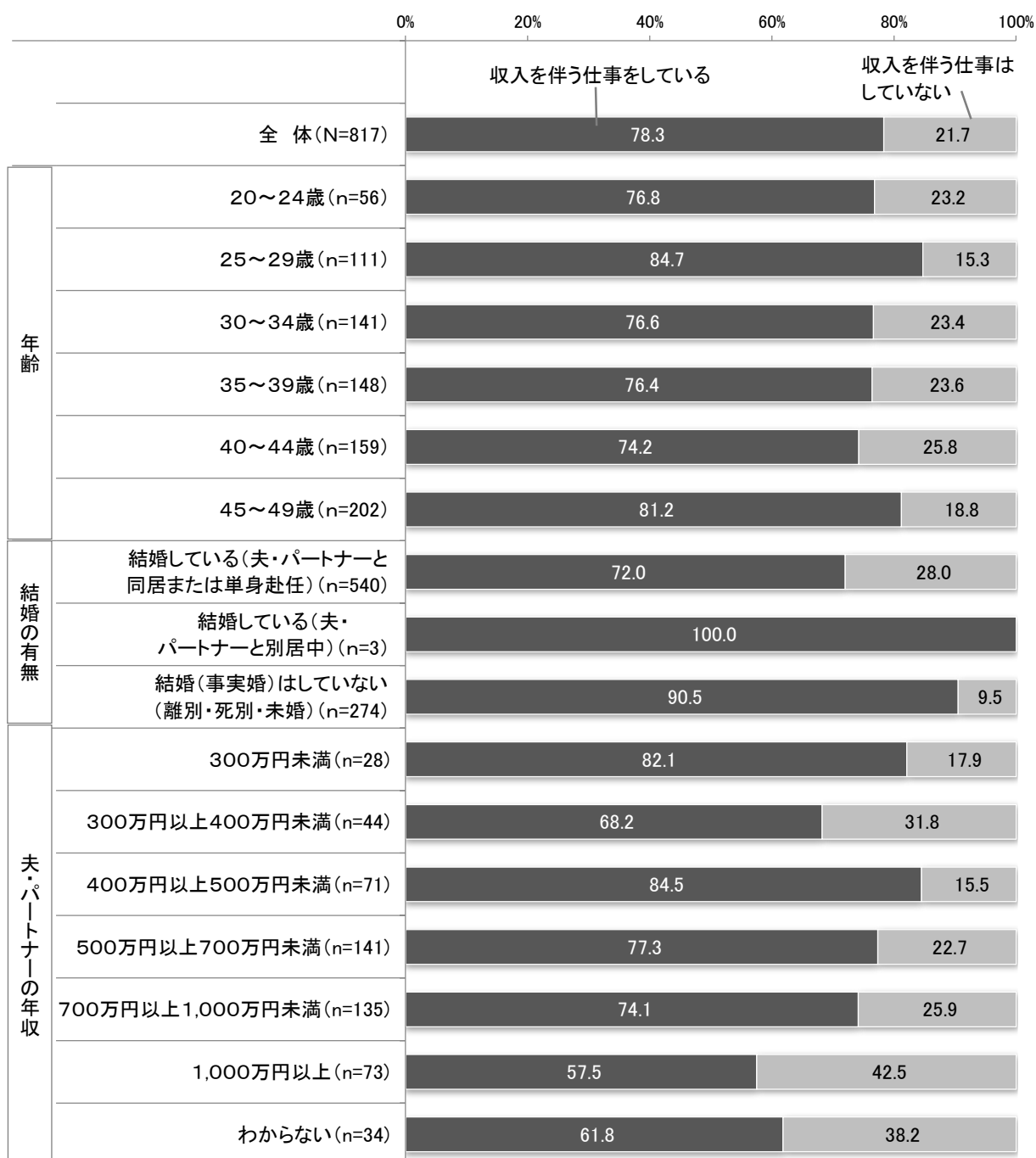


年齢別にみると、「25～29歳」「45～49歳」で「仕事をしている」がやや多いが、年齢によってあまり差は見られない。

結婚の有無別にみると、「結婚している（夫・パートナーと同居または単身赴任）」で「仕事はしていない」がやや多くなっている。

夫・パートナーの年収別にみると、夫の年収が高いほど「仕事はしていない」が多くなる傾向となっている。

[年齢別・結婚の有無別・夫/パートナーの年収別]
現在の就業状況

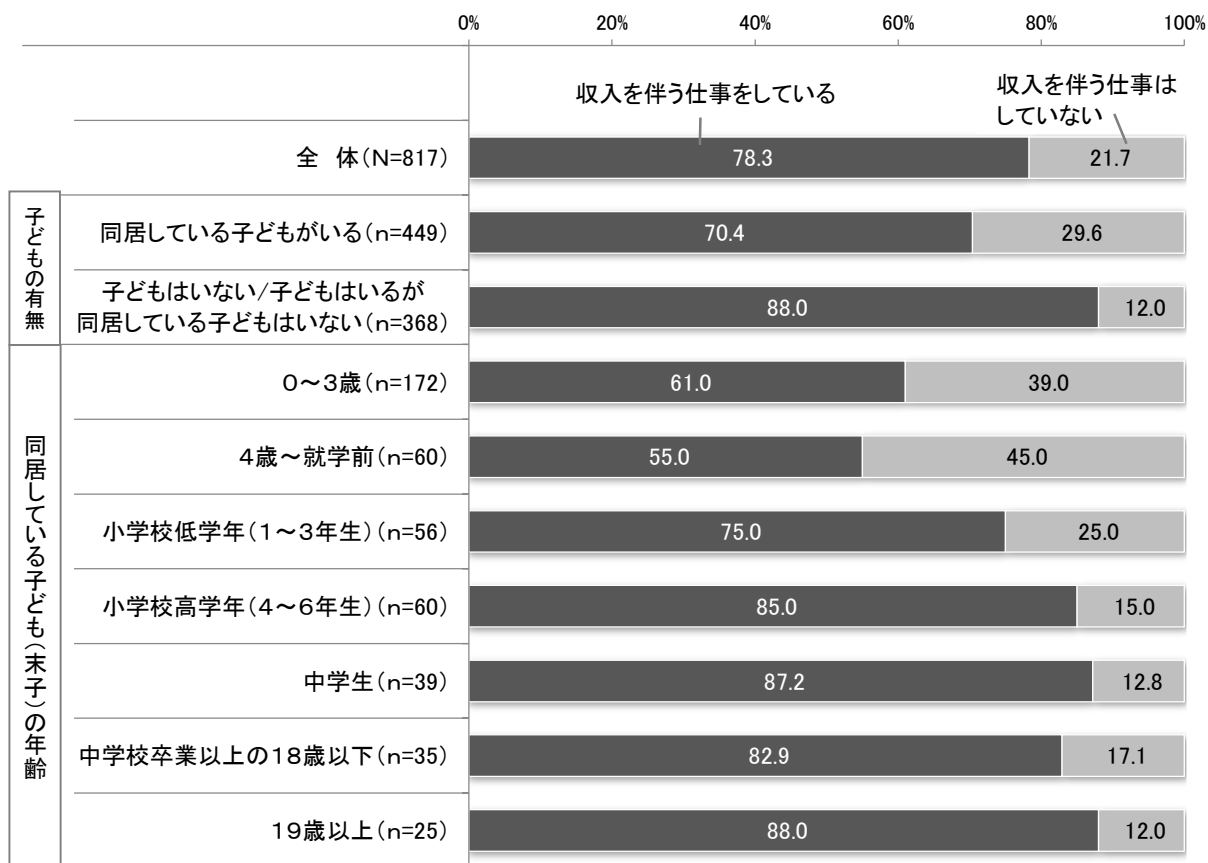


子どもの有無別にみると、「同居している子どもがいる」で「仕事はしていない」が多くなっている。

同居している子ども(末子)の年齢別にみると、就学前までの子どもがいる人で「仕事はしていない」が多くなっている。

[子どもの有無別・同居している子ども(末子)の年齢別]

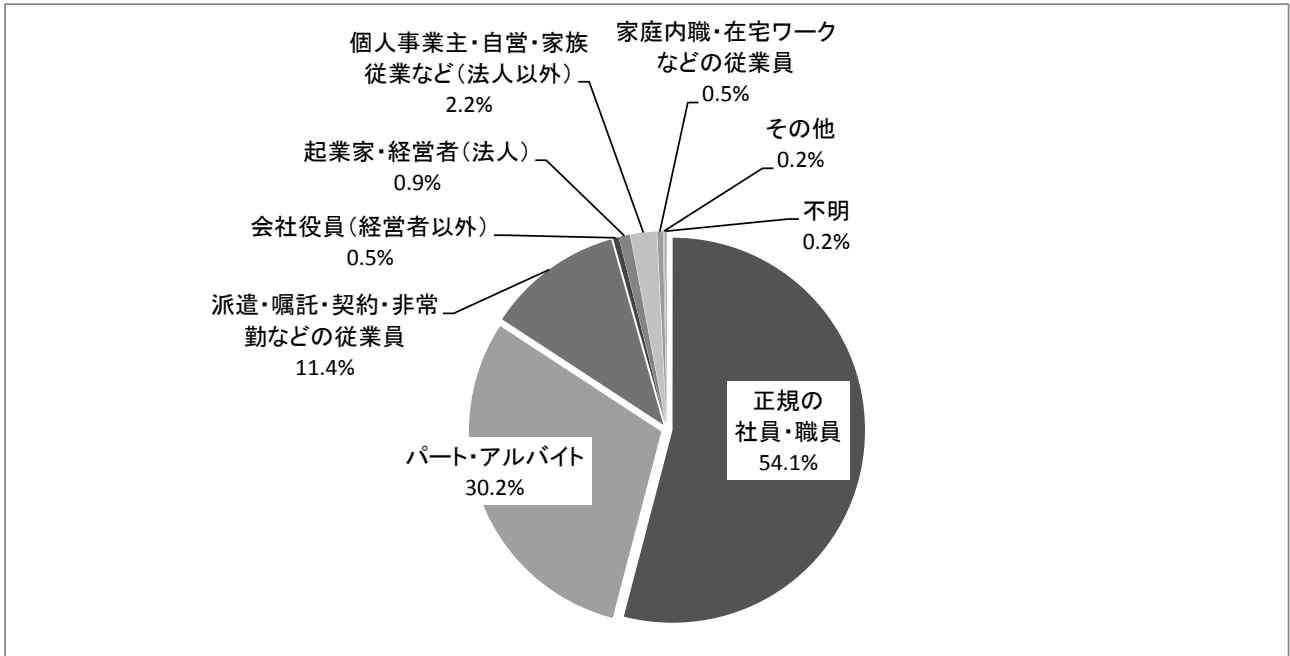
現在の就業状況



(10) 収入を伴う仕事をしている人の働き方（雇用形態）【F10】

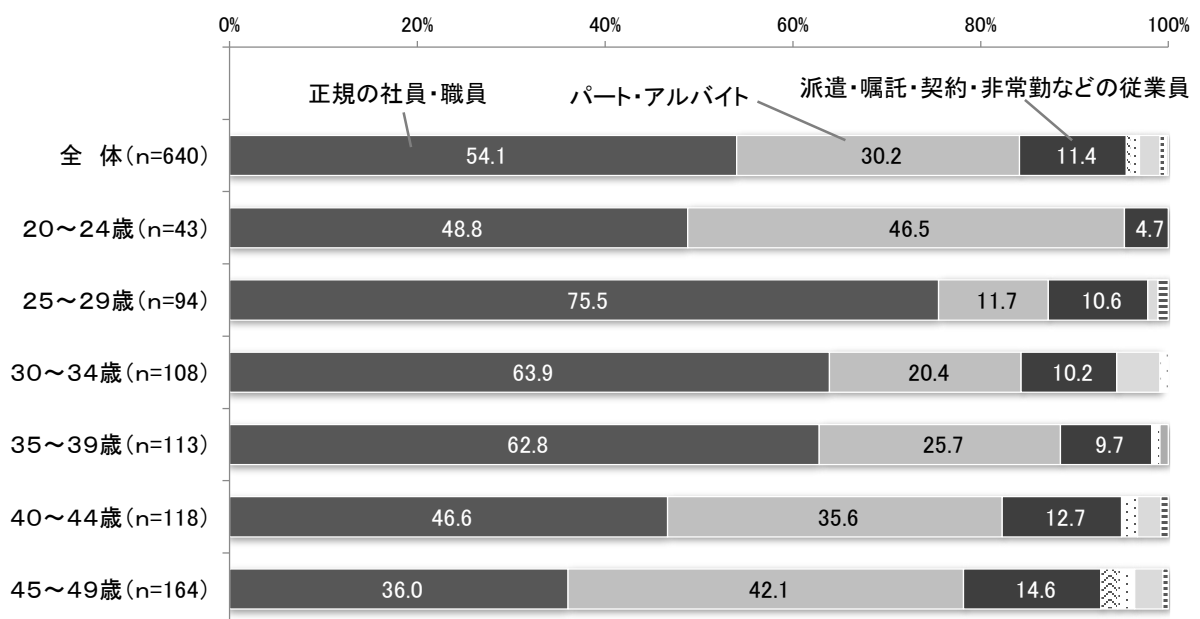
【F9】で「収入を伴う仕事をしている」と回答した方（640人）に、働き方（雇用形態）を尋ねたところ、「正規の社員・職員」が最も多く54.1%、次いで「パート・アルバイト」が30.2%となっている。

収入を伴う仕事をしている人の働き方（雇用形態）（n=640）

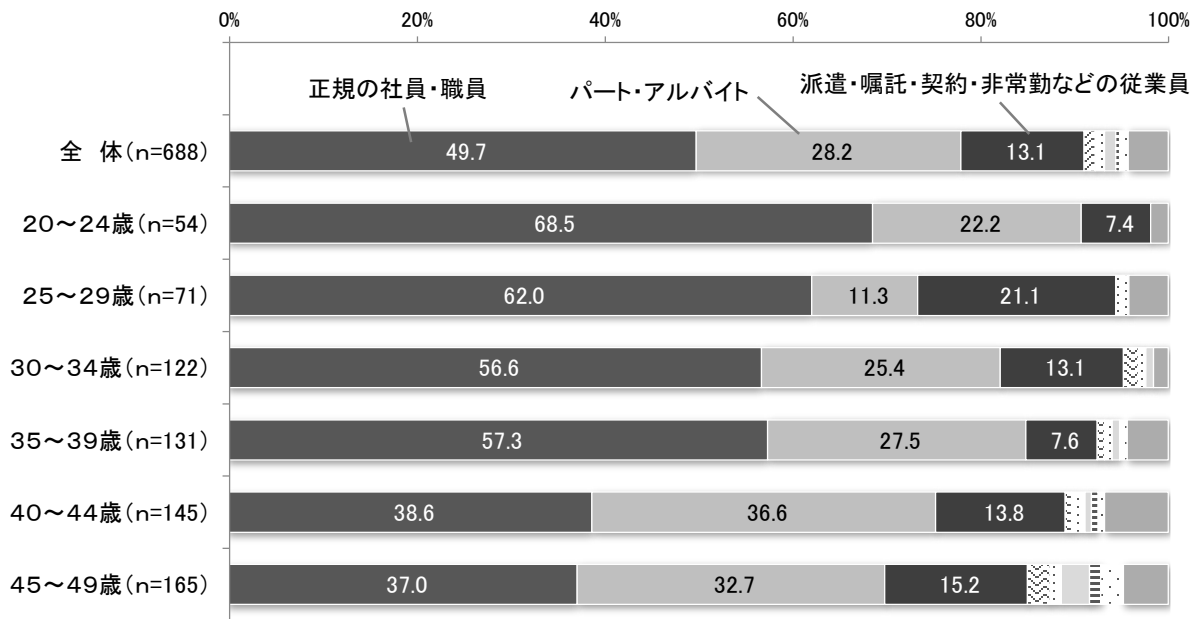


年齢別にみると、25歳以上では、年齢が上がるほど「パート・アルバイト」が多くなり、「正規の社員・職員」が少なくなっている。

【年齢別】収入を伴う仕事をしている人の働き方（雇用形態）



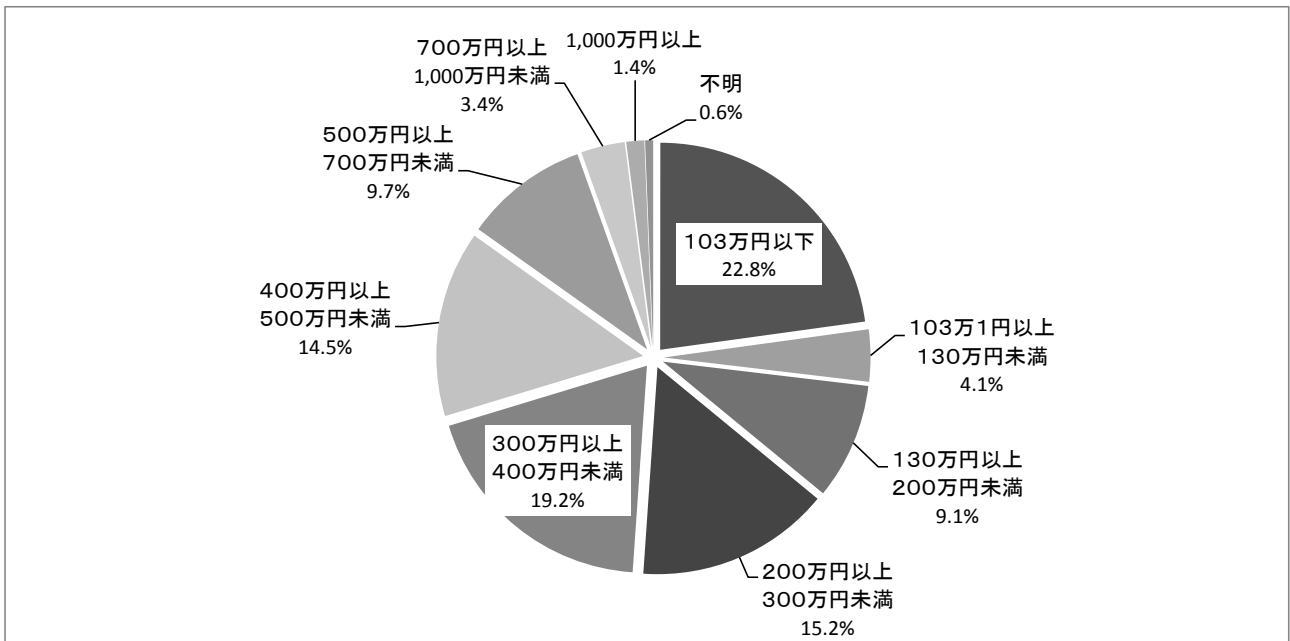
＜参考＞前回(平成 26 年度)調査
 [年齢別] 収入を伴う仕事をしている人の働き方(雇用形態)



(11) 収入を伴う仕事をしている人の年収【F11】

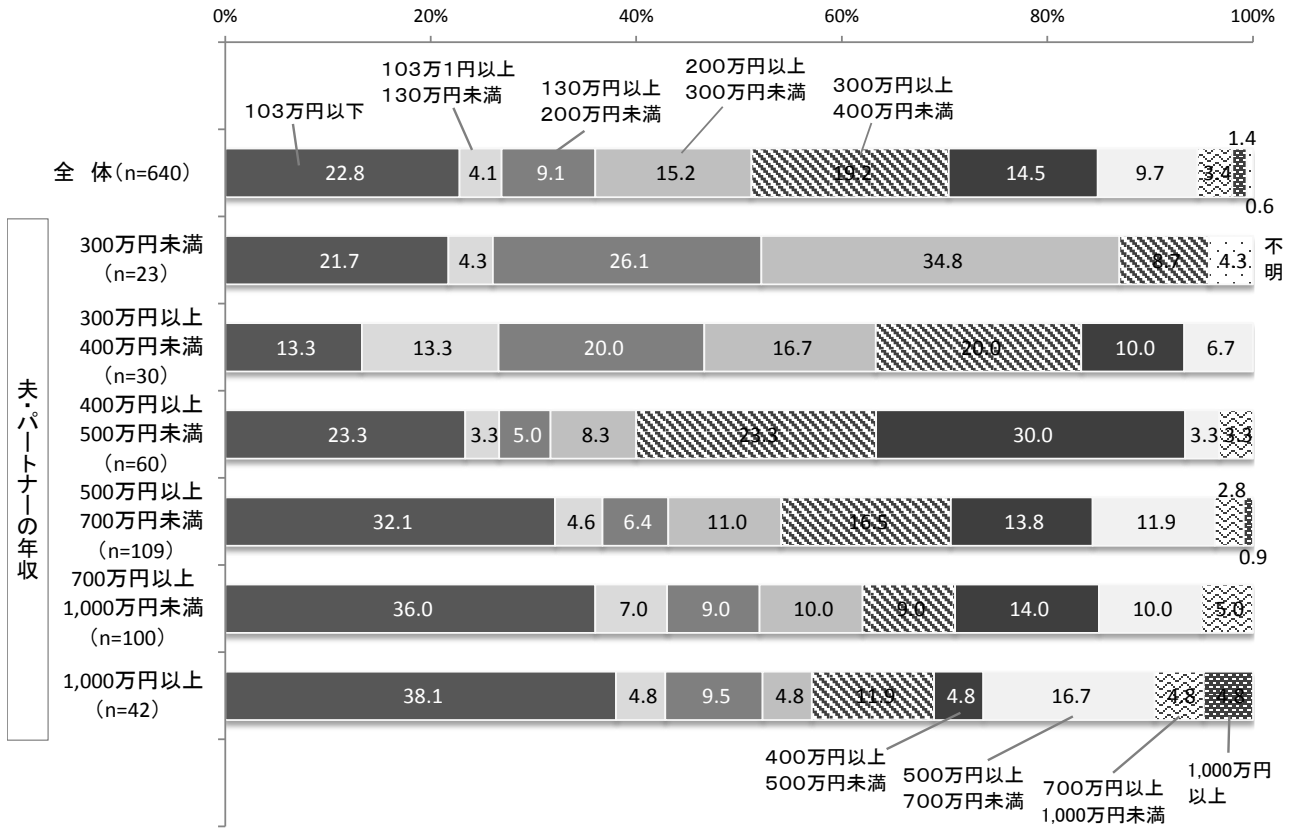
【F9】で「収入を伴う仕事をしている」と回答した方(640人)に、年収を尋ねたところ、「103万円以下」が最も多く22.8%、次いで「300万円以上400万円未満」が19.2%となっている。

収入を伴う仕事をしている人の年収 (n=640)



夫/パートナーの年収別にみると、夫/パートナーの年収が500万円未満では、その年収と同等かやや少ない年収が多い傾向となっている。また、夫/パートナーの年収が300万円以上では、その年収が上がるほど、「103万円以下」が多くなっている。

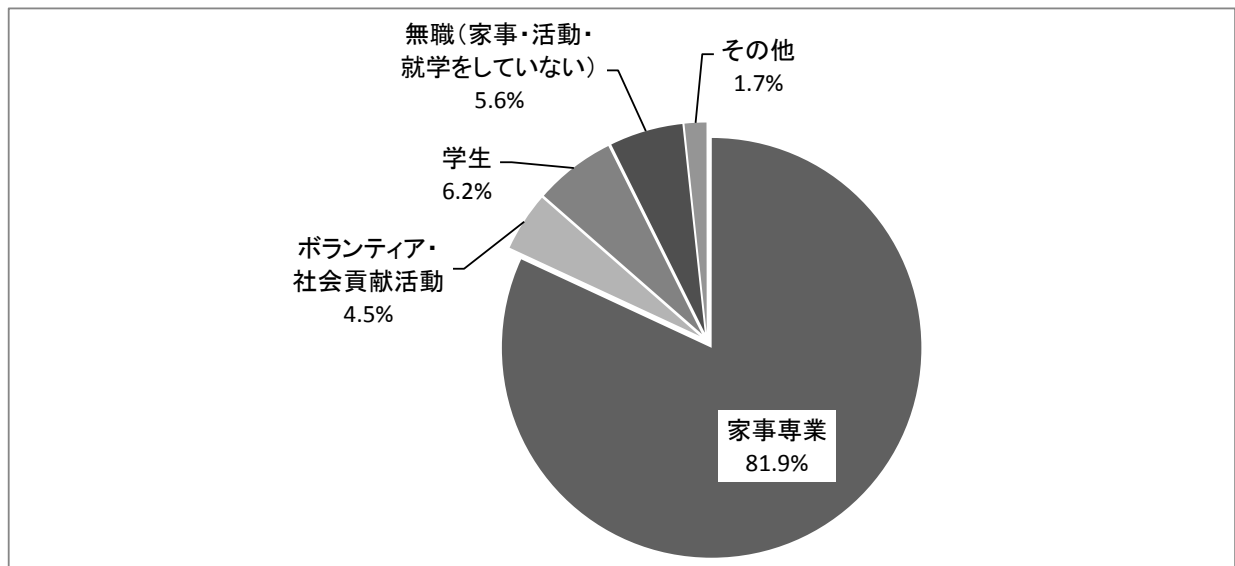
[夫/パートナーの年収別] 収入を伴う仕事をしている人の年収



(12) 収入を伴う仕事はしていない人の現況【F12】

【F9】で「収入を伴う仕事はしていない」と回答した方（177人）に、現在の状況を尋ねたところ、「家事専業」が81.9%と多くを占めている。

収入を伴う仕事はしていない人の現況 (n=177)



II 調査の結果

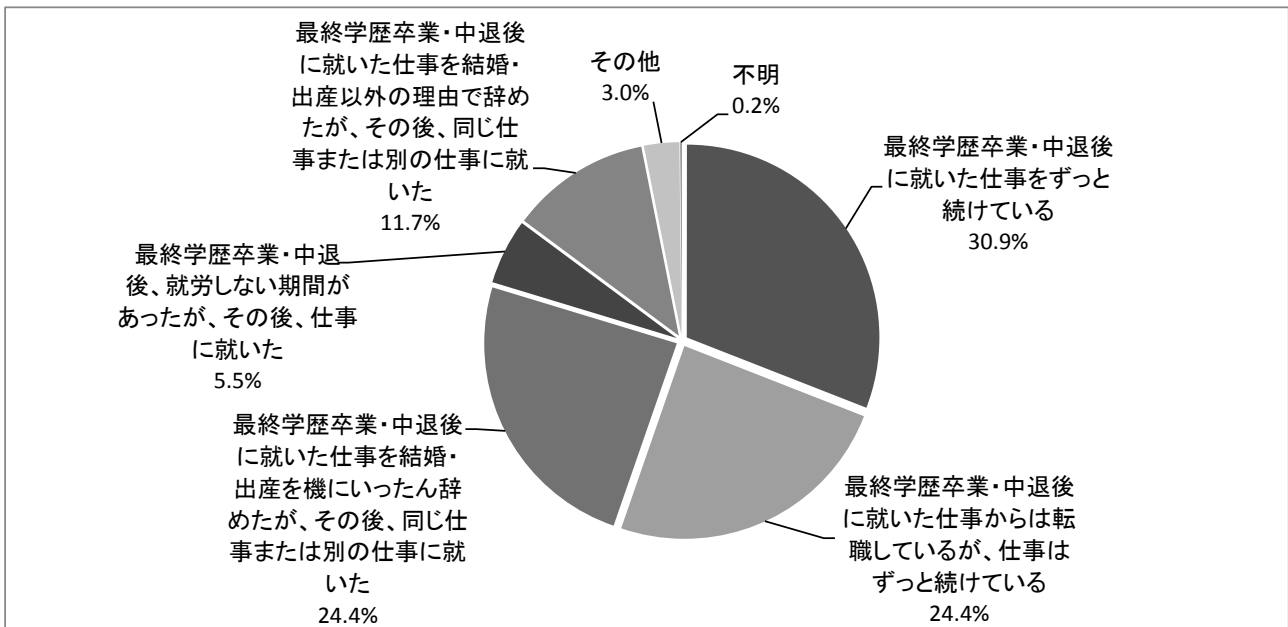
1. 現在、収入を伴う仕事をしている人について

現在の就業状況【F9】で「現在、収入を伴う仕事をしている」と回答した方（640人）を対象とした。

（1）現在の仕事に就いた時期【問1】

現在の仕事は、いつから続けているかを尋ねたところ、「最終学歴卒業・中退後に就いた仕事をずっと続けている」が最も多く30.9%、次いで「最終学歴卒業・中退後に就いた仕事からは転職しているが、仕事はずっと続けている」「最終学歴卒業・中退後に就いた仕事を結婚・出産を機にいったん辞めたが、その後、同じ仕事または別の仕事に就いた」が24.4%となっている。

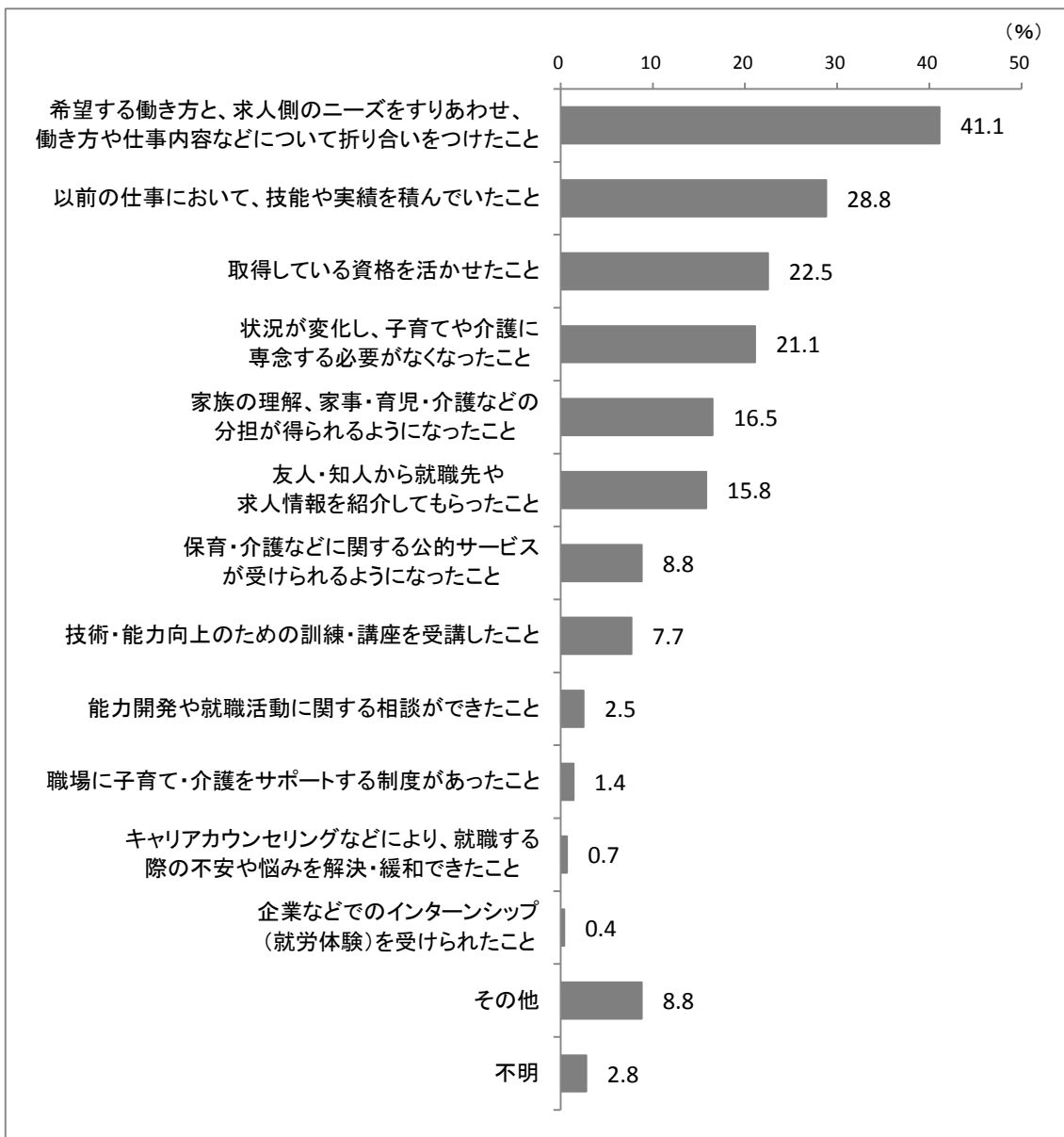
現在の仕事に就いた時期（n=640）



(2) 働き始めることができた理由【問2】

【問1】で「最終学歴卒業・中退後に就いた仕事を辞めた、または就労しない期間を経て、その後仕事に就いた」「その他」と回答した方(285人)に、どのようなことが理由で(再び)働き始めることができたと思うかを尋ねたところ、「希望する働き方と、求人側のニーズをすりあわせ、働き方や仕事内容などについて折り合いをつけたこと」が最も多く41.1%、次いで「以前の仕事において、技能や実績を積んでいたこと」が28.8%となっている。

働き始めることができた理由 (n=285、複数回答)



働き方（雇用形態）別にみると、「正規の社員・職員」では、「以前の仕事において、技能や実績を積んでいたこと」「取得している資格を活かしたこと」が多くなっている。

「パート・アルバイト」「派遣・嘱託など」では、「希望する働き方と求人側のニーズをすりあわせ、働き方や仕事内容などについて折り合いをつけたこと」が最も多く、「パート・アルバイト」は、「状況が変化し、子育てや介護に専念する必要がなくなったこと」も多くなっている。

[働き方別] 働き始めることができた理由（複数回答）

働き始めることができた理由【問2】	(単位：%)			
	全体 (n=285)	正規の社員・職員 (n=71)	パート・アルバイト (n=159)	派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員(n=38)
希望する働き方と、求人側のニーズをすりあわせ、働き方や仕事内容などについて折り合いをつけたこと	41.1	23.9	46.5	57.9
以前の仕事において、技能や実績を積んでいたこと	28.8	36.6	26.4	31.6
取得している資格を活かしたこと	22.5	31.0	17.6	26.3
状況が変化し、子育てや介護に専念する必要がなくなったこと	21.1	8.5	28.3	21.1
家族の理解、家事・育児・介護などの分担が得られるようになったこと	16.5	14.1	19.5	13.2
友人・知人から就職先や求人情報を紹介してもらったこと	15.8	14.1	19.5	5.3
保育・介護などに関する公的サービスが受けられるようになったこと	8.8	8.5	7.5	13.2
技術・能力向上のための訓練・講座を受講したこと	7.7	18.3	3.1	10.5
能力開発や就職活動に関する相談ができたこと	2.5	2.8	1.9	5.3
職場に子育て・介護をサポートする制度があったこと	1.4	1.4	0.6	2.6
キャリアカウンセリングなどにより、就職する際の不安や悩みを解決・緩和できたこと	0.7	2.8	-	-
企業などでのインターンシップ(就労体験)を受けられたこと	0.4	-	0.6	-
その他	8.8	8.5	7.5	5.3

現在の仕事に就いた時期別にみると、「最終学歴卒業・中退後に就いた仕事を結婚・出産を機にいったん辞めたが、その後、同じ仕事または別の仕事に就いた」では「状況が変化し、子育てや介護に専念する必要がなくなったこと」も多く、「最終学歴卒業・中退後、就労しない期間があったが、その後、仕事に就いた」では「取得している資格を活かしたこと」も多くなっている。

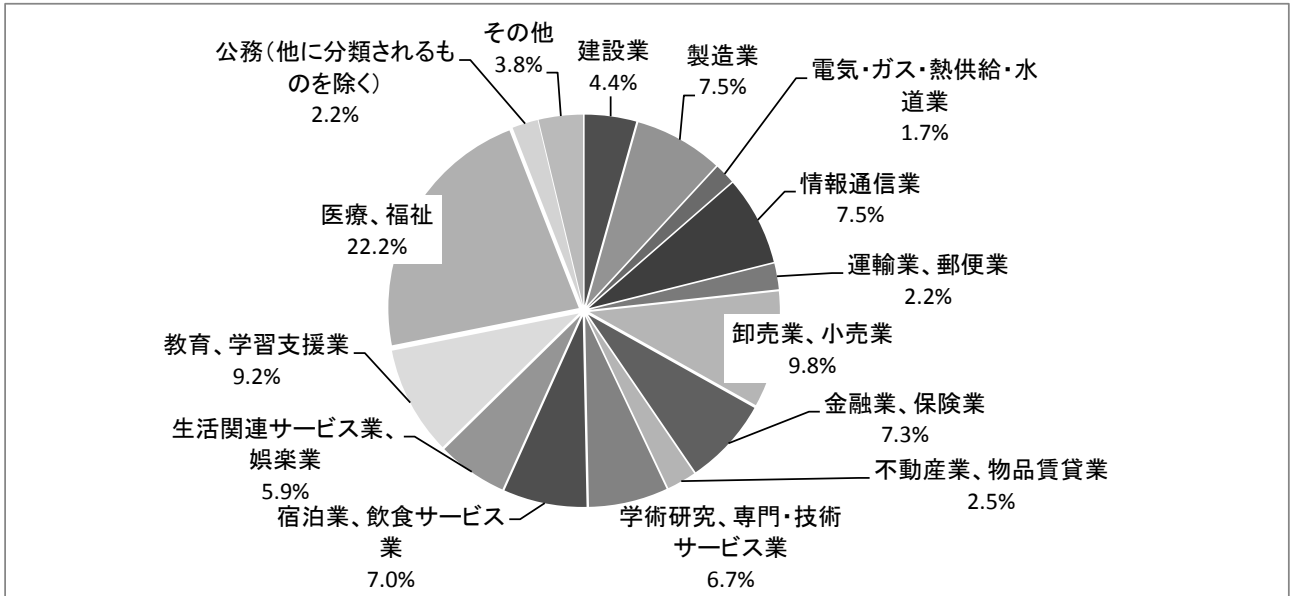
[現在の仕事に就いた時期別] 働き始めることができた理由（複数回答）

働き始めることができた理由【問2】	(単位:%) 全体 (n=285)	現在の仕事に就いた時期【問1】		
		最終学歴卒業・中退後に就いた仕事を結婚・出産を機にいったん辞めたが、その後、同じ仕事または別の仕事に就いた(n=156)	最終学歴卒業・中退後、就労しない期間があったが、その後、仕事に就いた(n=35)	最終学歴卒業・中退後に就いた仕事を結婚・出産以外の理由で辞めたが、その後、同じ仕事または別の仕事に就いた(n=75)
希望する働き方と、求人側のニーズをすりあわせ、働き方や仕事内容などについて折り合いをつけたこと	41.1	48.1	31.4	36.0
以前の仕事において、技能や実績を積んでいたこと	28.8	30.8	17.1	33.3
取得している資格を活かしたこと	22.5	25.0	25.7	21.3
状況が変化し、子育てや介護に専念する必要がなくなったこと	21.1	27.6	14.3	12.0
家族の理解、家事・育児・介護などの分担が得られるようになったこと	16.5	19.9	5.7	17.3
友人・知人から就職先や求人情報を紹介してもらったこと	15.8	18.6	17.1	10.7
保育・介護などに関する公的サービスが受けられるようになったこと	8.8	14.1	2.9	2.7
技術・能力向上のための訓練・講座を受講したこと	7.7	2.6	17.1	16.0
能力開発や就職活動に関する相談ができたこと	2.5	1.9	5.7	2.7
職場に子育て・介護をサポートする制度があったこと	1.4	1.9	-	1.3
キャリアカウンセリングなどにより、就職する際の不安や悩みを解決・緩和できたこと	0.7	-	2.9	1.3
企業などでのインターンシップ(就労体験)を受けられたこと	0.4	-	2.9	-
その他	8.8	6.4	5.7	8.0

(3) 現在の勤務先の業種【問3】

現在、勤めている勤務先の業種を尋ねたところ、「医療、福祉」が最も多く 22.2%、次いで「卸売業、小売業」が 9.8%となっている。

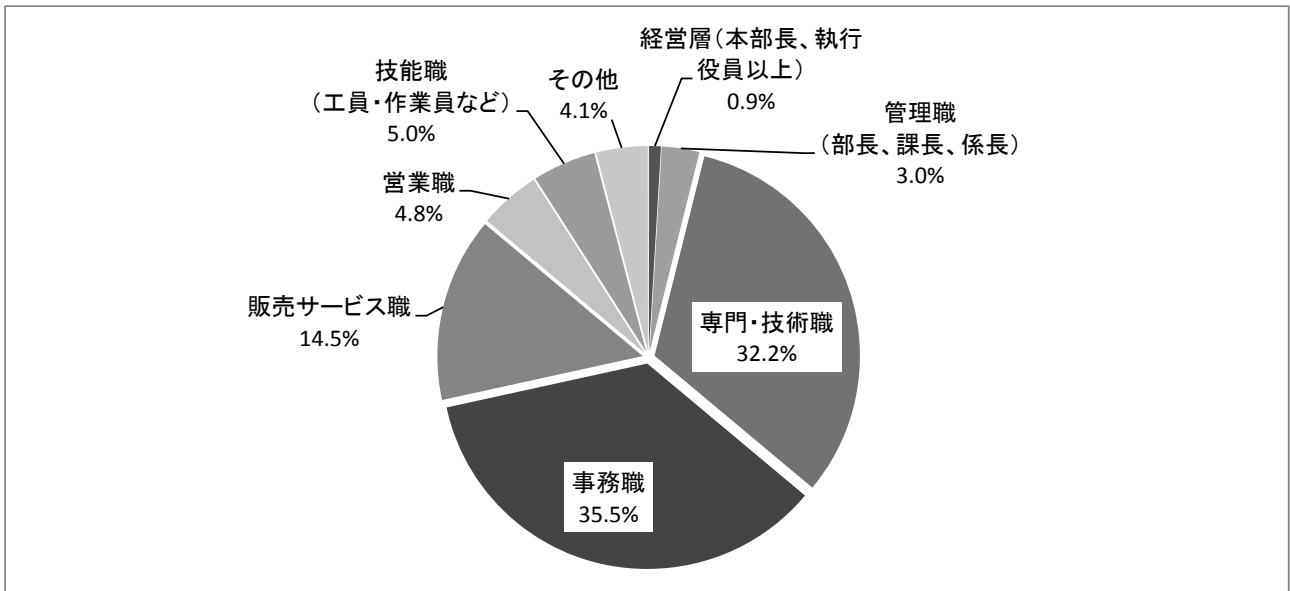
現在の勤務先の業種 (n=640)



(4) 現在の職種【問4】

現在、勤めている職種を尋ねたところ、「事務職」が最も多く 35.5%、次いで「専門・技術職」が 32.2%となっている。

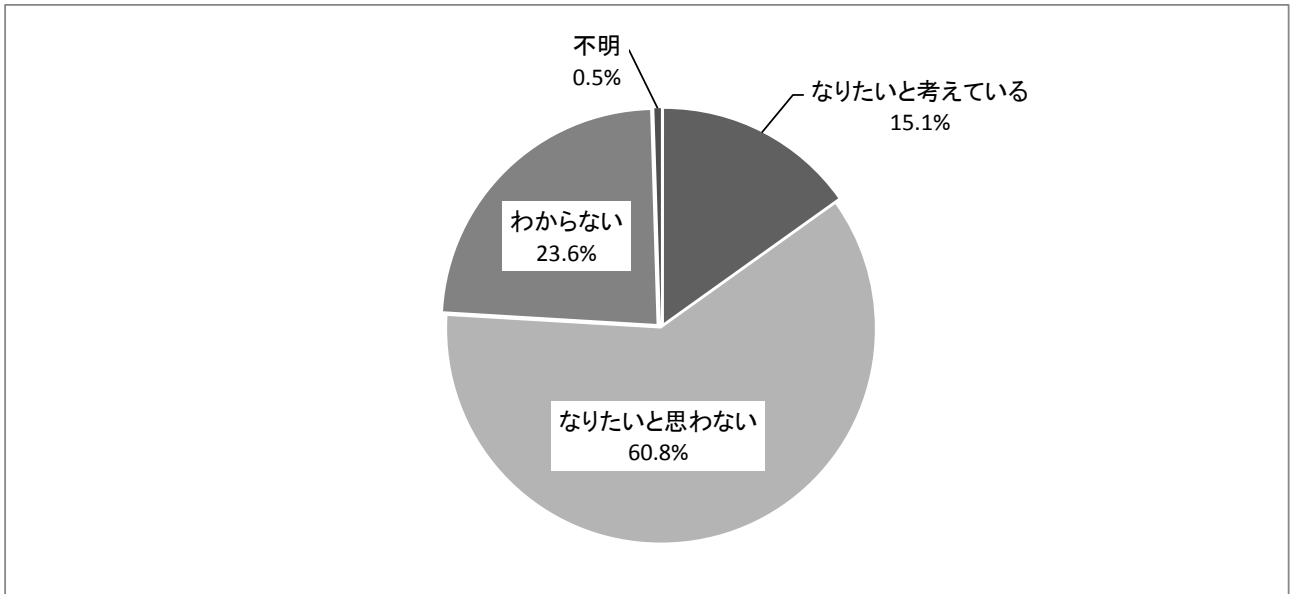
現在の職種 (n=640)



(5) 経営層・管理職になりたいか【問5】

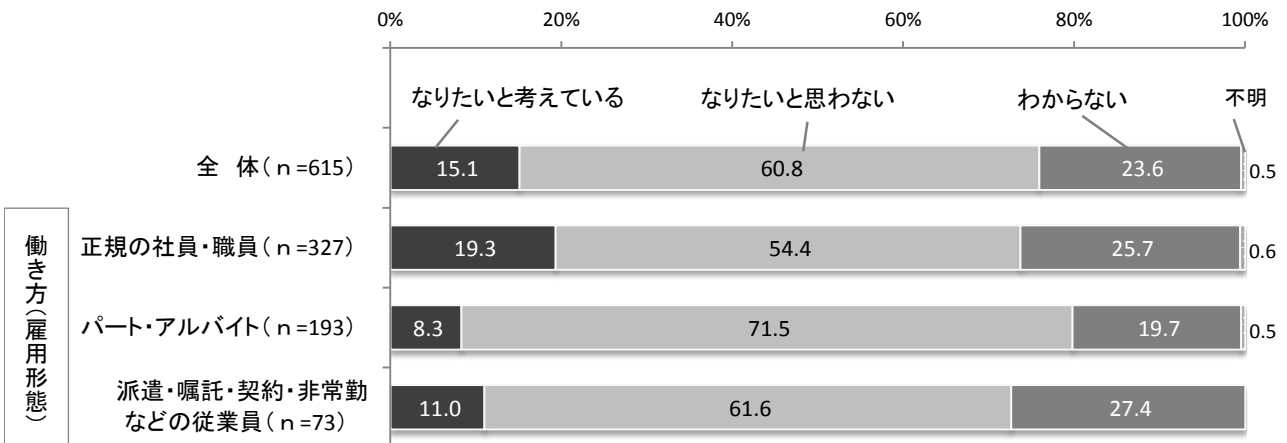
【問4】で「経営層」「管理職」以外を回答した方(615人)に、将来、経営層や管理職になりたいと思うかを尋ねたところ、「なりたいたと思わない」が60.8%を占めている。

経営層・管理職になりたいか (n=615)



働き方(雇用形態)別にみると、「正規の社員・職員」で「なりたいたと考えている」がやや多くなっている。

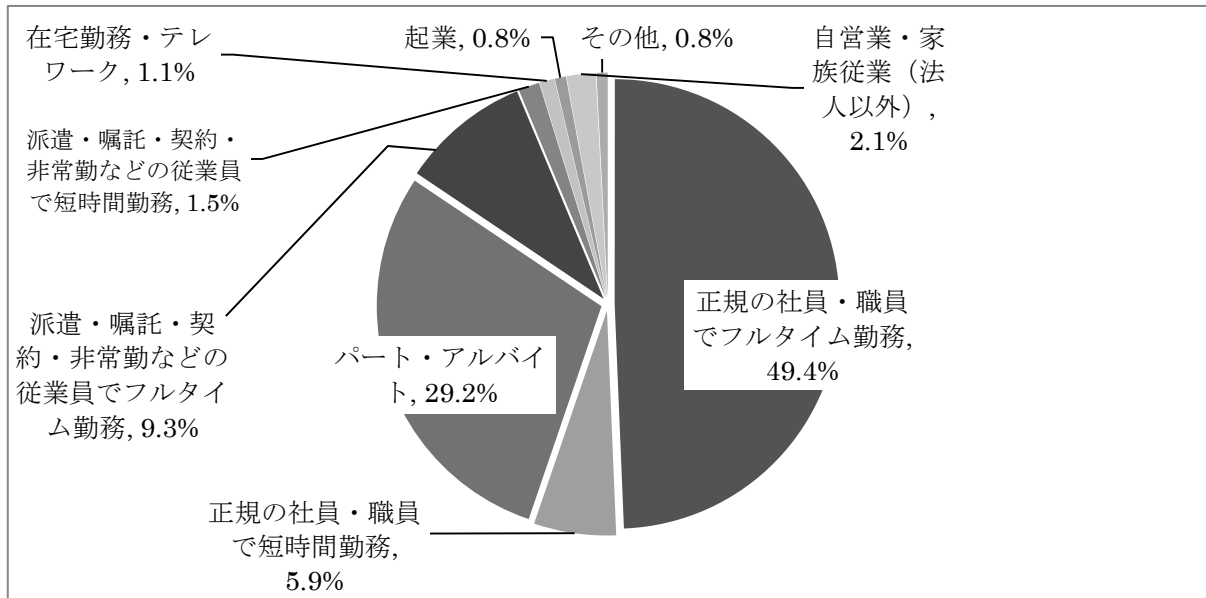
[働き方別] 経営層・管理職になりたいか



(6) 現在の働き方・将来希望する働き方【問6】

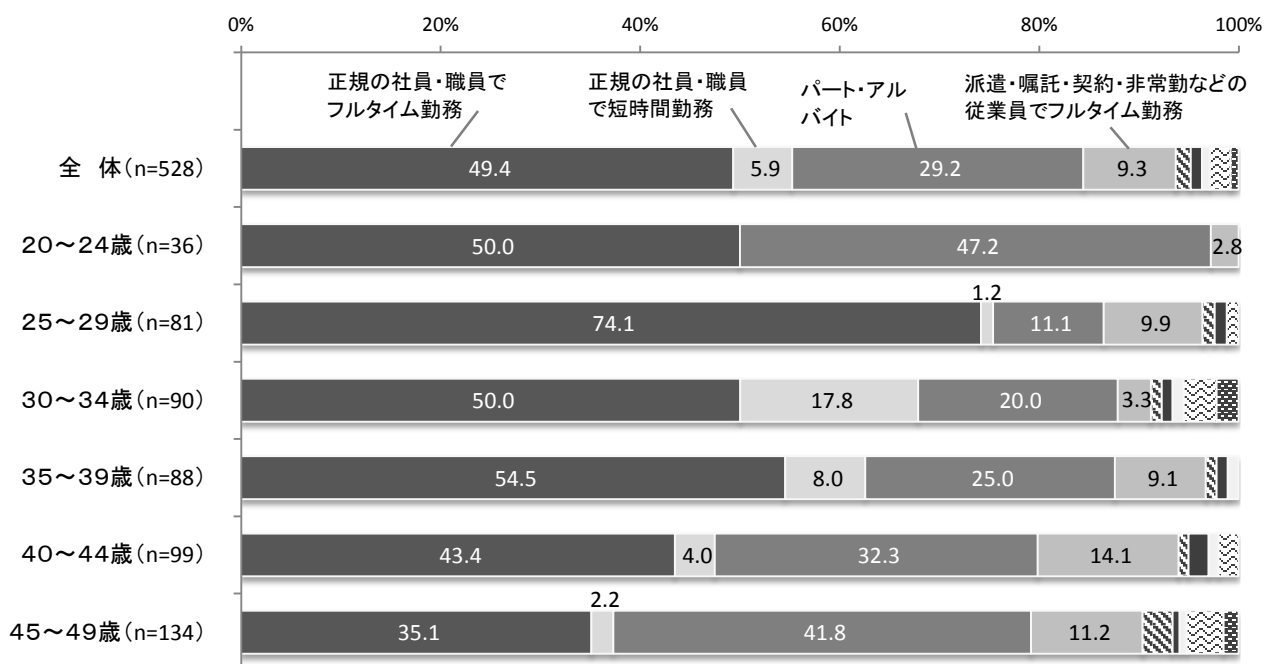
現在の働き方（雇用形態）を尋ねたところ、「正規の社員・職員でフルタイム勤務」が最も多く49.4%、次いで「パート・アルバイト」が29.2%となっている。

現在の働き方（n=528）



年齢別にみると、25歳以上では、年齢が上がるほど「パート・アルバイト」が多くなり、「正規の社員・職員でフルタイム勤務」が少なくなっている。また、「30～34歳」で「正規の社員・職員で短時間勤務」がやや多くなっている。

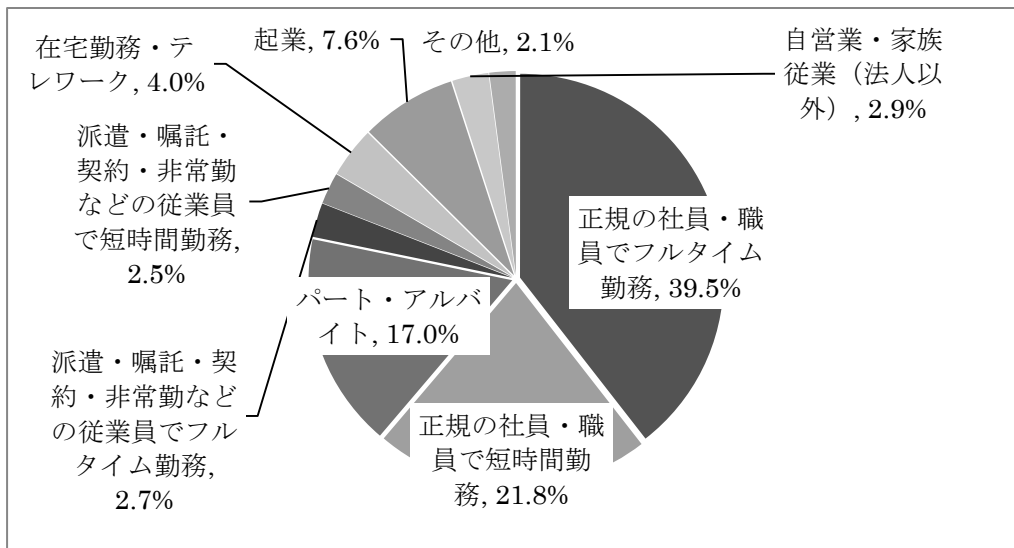
【年齢別】現在の働き方



※n数は「不明」回答者を除く。

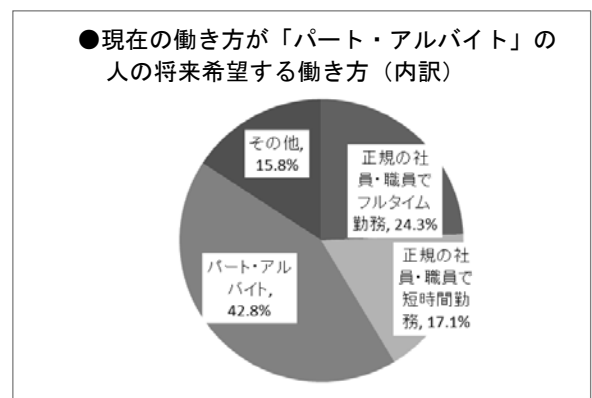
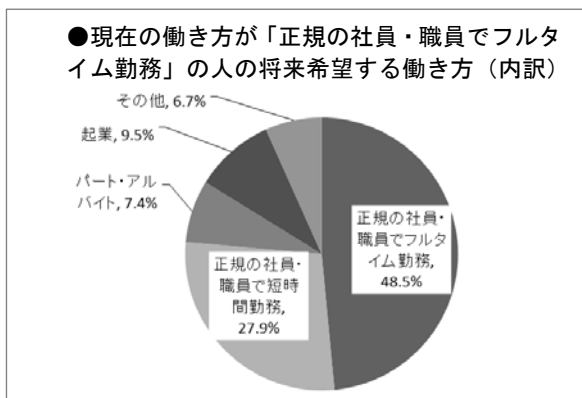
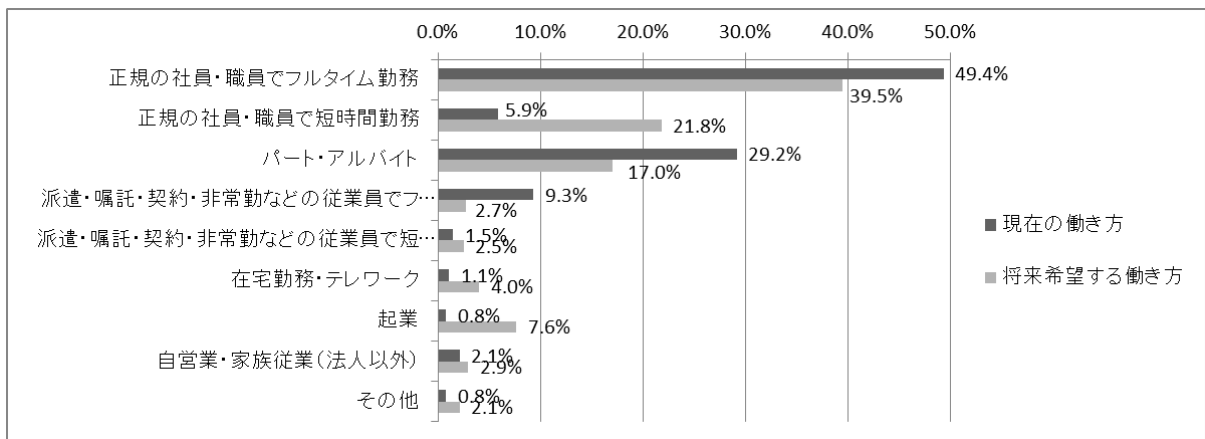
また、将来的にどのような働き方を望むかを尋ねたところ、「正規の社員・職員でフルタイム勤務」が最も多く 39.5%、次いで「正規の社員・職員で短時間勤務」が 21.8%となっている。

将来希望する働き方 (n=524)



現在の働き方が「正規の社員・職員でフルタイム勤務」の人の将来希望する働き方は、「正規の社員・職員でフルタイム勤務」が 48.5%、「正規の社員・職員で短時間勤務」が 27.9%となっている。また、現在の働き方が「パート・アルバイト」の人の将来希望する働き方では「正規の社員・職員」が 41.4%にのぼる。

現在の働き方と将来希望する働き方の比較



(7) 現在の仕事に活かしている資格【問7】〔自由回答〕

現在の仕事に活かしている資格について尋ねたところ、262人から回答を得た。回答として挙げられた資格名称等は次のとおりである。

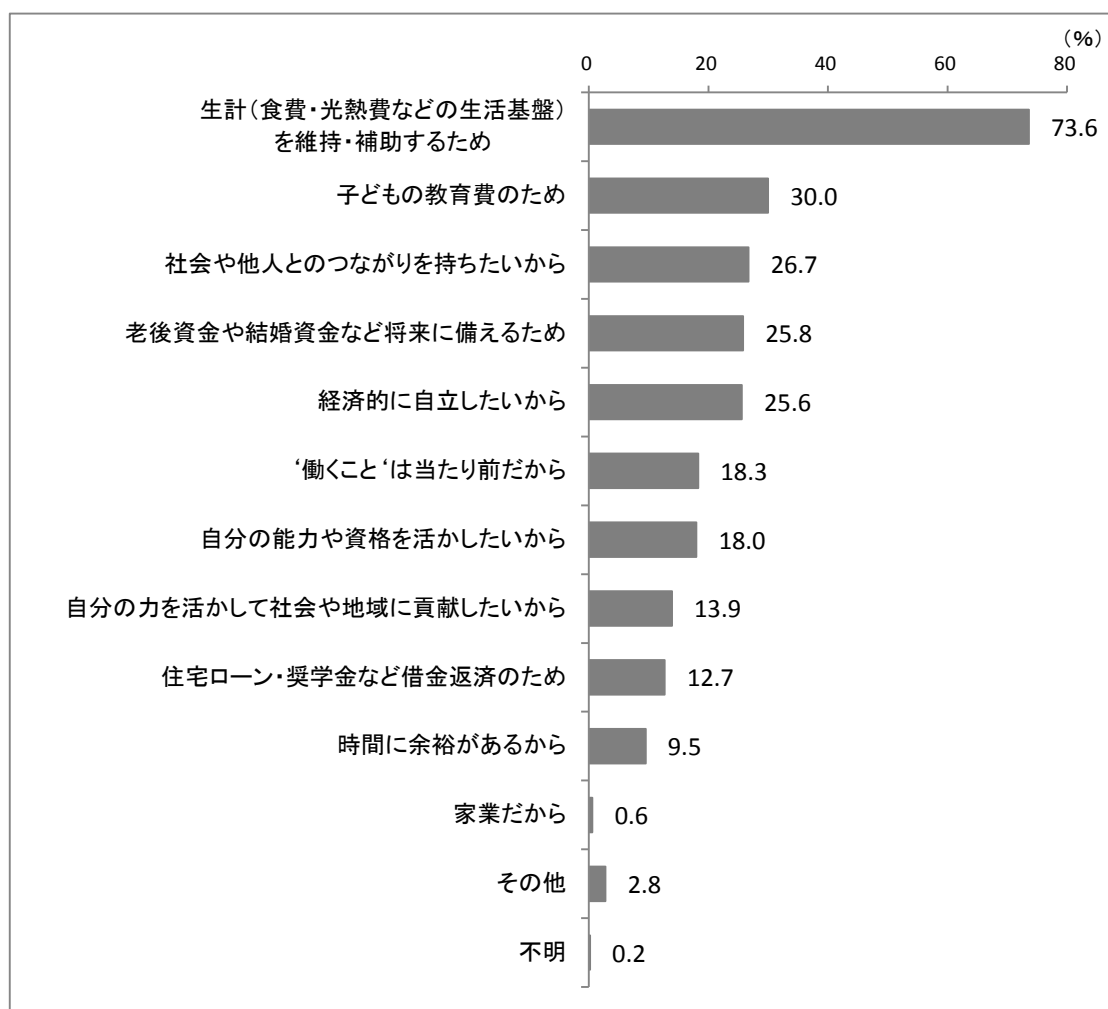
分野	資格名称等
医療/保健	正・准看護師、医師、獣医師、歯科医師、薬剤師、臨床検査技師・胚培養士、理学療法士、放射線技師、言語聴覚士、歯科衛生士、義肢装具士、登録販売者、医療事務、眼科診療補助者（OMA）、医薬情報担当者（MR）認定資格、臨床開発モニター（CRA）認定資格、保健師、上級救命講習
福祉	保育士、介護福祉士、社会福祉士、ホームヘルパー、介護職員初任者・実務者研修、ケアマネージャー、介護支援専門員、福祉用具専門相談員
教育	幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭
財務/保険	税理士、ファイナンシャルプランナー（FP・AFP）、証券外務員、少額短期保険・損害保険・生命保険募集人資格、日商簿記検定
情報処理/ パソコン	第一種情報処理技術者、システムアドミニストレーター、マイクロソフトオフィシャルスペシャリスト（MOS）、マイクロソフトオフィシャルトレーナー（MOT）、情報デザイン検定、情報処理検定、パソコン検定、Tableau Desktop Certified Professional Tableau Server Certified Professional
法律/実務	弁理士、宅地建物取引士（旧：宅地建物取引主任者）、行政書士、通訳案内士、図書館司書、社会保険労務士、秘書士・秘書検定、ビジネス法務検定、気象予報士、ビジネス実務検定、サービス接待検定、英文タイプ検定、運行管理者、衛生管理者、旅程管理主任者、ビジネス能力検定、ワープロ検定、販売士検定、放射線取扱主任者
食品/衛生	管理栄養士、公認スポーツ栄養士、栄養士、調理師、衛生検査技師、美容師、製菓衛生士
建築/土木	建築士、管工事施工管理技士、建設業経理士、造園施工管理技士
語学	英検・国連英検、TOEIC・TOEFL、中国語検定、フランス語検定、スペイン語検定
その他	フォトマスター検定、インテリアコーディネーター、色彩検定、フードスペシャリスト、AUBE プリザードアカデミーディプロマ

※同一回答者が複数の資格等を回答している場合がある。

(8) 働いている理由【問8】

現在、あなたが働いている理由を尋ねたところ、「生計（食費・光熱費などの生活基盤）を維持・補助するため」が圧倒的に多く73.6%、次いで「子どもの教育費のため」が30.0%となっている。

働いている理由（n=640、複数回答）



年収別にみると、300万円以上では「経済的に自立したいから」も多くなっている。

[年収別] 働いている理由（複数回答）

(単位:%)		年収【F11】							
働いている理由【問8】	全体 (n=640)	103万円以下 (n=146)	103万円以上 130万円未満 (n=26)	130万円以上 200万円未満 (n=58)	200万円以上 300万円未満 (n=97)	300万円以上 400万円未満 (n=123)	400万円以上 500万円未満 (n=93)	500万円以上 700万円未満 (n=62)	700万円以上 1,000万円未満 (n=22)
生計(食費・光熱費などの生活基盤)を維持・補助するため	73.6	56.8	73.1	81.0	80.4	78.9	80.6	82.3	54.5
子どもの教育費のため	30.0	42.5	38.5	41.4	24.7	23.6	31.2	17.7	13.6
社会や他人とのつながりを持ちたいから	26.7	32.2	42.3	29.3	15.5	28.5	19.4	25.8	36.4
老後資金や結婚資金など将来に備えるため	25.8	13.7	26.9	24.1	39.2	22.0	29.0	33.9	36.4
経済的に自立したいから	25.6	11.6	26.9	24.1	23.7	29.3	32.3	40.3	45.5
‘働くこと’は当たり前だから	18.3	4.8	3.8	20.7	20.6	25.2	25.8	21.0	31.8
自分の能力や資格を活かしたいから	18.0	13.0	26.9	17.2	15.5	21.1	15.1	21.0	27.3
自分の力を活かして社会や地域に貢献したいから	13.9	14.4	3.8	13.8	14.4	13.0	10.8	16.1	18.2
住宅ローン・奨学金など借金返済のため	12.7	10.3	19.2	10.3	9.3	11.4	19.4	16.1	13.6
時間に余裕があるから	9.5	29.5	19.2	5.2	5.2	1.6	2.2	1.6	-
家業だから	0.6	2.1	-	-	-	-	1.1	-	-
その他	2.8	5.5	-	1.7	5.2	0.8	3.2	-	-

現在の仕事に就いた時期別にみると、「最終学歴卒業・中退後に就いた仕事をずっと続けている」では「経済的に自立したいから」も多くなっており、「最終学歴卒業・中退後に就いた仕事を結婚・出産以外の理由で辞めたが、その後、同じ仕事または別の仕事に就いた」では「老後資金や結婚資金など将来に備えるため」も多くなっている。

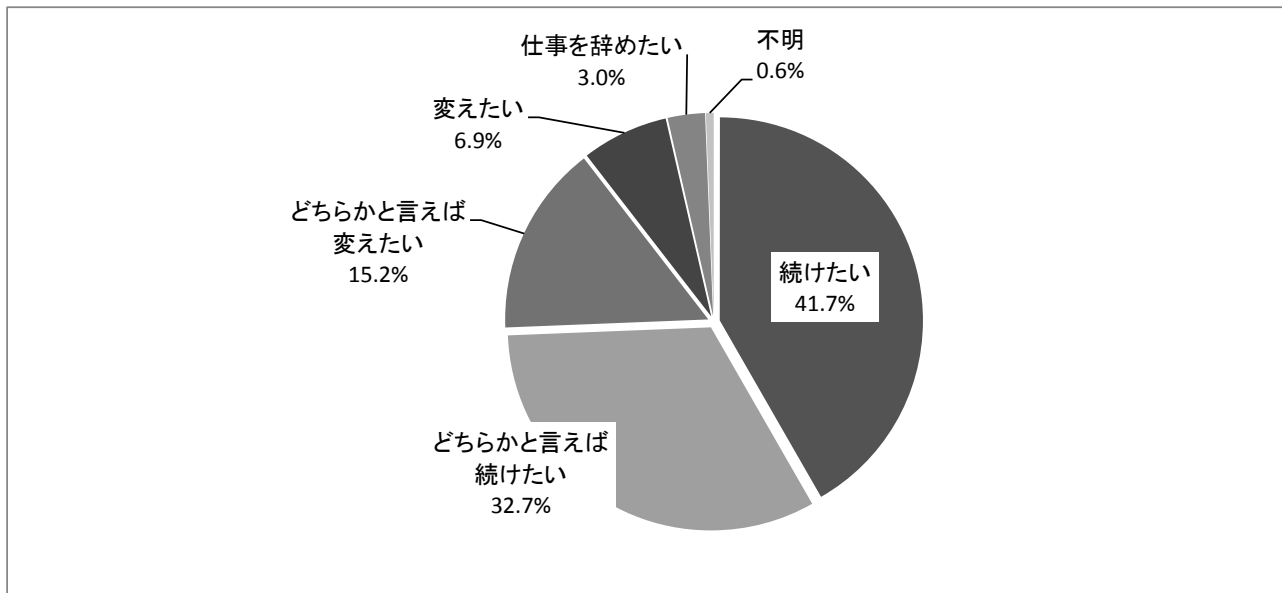
[現在の仕事に就いた時期別] 働いている理由（複数回答）

働いている理由【問8】	(単位:%)					
	全体 (n=640)	現在の仕事に就いた時期【問1】				
		最終学歴卒業・中退後に就いた仕事をずっと続けている (n=198)	最終学歴卒業・中退後に就いた仕事からは転職しているが、仕事はずっと続けている (n=156)	最終学歴卒業・中退後に就いた仕事を結婚・出産を機にいったん辞めたが、その後、同じ仕事または別の仕事に就いた(n=156)	最終学歴卒業・中退後、就労しない期間があったが、その後、仕事に就いた(n=35)	最終学歴卒業・中退後に就いた仕事を結婚・出産以外の理由で辞めたが、その後、同じ仕事または別の仕事に就いた(n=75)
生計(食費・光熱費などの生活基盤)を維持・補助するため	73.6	78.3	80.1	60.9	74.3	77.3
子どもの教育費のため	30.0	21.2	17.9	58.3	20.0	25.3
社会や他人とのつながりを持ちたいから	26.7	22.7	31.4	30.8	22.9	22.7
老後資金や結婚資金など将来に備えるため	25.8	26.8	25.6	21.8	20.0	37.3
経済的に自立したいから	25.6	37.4	29.5	9.6	22.9	22.7
‘働くこと’は当たり前だから	18.3	26.8	23.7	5.1	22.9	9.3
自分の能力や資格を活かしたいから	18.0	21.2	16.7	21.2	8.6	12.0
自分の力を活かして社会や地域に貢献したいから	13.9	12.1	17.3	15.4	20.0	6.7
住宅ローン・奨学金など借金返済のため	12.7	14.6	9.6	14.1	8.6	14.7
時間に余裕があるから	9.5	1.0	6.4	19.9	14.3	14.7
家業だから	0.6	-	-	1.9	-	1.3
その他	2.8	3.0	1.3	0.6	2.9	8.0

(9) 現在の仕事の継続意向【問9】

今後も、現在の仕事を続けたいと思うかを尋ねたところ、「続けたい」「どちらかと言えば続けたい」で74.4%を占めている。

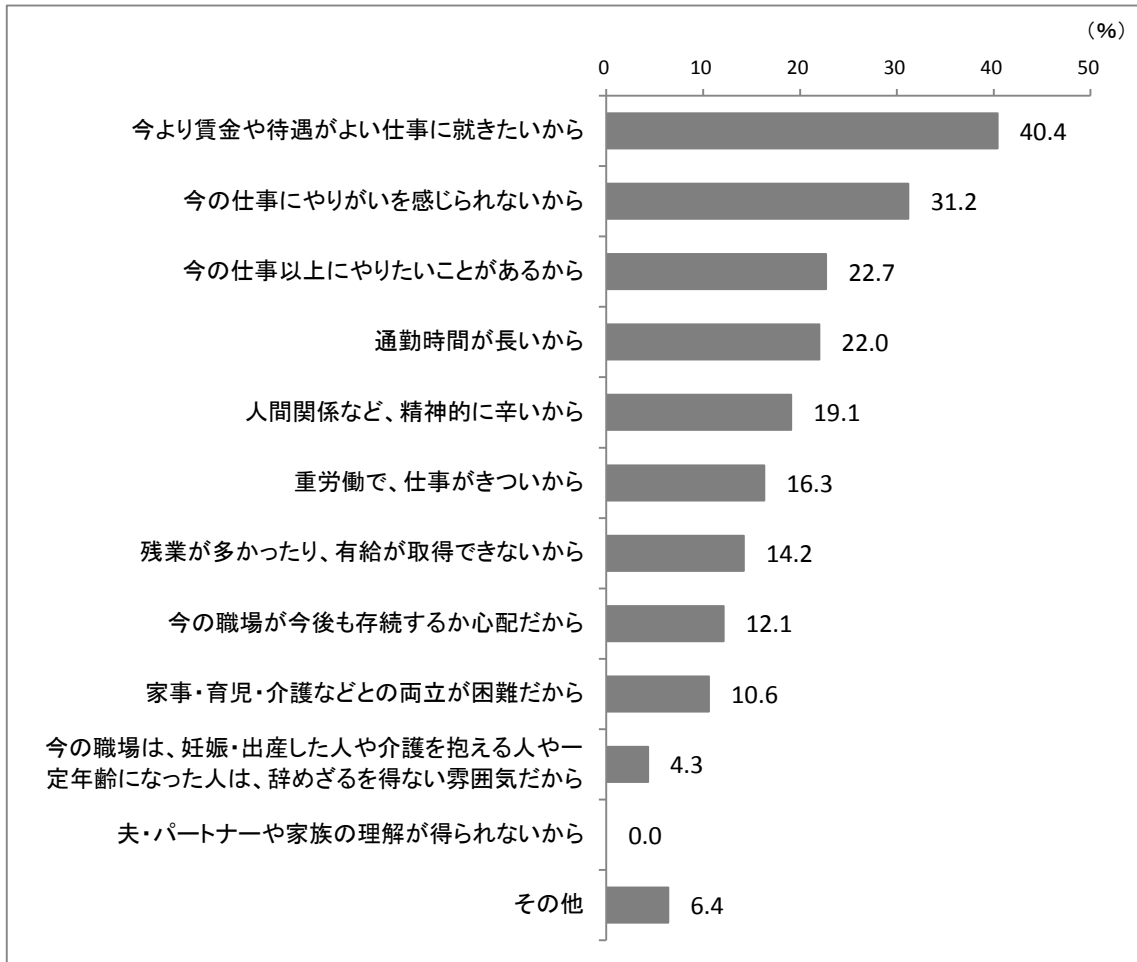
現在の仕事の継続意向 (n=640)



(10) 仕事を变えたいと思う理由【問10】

【問9】で「どちらかと言えば変えたい」「変えたい」と回答した方(141人)に、仕事を变えたいと思う理由を尋ねたところ、「今より賃金や待遇がよい仕事に就きたいから」が最も多く40.4%、次いで「今の仕事にやりがいを感じられないから」が31.2%となっている。

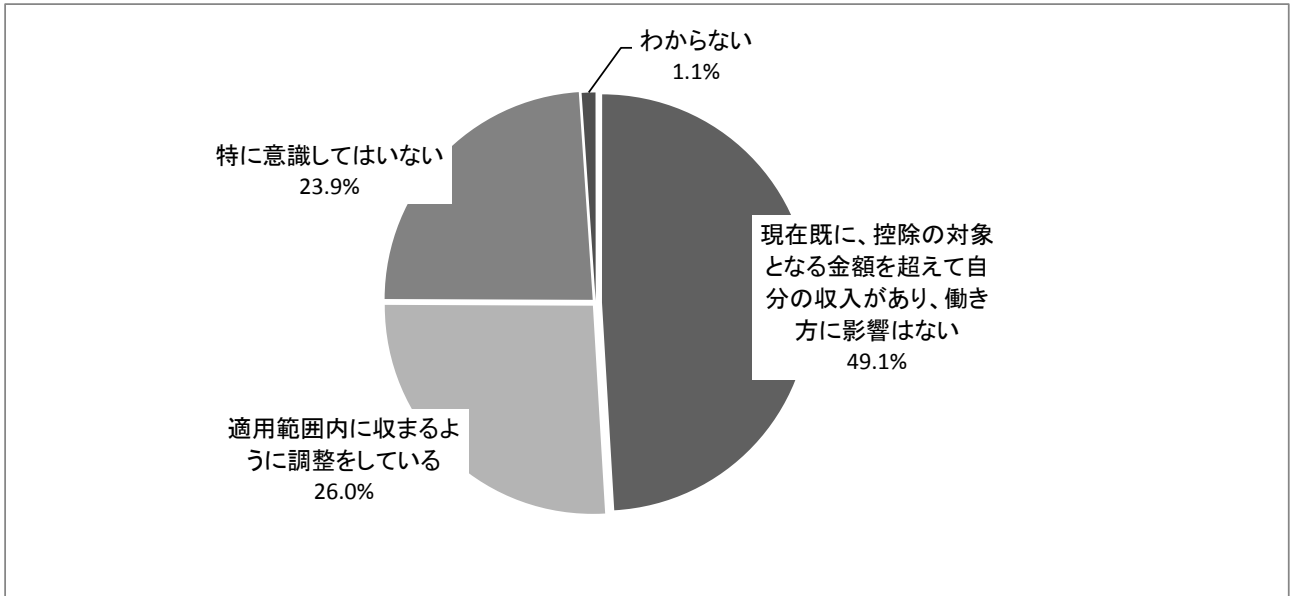
仕事を变えたいと思う理由 (n=141、複数回答)



(11) 配偶者控除・配偶者の第三号被保険者扱いの制度の認識【問 11】

既婚者で、夫が給与所得者（会社員・公務員）である方（373人）に、配偶者控除^{※1}や、給与所得者の配偶者の第三号被保険者扱いの制度^{※2}を意識して就業日数や時間を調整するなどしているかを尋ねたところ、「適用範囲内に収まるように調整をしている」が26.0%となっている。

配偶者控除・配偶者の第三号被保険者扱いの制度の認識（n=373）



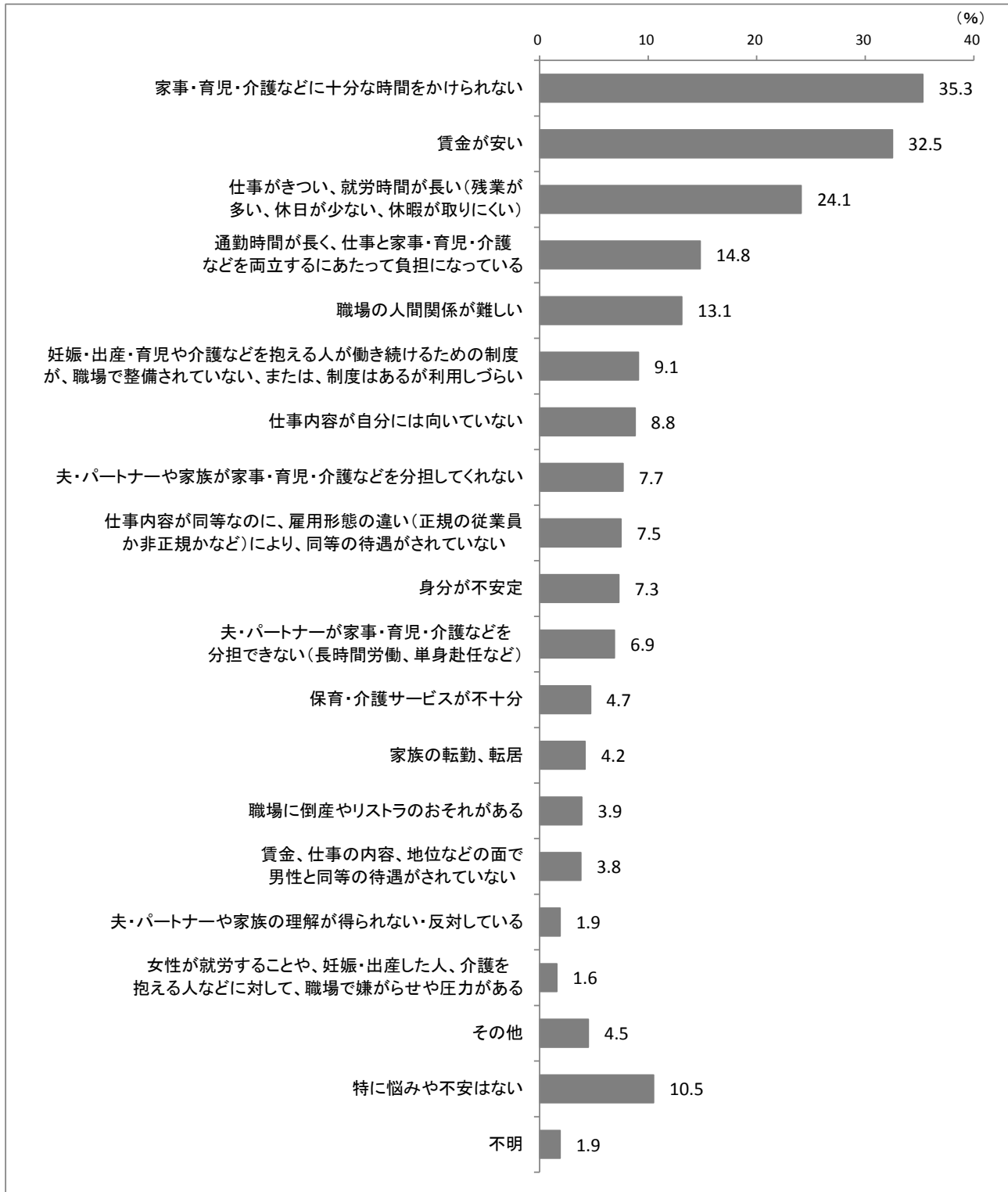
※1. 配偶者控除：配偶者の年収が103万円以下の場合、配偶者が税控除を受けられる制度（いわゆる「103万円の壁」）

※2. 給与所得者の配偶者の第三号被保険者扱いの制度：年収が130万円未満の場合、配偶者が給与所得者であれば、社会保険料を負担せずにする制度（いわゆる「130万円の壁」）

(12) 働き続けていく上での悩みや不安【問 12】

働き続けていく上での悩みや不安を感じるとしたら、どのようなことかを尋ねたところ、「家事・育児・介護などに十分な時間をかけられない」が最も多く 35.3%、次いで「賃金が安い」が 32.5%となっている。

働き続けていく上での悩みや不安（n=640、複数回答）



結婚別・子どもの有無別にみると、「結婚はしていない」「子どもはいない」では「賃金が安い」が最も多く、「仕事がつい、就労時間が長い」「職場の人間関係が難しい」「妊娠・出産・育児や介護などを抱える人が働き続けるための制度が、職場で整備されていない、または、制度はあるが利用しづらい」「仕事内容が自分には向いていない」も多くなっている。

また、「結婚している」「同居している子どもがいる」では「夫・パートナーや家族が家事・育児・介護などを分担してくれない」「夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担できない」「特に悩みや不安はない」も多くなっている。

【結婚別・子どもの有無別】働き続けていく上での悩みや不安（複数回答）

働き続けていく上での悩みや不安【問12】	(単位:%) 全体 (n=640)	現在結婚しているか【F4】		子どもの有無【F7】	
		結婚している(夫・パートナーと同居または単身赴任)(n=389)	結婚(事実婚)はしていない(離別・死別・未婚)(n=248)	同居している子どもがいる(n=316)	子どもはいない(n=320)
家事・育児・介護などに十分な時間をかけられない	35.3	46.0	18.1	50.0	21.3
賃金が安い	32.5	27.8	39.9	28.2	36.3
仕事がつい、就労時間が長い(残業が多い、休日が少ない、休暇が取りにくい)	24.1	16.7	35.9	15.2	33.1
通勤時間が長く、仕事と家事・育児・介護などを両立するにあたって負担になっている	14.8	16.2	12.1	15.5	14.4
職場の人間関係が難しい	13.1	9.0	19.8	7.9	18.4
妊娠・出産・育児や介護などを抱える人が働き続けるための制度が、職場で整備されていない、または、制度はあるが利用しづらい	9.1	7.2	12.1	5.7	12.5
仕事内容が自分には向いていない	8.8	7.2	11.3	5.1	12.5
夫・パートナーや家族が家事・育児・介護などを分担してくれない	7.7	11.8	1.2	13.3	2.2
仕事内容が同等なのに、雇用形態の違い(正規の従業員か非正規かなど)により、同等の待遇がされていない	7.5	8.0	6.9	7.9	6.9
身分が不安定	7.3	5.7	10.1	5.7	8.8
夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担できない(長時間労働、単身赴任など)	6.9	9.8	2.4	10.8	3.1
保育・介護サービスが不十分	4.7	5.7	2.8	5.4	4.1
家族の転勤、転居	4.2	5.4	2.0	4.4	4.1
職場に倒産やリストラのおそれがある	3.9	1.8	7.3	1.3	5.9
賃金、仕事の内容、地位などの面で男性と同等の待遇がされていない	3.8	2.6	5.6	2.2	5.3
夫・パートナーや家族の理解が得られない・反対している	1.9	2.6	0.8	3.2	0.6
女性が就労することや、妊娠・出産した人、介護を抱える人などに対して、職場で嫌がらせや圧力がある	1.6	1.8	1.2	1.6	1.6
その他	4.5	4.4	4.8	4.1	5.0
特に悩みや不安はない	10.5	12.6	7.3	12.7	8.4

働き方別にみると、「正規の社員・職員」以外では「賃金が安い」が最も多く、「正規の社員・職員」では「仕事がきつい、就労時間が長い」「通勤時間が長く、仕事と家事・育児・介護などを両立するにあたって負担になっている」も多くなっている。

また、「派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員」では「仕事の内容が同等なのに、雇用形態の違いにより同等の待遇がされていない」「身分が不安定」も多くなっている。「パート・アルバイト」「個人事業主・自営・家族従業など」では「特に悩みや不安はない」も多くなっている。

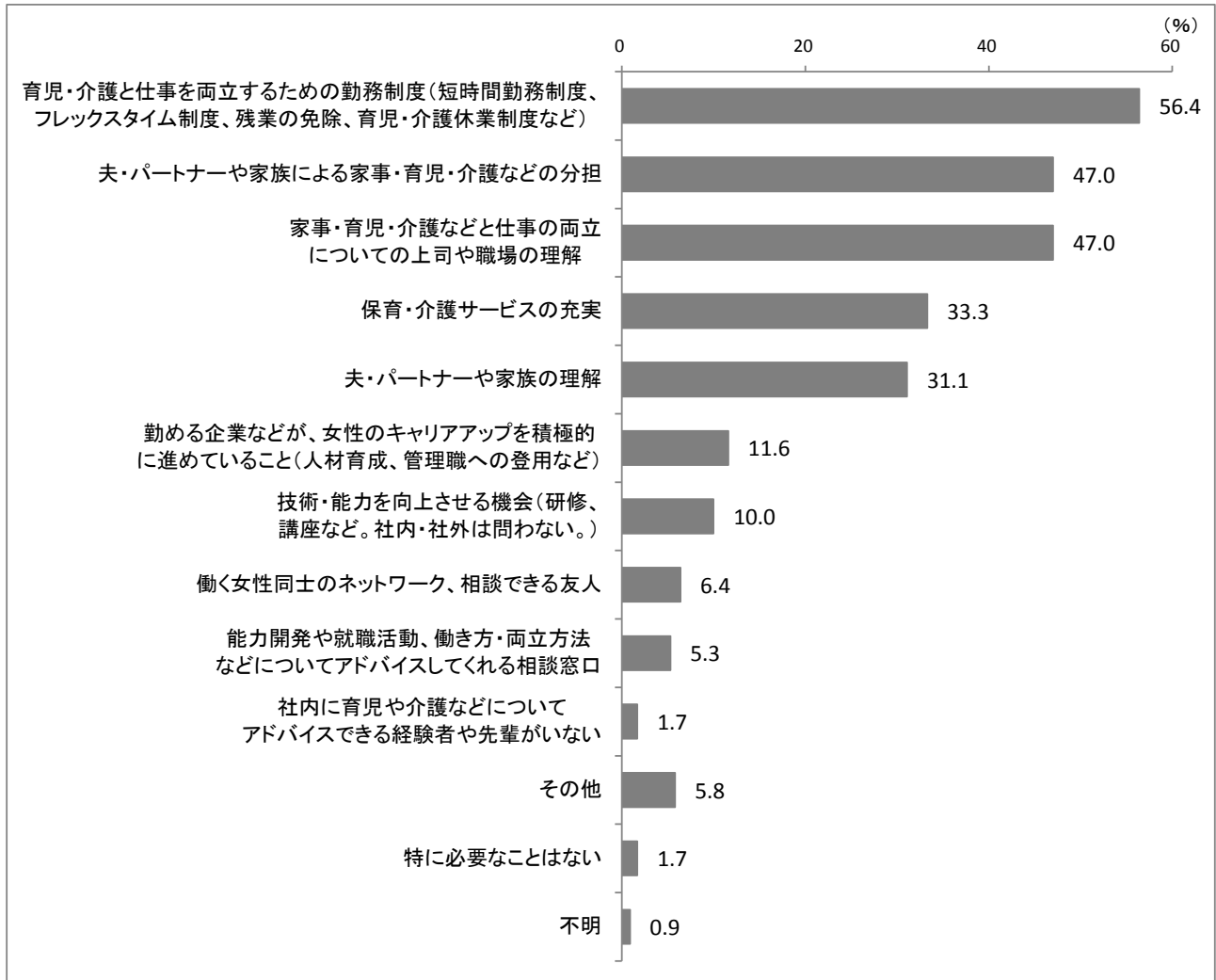
[働き方別] 働き続けていく上での悩みや不安 (複数回答)

働き続けていく上での悩みや不安【問12】	(単位:%)				
	全体 (n=640)	正規の社員・職員 (n=346)	パート・アルバイト (n=193)	派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員 (n=73)	個人事業主・自営・家族従業など(法人以外) (n=14)
家事・育児・介護などに十分な時間をかけられない	35.3	43.9	25.9	26.0	21.4
賃金が安い	32.5	28.6	35.2	45.2	28.6
仕事がきつい、就労時間が長い(残業が多い、休日が少ない、休暇が取りにくい)	24.1	30.9	11.9	24.7	21.4
通勤時間が長く、仕事と家事・育児・介護などを両立するにあたって負担になっている	14.8	22.0	5.7	9.6	7.1
職場の人間関係が難しい	13.1	13.6	11.4	19.2	-
妊娠・出産・育児や介護などを抱える人が働き続けるための制度が、職場で整備されていない、または、制度はあるが利用しづらい	9.1	12.7	4.1	8.2	-
仕事内容が自分には向いていない	8.8	10.7	4.1	12.3	-
夫・パートナーや家族が家事・育児・介護などを分担してくれない	7.7	5.8	13.0	4.1	7.1
仕事内容が同等なのに、雇用形態の違い(正規の従業員か非正規かなど)により、同等の待遇がされていない	7.5	1.4	12.4	24.7	-
身分が不安定	7.3	0.6	9.8	28.8	14.3
夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担できない(長時間労働、単身赴任など)	6.9	6.4	9.8	2.7	7.1
保育・介護サービスが不十分	4.7	6.6	2.1	2.7	7.1
家族の転勤、転居	4.2	3.2	6.2	4.1	-
職場に倒産やリストラのおそれがある	3.9	4.9	2.1	5.5	-
賃金、仕事の内容、地位などの面で男性と同等の待遇がされていない	3.8	6.4	0.5	1.4	-
夫・パートナーや家族の理解が得られない・反対している	1.9	1.4	3.1	-	7.1
女性が就労することや、妊娠・出産した人、介護を抱える人などに対して、職場で嫌がらせや圧力がある	1.6	2.3	1.0	-	-
その他	4.5	4.9	4.1	2.7	14.3
特に悩みや不安はない	10.5	5.5	19.7	5.5	21.4

(13) 女性が働き続けていくために必要だと思うこと【問13】

女性が働き続けていくためには、どのようなことが必要だと思うかを尋ねたところ、「育児・介護と仕事を両立するための勤務制度」が最も多く56.4%、次いで「夫・パートナーや家族による家事・育児・介護などの分担」「家事・育児・介護などと仕事の両立についての上司や職場の理解」が47.0%となっている。

女性が働き続けていくために必要だと思うこと（n=640、複数回答）



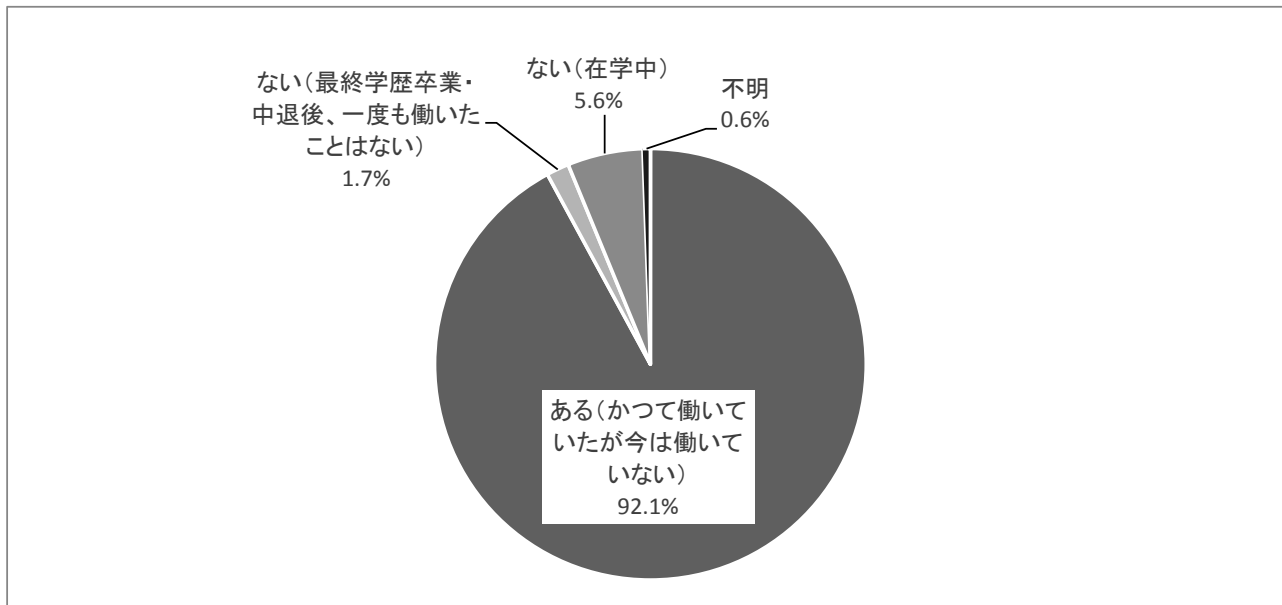
2. 現在、収入を伴う仕事はしていない人について

現在の就業状況【F 9】で「現在、収入を伴う仕事はしていない」と回答した方（177人）を対象とした。

（1）過去の就業経験【問 14】

過去に収入を伴う仕事をしていたことがあるかを尋ねたところ、「ある（かつて働いていたが今は働いていない）」が92.1%を占めている。

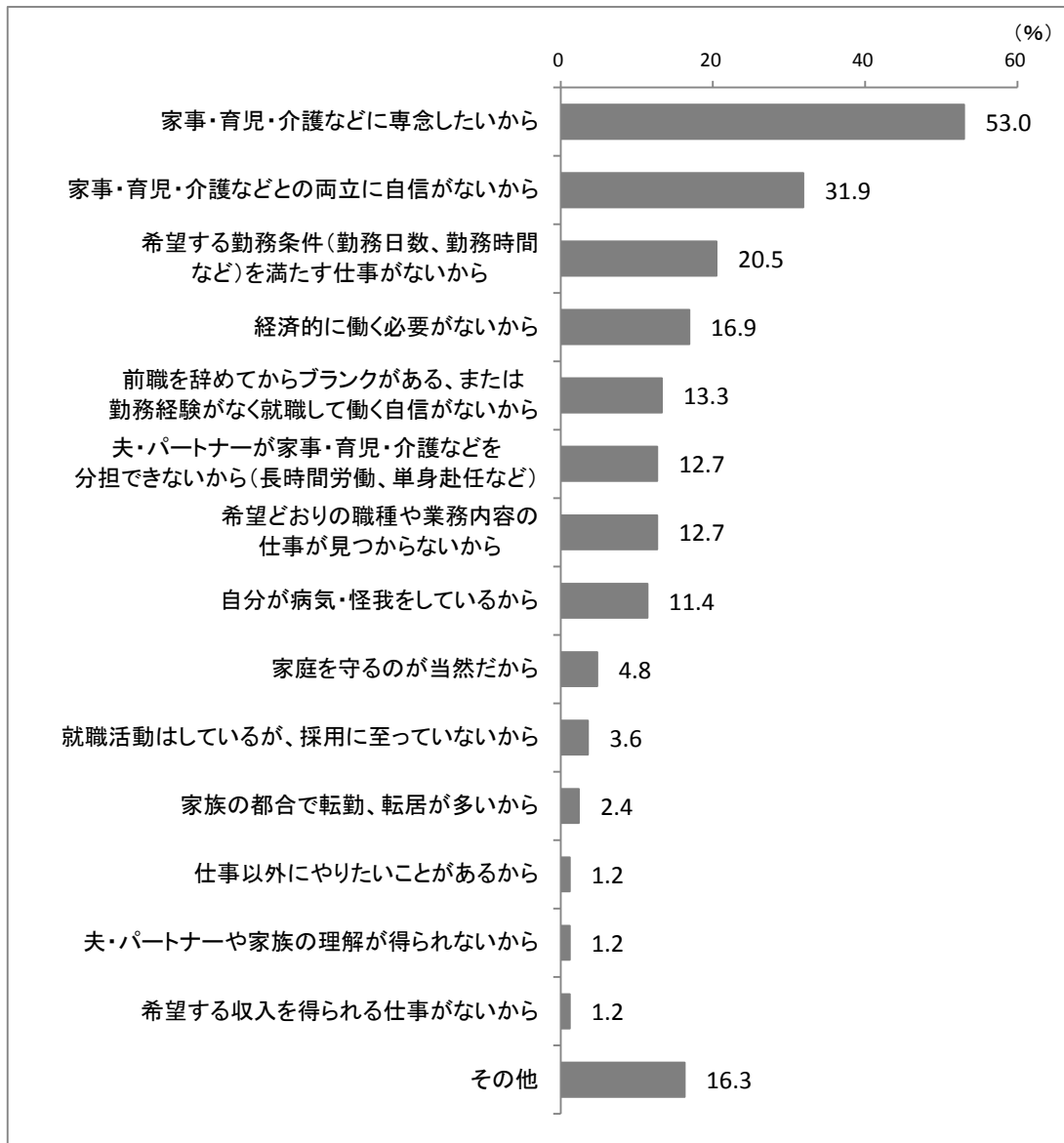
過去の就業経験（n=177）



(2) 現在、仕事をしていない理由【問15】

【問14】で「ある(かつて働いていたが今は働いていない)」「ない(最終学歴卒業・中退後、一度も働いたことはない)」と回答した方(166人)に、現在、仕事をしていない理由を尋ねたところ、「家事・育児・介護などに専念したいから」が最も多く53.0%、次いで「家事・育児・介護などとの両立に自信がないから」が31.9%となっている。

現在、仕事をしていない理由 (n=166、複数回答)

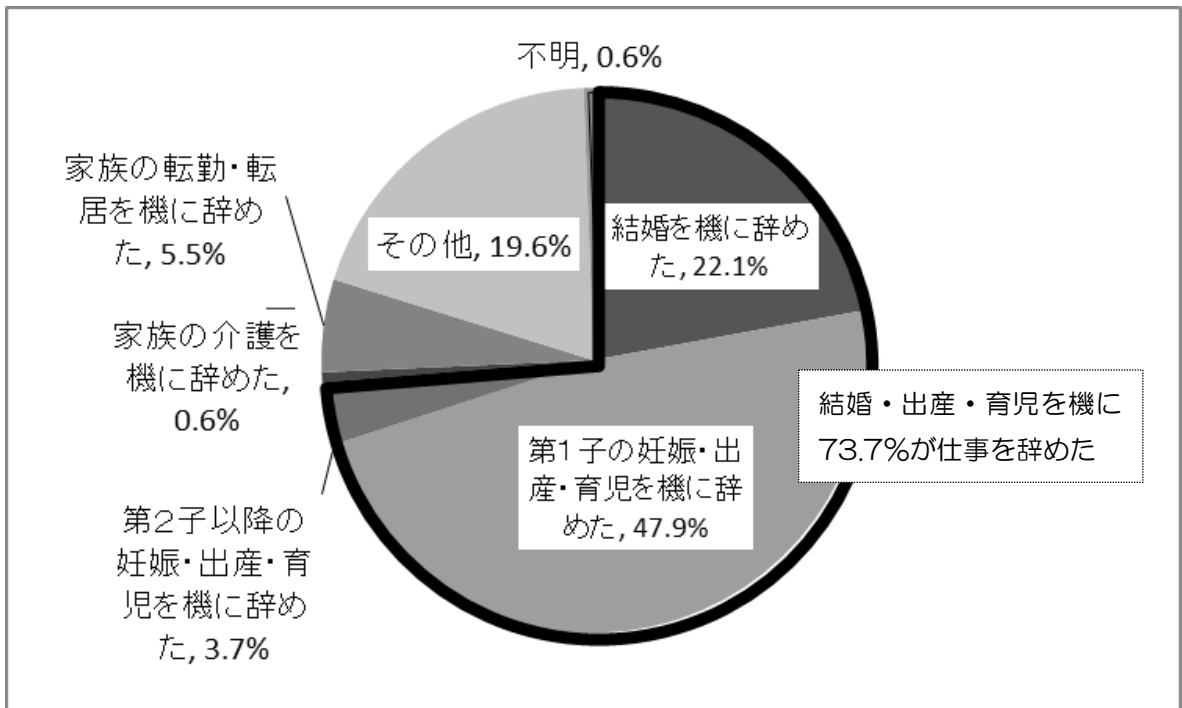


(3) 仕事を辞めた時期【問 16】

【問 14】で「ある（かつて働いていたが今は働いていない）」と回答した方（163人）に、仕事を辞めた時期を尋ねたところ、「第1子の妊娠・出産・育児を機に辞めた」が最も多く47.9%、次いで「結婚を機に辞めた」が22.1%となっている。

「第2子以降の妊娠・出産・育児を機に辞めた」（3.7%）を合わせると、73.7%が、結婚・妊娠・出産・育児を機に仕事を辞めている。

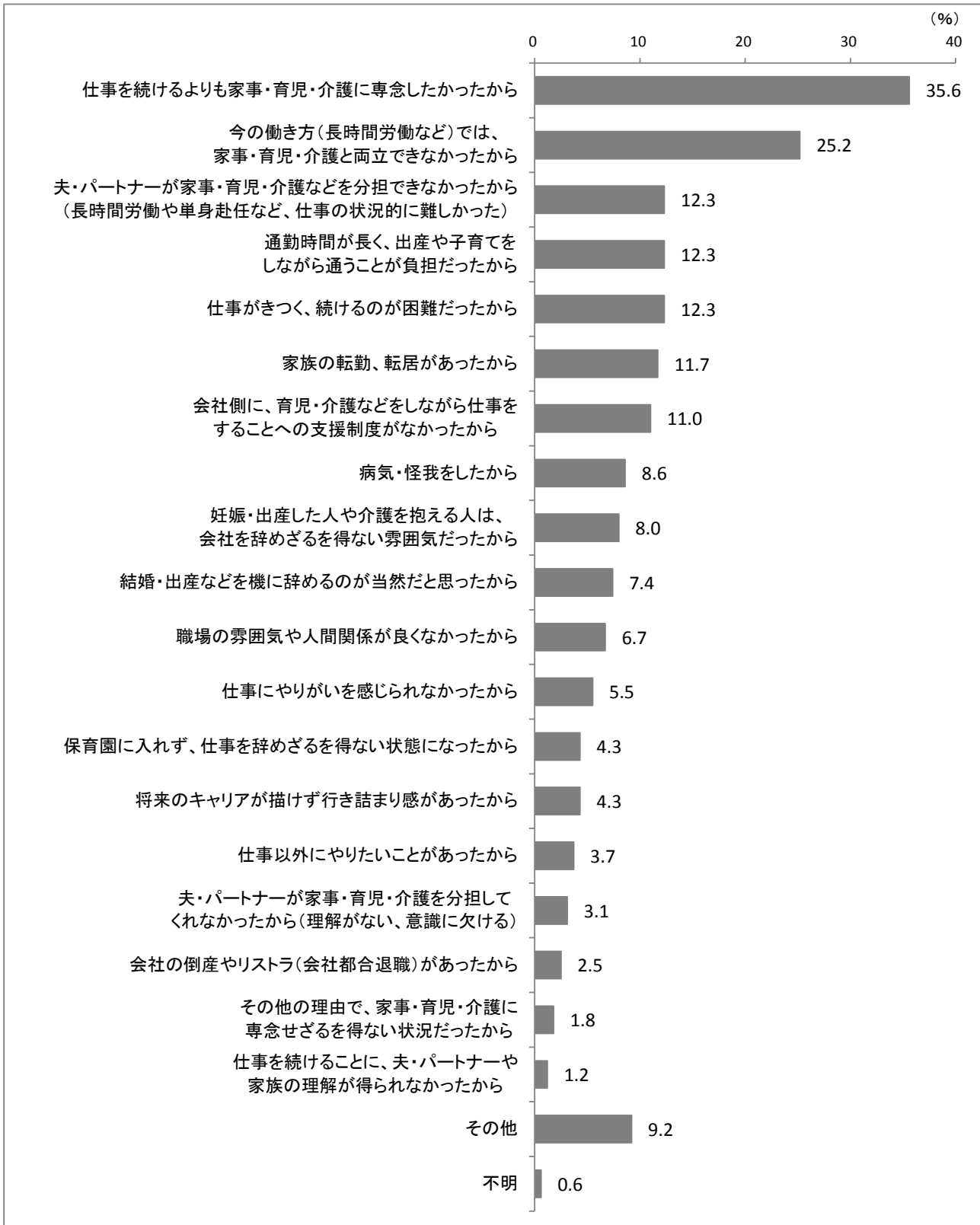
仕事を辞めた時期（n=163）



(4) 仕事を辞めた理由【問 17】

【問 14】で「ある（かつて働いていたが今は働いていない）」と回答した方（163人）に、仕事を辞めた理由を尋ねたところ、「仕事を続けるよりも家事・育児・介護に専念したかったから」が最も多く35.6%、次いで「今の働き方では、家事・育児・介護と両立できなかったから」が25.2%となっている。

仕事を辞めた理由（n=163、複数回答）



(5) 仕事を続けるために必要だったと思うこと【問 18】[自由回答]

【問 14】で「ある（かつて働いていたが今は働いていない）」と回答した方に、「こうした制度やサポートがあれば仕事を辞めなかった」など、仕事を続けるために必要だったと思うことについて尋ねたところ、86 人から回答を得た。

① 内容別の回答件数

内 容	件数	(%)
勤務体制や勤務制度などの充実	38	44.2
長時間労働、差別、体調不良などへのフォロー	21	24.4
保育園などの子育てサービスの充実	14	16.3
職場内または職場近隣での保育所の設置	6	7.0
その他	13	15.1
回答者数 (n)	86 人	100.0

※同一回答者が複数の内容を回答している場合があるため、件数の合計値は回答者数を超える。

② 内容別の主な意見

■企業が対応できること■

内 容	主な意見
時短勤務、フレックスタイム、在宅勤務などの勤務形態の多様化	<input type="checkbox"/> 勤務時間の短縮を、子どもが3歳までしか認めてもらえなかったが、自分が予定していた頃まで時短が使えればと思う。何歳から手が掛からないかは、家の状況によって違う。 <input type="checkbox"/> 時短、曜日限定にシフト出来る制度
産休・育休休暇などの多様な勤務制度・サポートの充実	<input type="checkbox"/> 急な休みにも対応してもらえるようなシステム・制度 <input type="checkbox"/> 非正規の立場でも産休・育休が取れ、復帰出来るサポート環境 <input type="checkbox"/> 夫の転勤などに同期して自分も転勤できるシステム・制度
職場内・職場や自宅近隣の保育園の設置	<input type="checkbox"/> 社内で子どもを預けられる環境 <input type="checkbox"/> 職場内または自宅、職場近隣・駅などの近くに保育園がある。 <input type="checkbox"/> 子ども連れ可能な職場
長時間労働、パワハラ、体調不良などへのフォロー	<input type="checkbox"/> 持病などによる身体の負担にならないで働けるよう勤務日数や時間を変更できる体制 <input type="checkbox"/> 残業の免除や配慮、夜勤の免除や回数の調整 <input type="checkbox"/> 上層部が事務の女性は若い方が良く、入れ替えた方が良いという考え方だった。 <input type="checkbox"/> サポート制度を作っても中小企業はブラックがほとんどで、正社員である以上企業の言うことを聞くしかない。
その他	<input type="checkbox"/> 厳しい勤怠管理体制の実施 <input type="checkbox"/> 妊娠しても働ける雰囲気

■行政が対応できること■

内 容	主な意見
保育園などの入園・子育て環境の拡大	<input type="checkbox"/> 保育園に誰でも困らず入れるようにして欲しい。そうすれば仕事を再開しやすくなるので家計も助かる。 <input type="checkbox"/> 自分の出勤時間が子どもの登校時間よりも早く、子どもが一人で鍵をかけて出かけさせるのが不安だった。私は仕事を辞めたが、そのように困っている人は多くいると思う。放課後の子どもの受け入れ先は充実しつつあるので、朝の時間についての要望もあるのではないかと思う。
ブラック企業などの取り締まりや相談窓口	<input type="checkbox"/> 長時間労働、サービス残業、パワハラを放置しているブラック企業を行政で摘発する仕組みがもっと改善されれば良い。劣悪な労働環境でなければ仕事を辞めなかった。 <input type="checkbox"/> 社内のパワハラ相談窓口→国から会社側への働きかけ
その他	<input type="checkbox"/> 産後ケアセンターのようなものを充実にし、今後の生活のシミュレーションができ、地域のケア情報などが勉強できる環境があれば良かった。

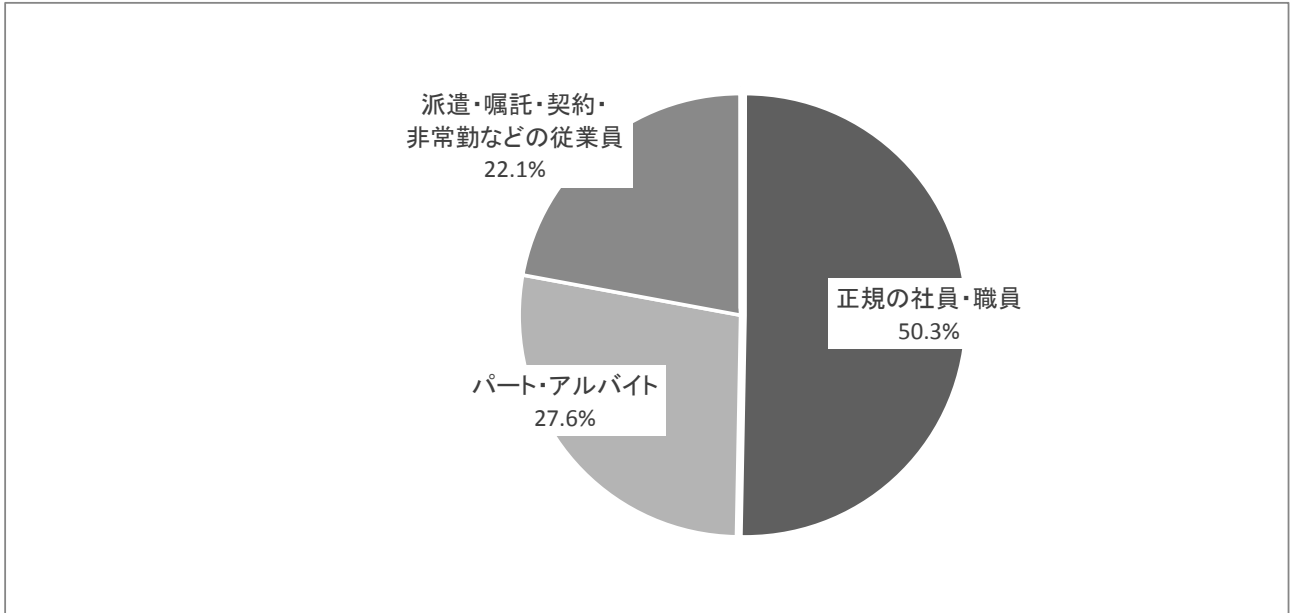
■その他■

内 容	主な意見
サービス・制度の充実	<input type="checkbox"/> 家事代行サービスの充実 <input type="checkbox"/> 他社との交換留学のような仕組みの女性会社訪問制度のようなものがあつたら良かった。自分の仕事も見直すことができ、他社の良い所を自社に持ち帰り女性活用推進活動ができたと思う。
通勤環境の改善	<input type="checkbox"/> 通勤時の電車遅延が多すぎた為、会社に居づらくなった。
他人の事例	<input type="checkbox"/> 身近にいた同性の上司などは、仕事と家庭の両立のために自分や家族にかなり無理を強いていた。もし、好事例が見られたなら仕事を続けたいと思っただろう。

(6) 最後に働いていた時の働き方（雇用形態）【問 19】

【問 14】で「ある（かつて働いていたが今は働いていない）」と回答した方（163人）に、最後に働いていた時の働き方（雇用形態）を尋ねたところ、「正規の社員・職員」が50.3%を占めている。

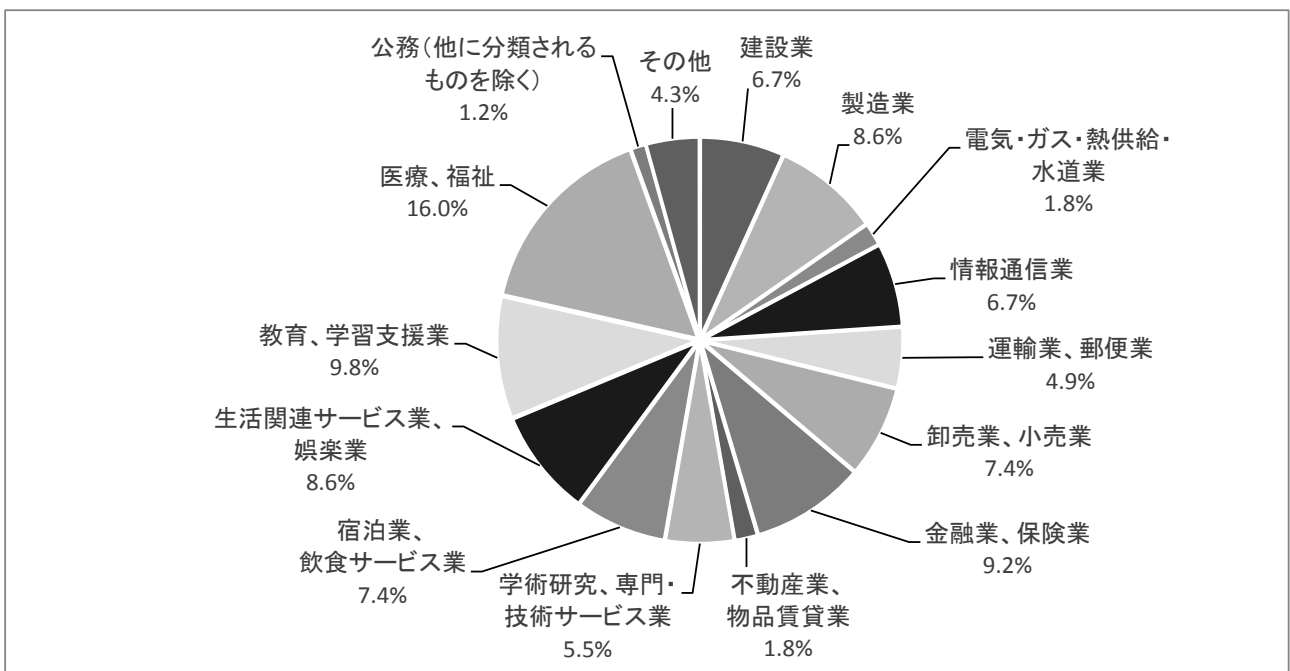
最後に働いていた時の働き方（雇用形態）（n=163）



(7) 最後に勤めていた勤務先の業種【問 20】

【問 19】で「正規の社員・職員」「パート・アルバイト」「派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員」と回答した方（163人）に、最後に勤めていた勤務先の業種を尋ねたところ、「医療、福祉」が最も多く16.0%、次いで「教育、学習支援業」が9.8%となっている。

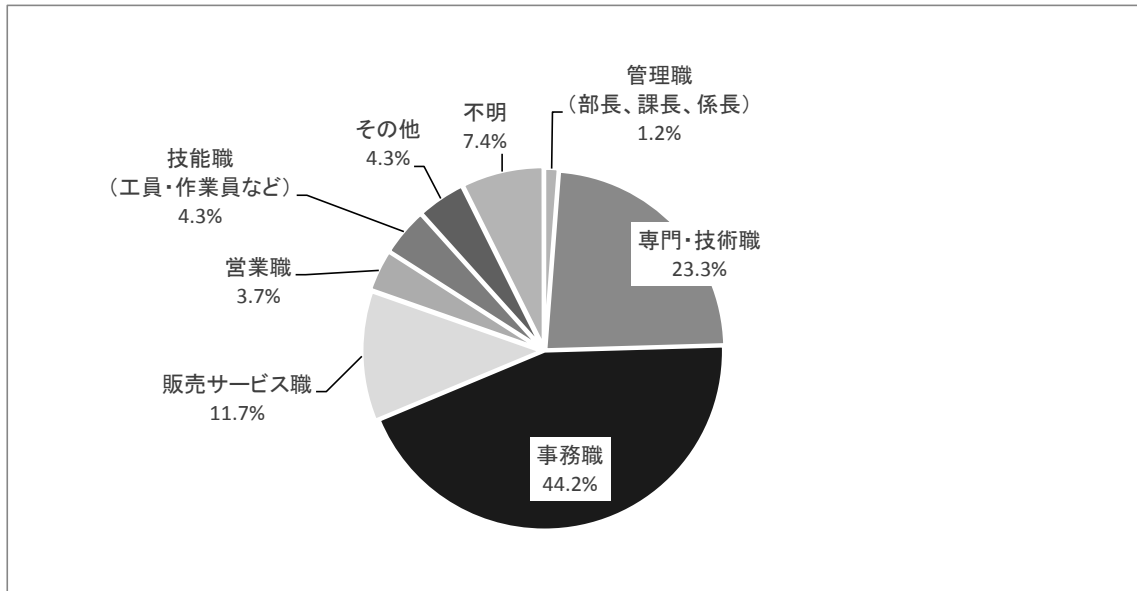
最後に勤めていた勤務先の業種（n=163）



(8) 最後に勤めていた職種【問 21】

【問 19】で「正規の社員・職員」「パート・アルバイト」「派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員」と回答した方（163人）に、最後に勤めていた職種を尋ねたところ、「事務職」が最も多く44.2%、次いで「専門・技術職」が23.3%となっている。

最後に勤めていた職種（n=163）

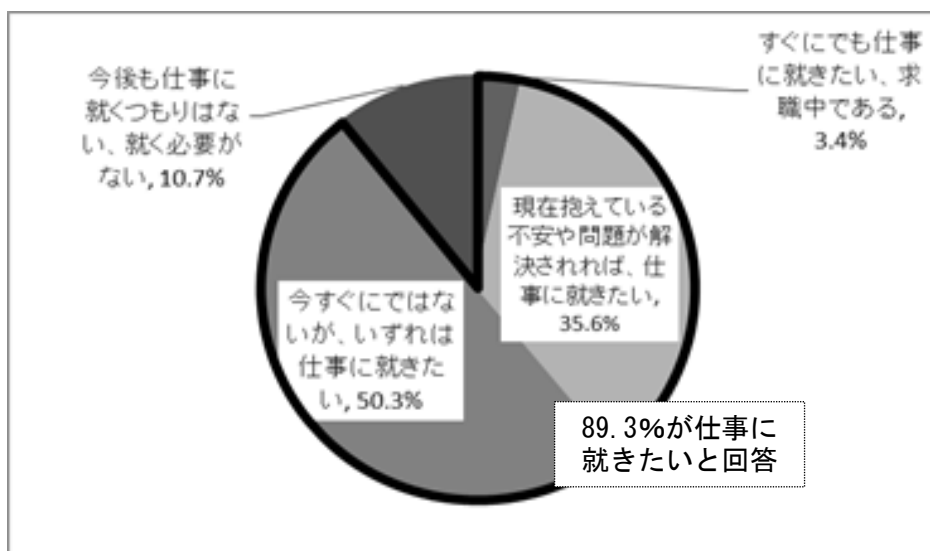


(9) 今後の就業意向【問 22】

今後、仕事に就きたいと思うかを尋ねたところ、「今すぐにではないが、いずれは仕事に就きたい」（50.3%）が最も多く、次いで「現在抱えている不安や問題が解決されれば、仕事に就きたい」（35.6%）、「すぐにでも仕事につきたい、求職中である」（3.4%）となっている。

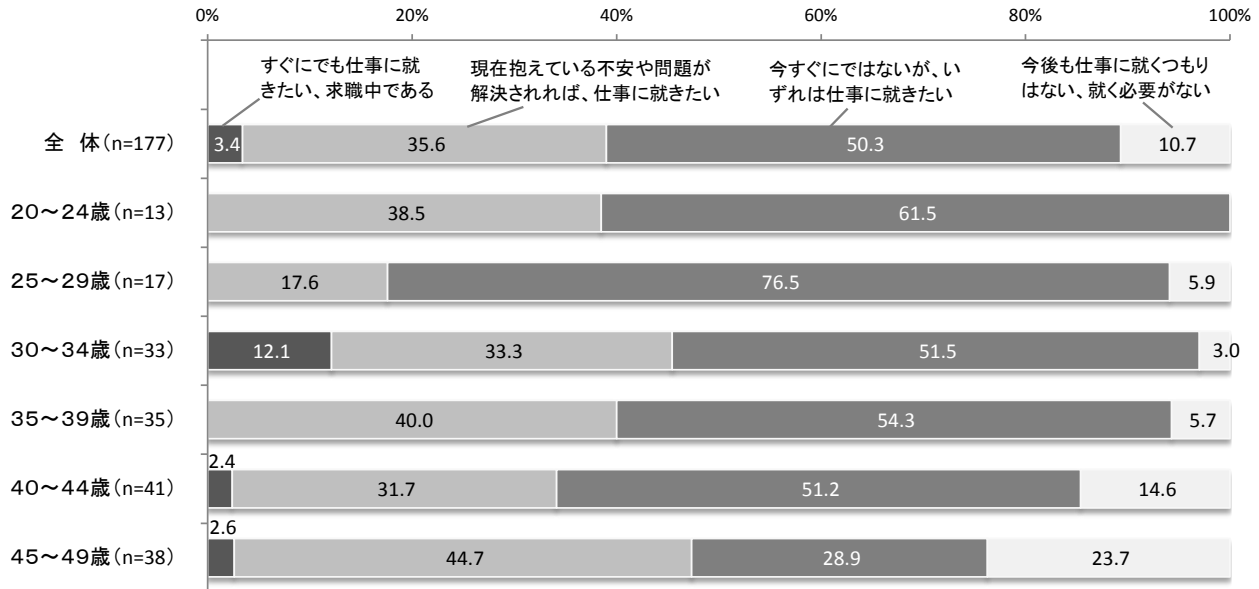
以上を合わせると、今後の就業意向のある人は、全体の約9割（89.3%）となっている。

今後の就業意向（n=177）



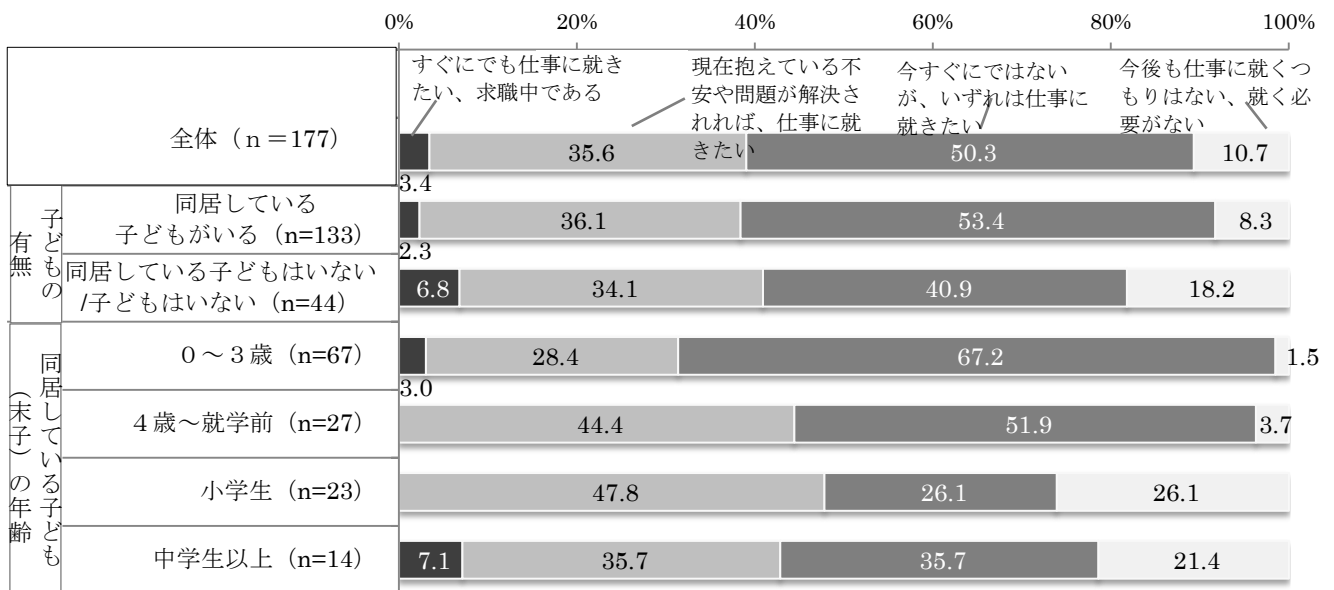
年齢別にみると、「30～34歳」では「すぐにでも仕事に就きたい、求職中である」がやや多くなっている。また、30歳以上では、年齢が上がるほど「今後も仕事に就くつもりはない、就く必要がない」が多くなる傾向となっている。

[年齢別] 今後の就業意向



子供の有無別にみると、「子どもはいない」、同居している子ども(末子)の年齢別にみると、小学生以上では、「今後も仕事に就くつもりはない、就く必要がない」がやや多くなっている。

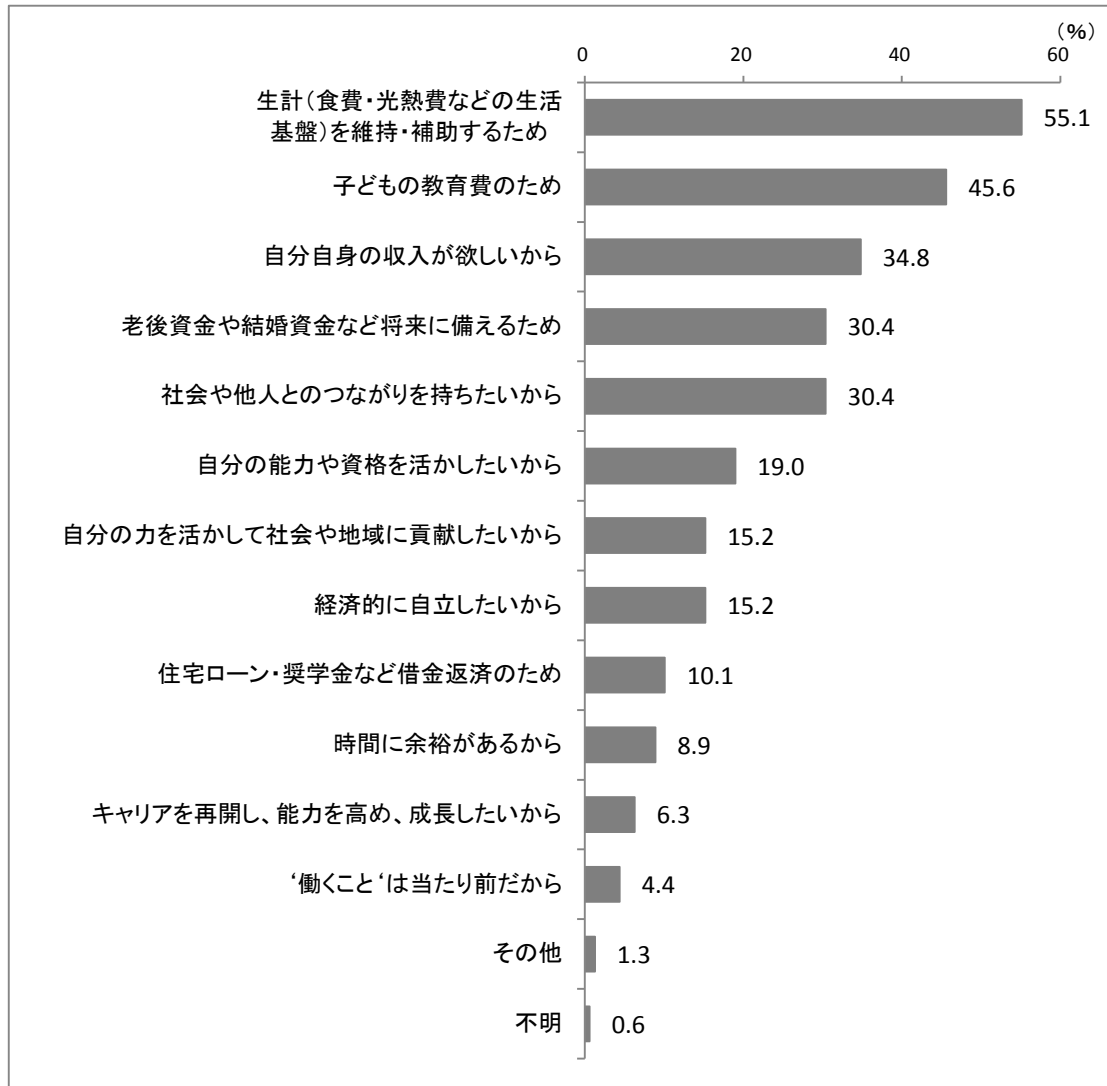
[子供の有無別・同居している子ども(末子)の年齢別] 今後の就業意向



(10) 働きたいと思う理由【問 23】

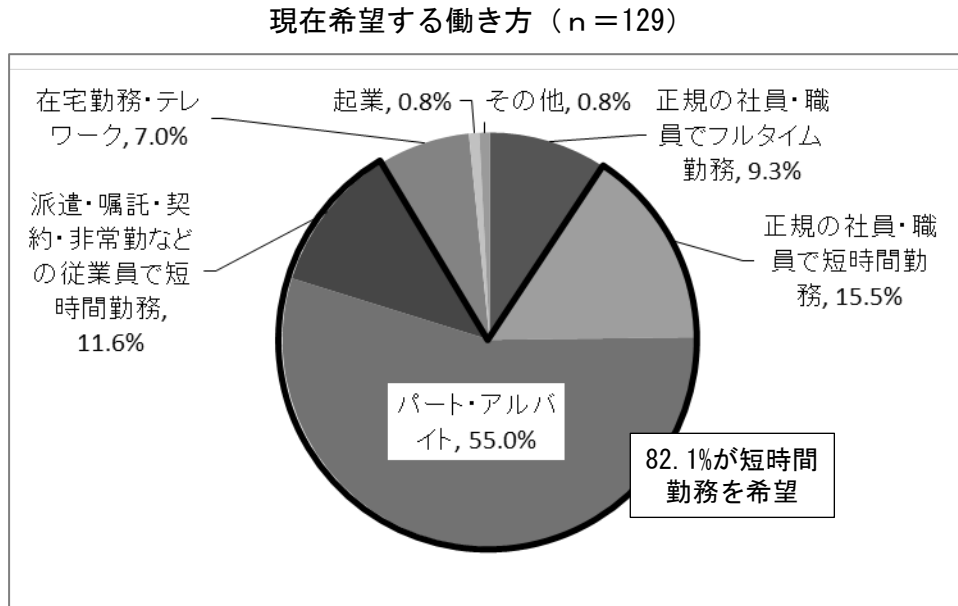
【問 22】で「仕事に就きたい」と回答した方（158 人）に、（再び）働きたいと思う理由を尋ねたところ、「生計（食費・光熱費などの生活基盤）を維持・補助するため」が最も多く 55.1%、次いで「子どもの教育費のため」が 45.6%となっている。

働きたいと思う理由（n=158、複数回答）

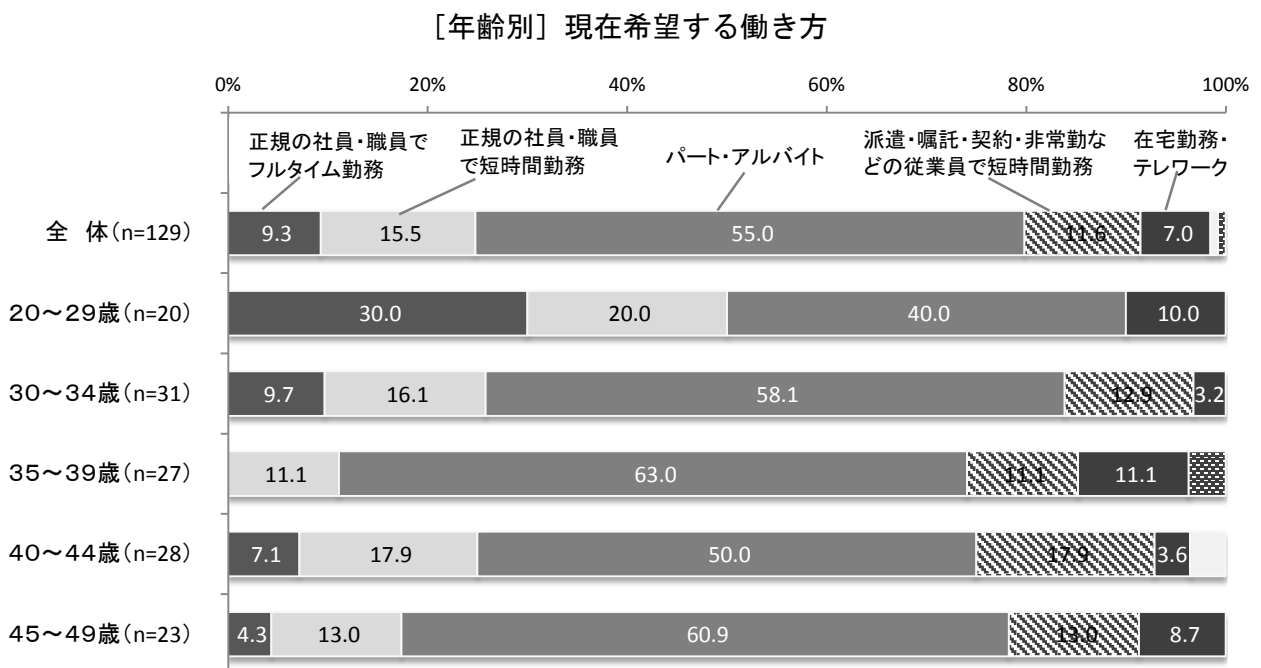


(11) 希望する働き方（雇用形態）【問 24】

【問 22】で「仕事に就きたい」と回答した方（129人）に、今（再び）働き始める場合、どのような働き方（雇用形態）を望むかを尋ねたところ、「パート・アルバイト」（55.0%）が最も多く、以下の「正規の社員・職員で短時間勤務」（15.5%）を大きく上回った。フルタイム勤務を希望する人は9.3%で、全体の約8割（82.1%）は短時間勤務を希望している。

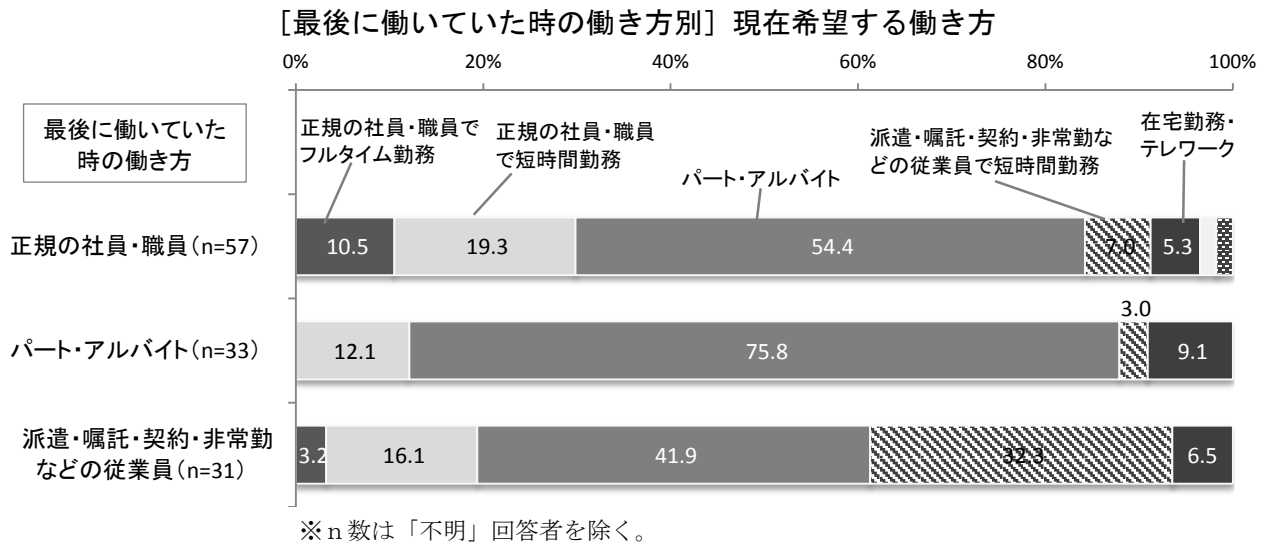


年齢別にみると、30歳以上では「パート・アルバイト」や「派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員で短時間勤務」が多くなっている。

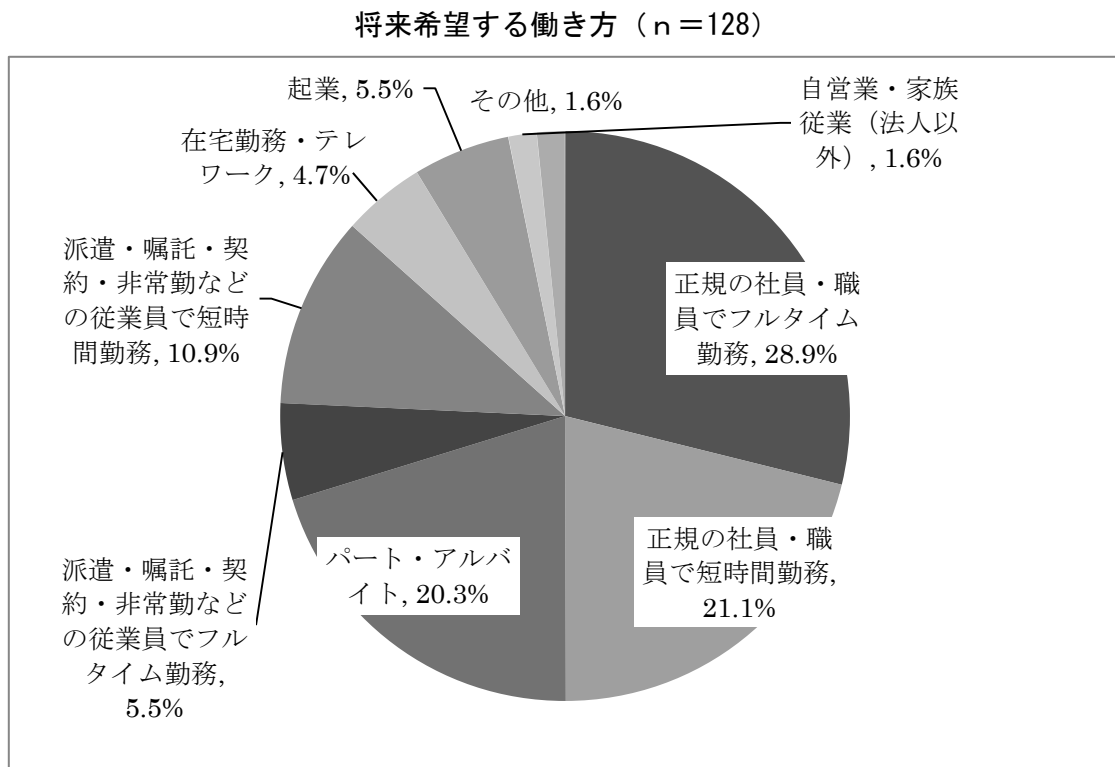


※n数は「不明」回答者を除く。

最後に働いていた時の働き方別にみると、「正規の社員・職員」だった人は、約3割が「正規の社員・職員」を希望しているが、5割超が「パート・アルバイト」を希望しており、最も多くなっている。

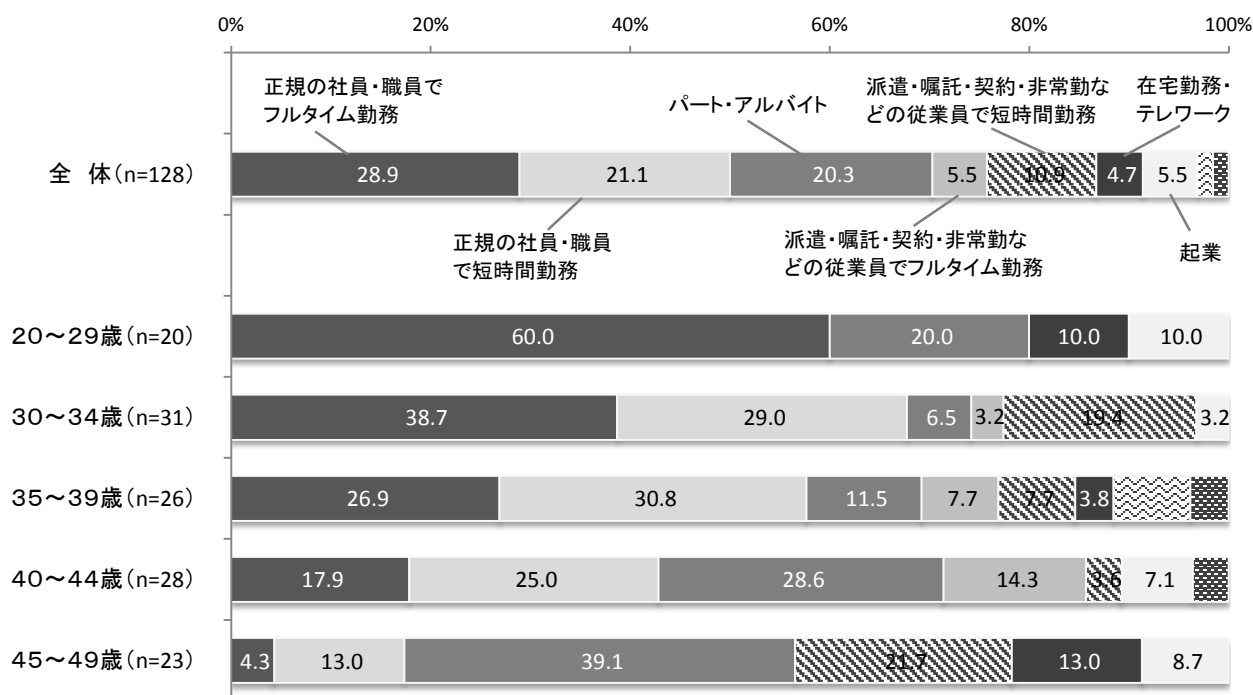


また、将来的にどのような働き方を望むかを尋ねたところ、「正規の社員・職員でフルタイム勤務」が最も多く28.9%、次いで「正規の社員・職員で短時間勤務」が21.1%となっている。



年齢別にみると、30歳以上では、年齢が上がるほど「正規の社員・職員」が少なくなり、「パート・アルバイト」が多くなっている。

[年齢別] 将来希望する働き方

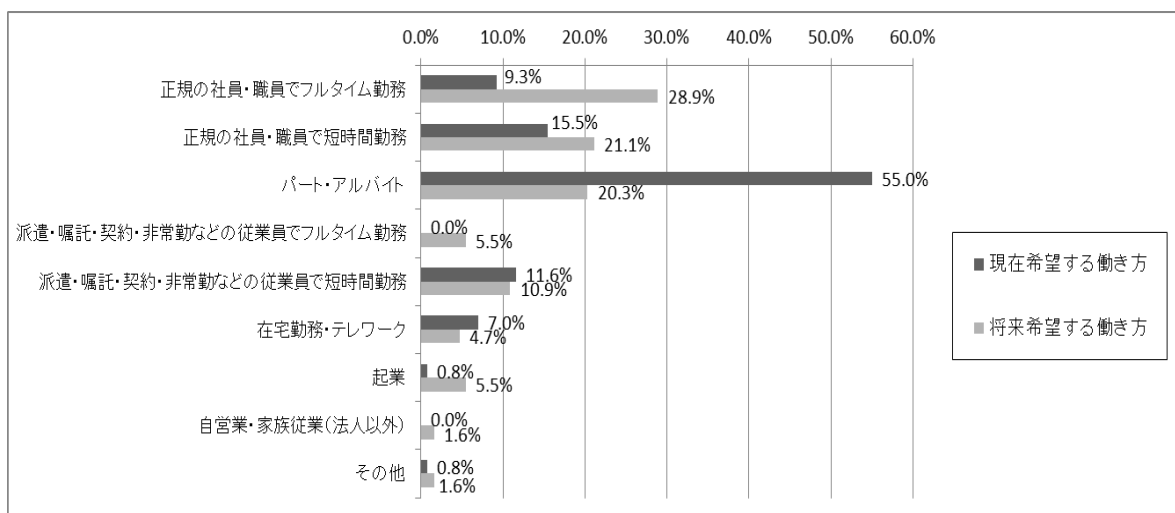


※n数は「不明」回答者を除く。

直近で希望する働き方は、短時間勤務が82.1%（正規の社員・職員15.5%+パート・アルバイト55%+派遣・食卓・契約・非常勤などの従業員11.6%）、フルタイム勤務が9.3%に対し、将来希望する働き方では、短時間勤務が52.3%、フルタイム勤務が34.4%となっている。

また、就労形態別にみると、直近で希望する働き方では、パート・アルバイト（55.0%）、正規の社員・職員（24.8%）、派遣・嘱託等（11.6%）に対し、将来希望する働き方では、正規の社員・職員（50.0%）、パート・アルバイト（20.3%）、派遣・嘱託等（16.4%）となっている。

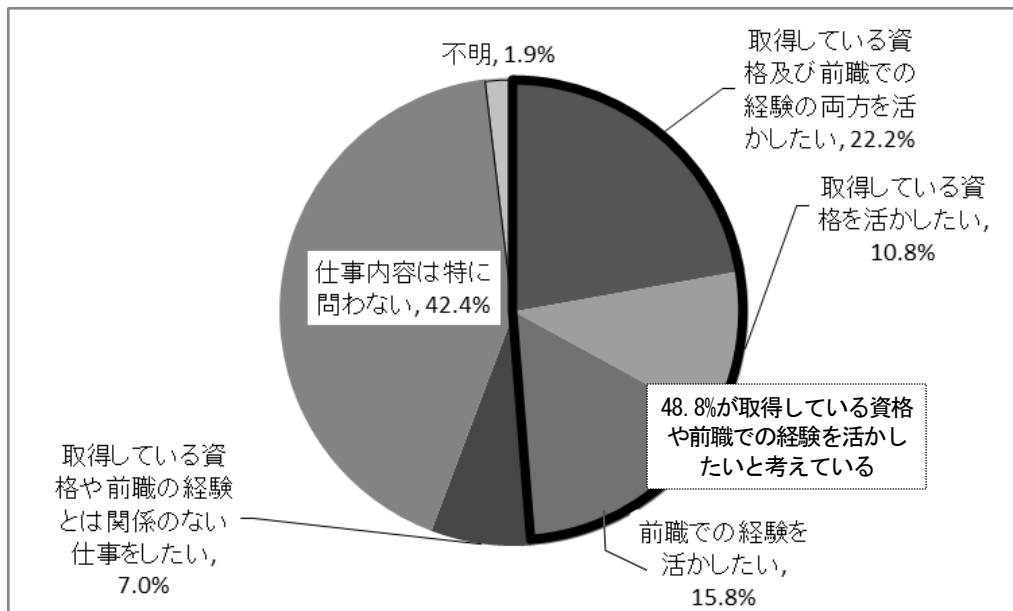
現在希望する働き方と将来希望する働き方の比較



(12) 資格や経験を活かした就業意向【問 25】

【問 22】で「仕事に就きたい」と回答した方（158人）に、（再び）働く場合、資格や経験を活かして仕事したいと思うかを尋ねたところ、「仕事内容は特に問わない」（42.4%）が最も多かったが、「取得している資格及び前職での経験の両方を活かしたい」（22.2%）、「前職での経験を活かしたい」（10.8%）及び「取得している資格を活かしたい」（10.8%）の合計は48.8%となっている。全体の5割近くが、取得している資格や前職での経験を活かしたいを考えている。

資格や経験を活かした就業意向（n=158）



(13) 現在持っている資格・今後取得したい資格【問 26】[自由回答]

【問 22】で「仕事に就きたい」と回答した方に、現在持っている資格、および今後仕事に活かすために取得したいと思う資格について尋ねた。回答として挙げられた資格名称等は次のとおりである。

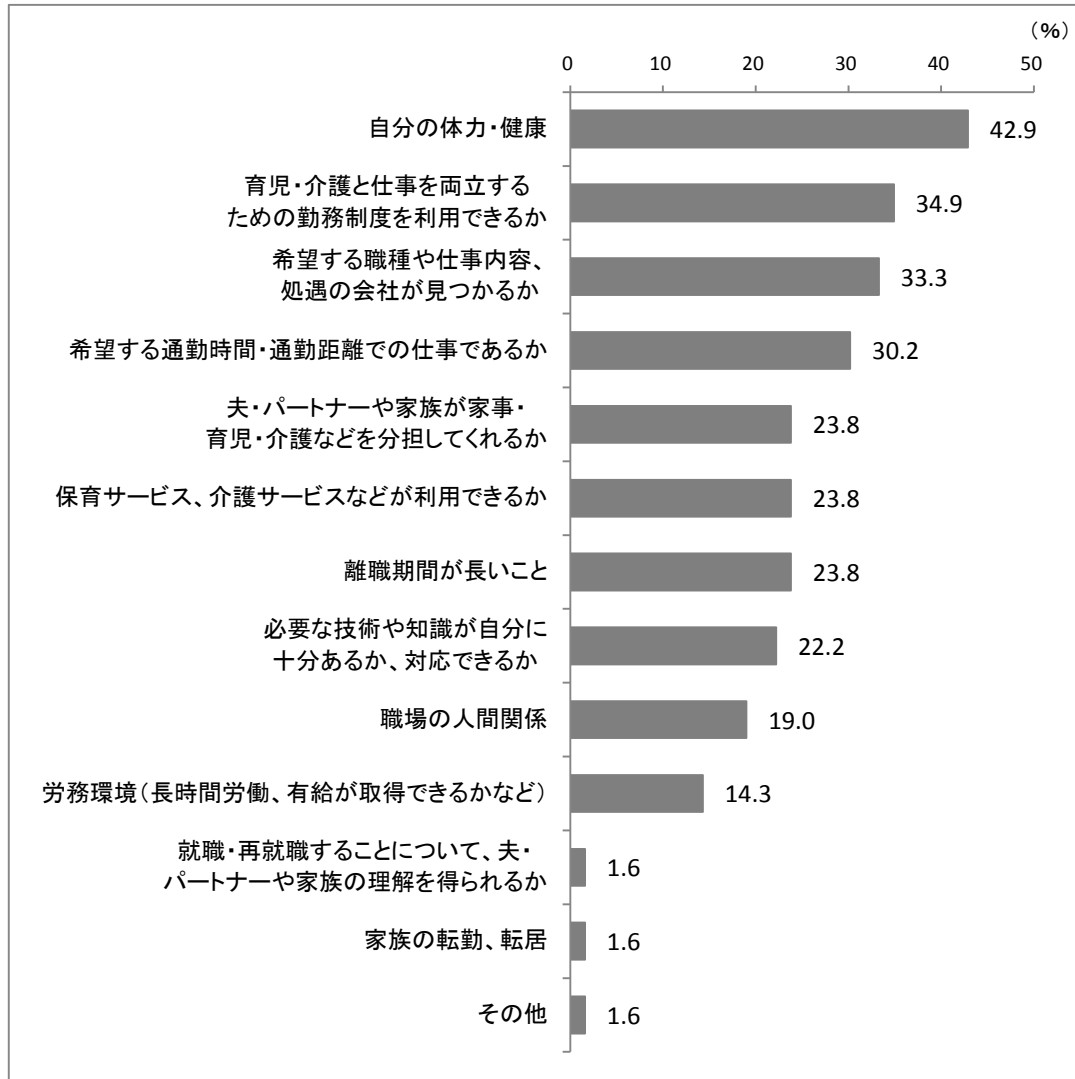
分野	現在持っている資格等 (95 人)	今後取得したい資格等 (47 人)
医療/保健	看護師、動物看護師、医師、歯科衛生士、医療事務、調剤事務、保健師、救急救命士	看護師、薬剤師、登録販売者、医療事務、調剤事務、精神保健福祉士、救命救急
福祉	保育士、介護福祉士、ホームヘルパー、サービス介助士、福祉住環境コーディネーター	社会福祉士、ケアマネージャー、福祉住環境コーディネーター、子育て支援、介護
教育	幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭、社会教育主事、日本語教育	モンテッソーリ教師国際ディプロマ、日本語教師
財務/保険	ファイナンシャルプランナー (FP)、クレジット債権管理士・シニアクレジッター、証券外務員、損害保険募集人資格、日商簿記検定	ファイナンシャルプランナー (FP)、日商簿記検定
情報処理/パソコン	情報処理検定、パソコン検定	パソコン検定
法律/実務	宅地建物取引士 (旧:宅地建物取引主任者)、行政書士、通関士、図書館司書、秘書検定、衛生管理者、旅程管理主任者、不動産キャリアパーソン、貿易実務検定、ワープロ検定、販売士検定、危険物取扱者、大型特殊免許、マナープロトコール検定	宅地建物取引士 (旧:宅地建物取引主任者)、通訳ガイド、社会保険労務士、秘書検定、管理業務士
食品/衛生	管理栄養士、栄養士、調理師、理容師、美容師、製菓衛生士	栄養士、調理師、美容師、製菓衛生士、管理理容師、食生活・食育アドバイザー
語学	英検、TOEIC、フランス語検定、漢字検定	TOEIC
その他	メンタル心理カウンセラー、インテリアコーディネーター、色彩検定、パーソナルカラー検定、カラーコーディネーター、洋裁技術検定、家庭薬膳、アロマコーディネーター、リフレクソロジー、ヘッドセラピスト、ネイリスト、整理収納アドバイザー、わらべうたベビーマッサージ	インテリアコーディネーター、アロマセラピー検定、まつ毛エクステ技術、ネイリスト

※同一回答者が複数の資格等を回答している場合がある。

(14) 今後、仕事をする上で不安に思うこと・問題になること【問 27】

【問 22】で「現在抱えている不安や問題が解決されれば、仕事に就きたい」と回答した方（63人）に、今後仕事をしようとする上で、不安に思うことや問題になることは何かを尋ねたところ、「自分の体力・健康」が最も多く 42.9%、次いで「育児・介護と仕事を両立するための勤務制度を利用できるか」が 34.9%となっている。

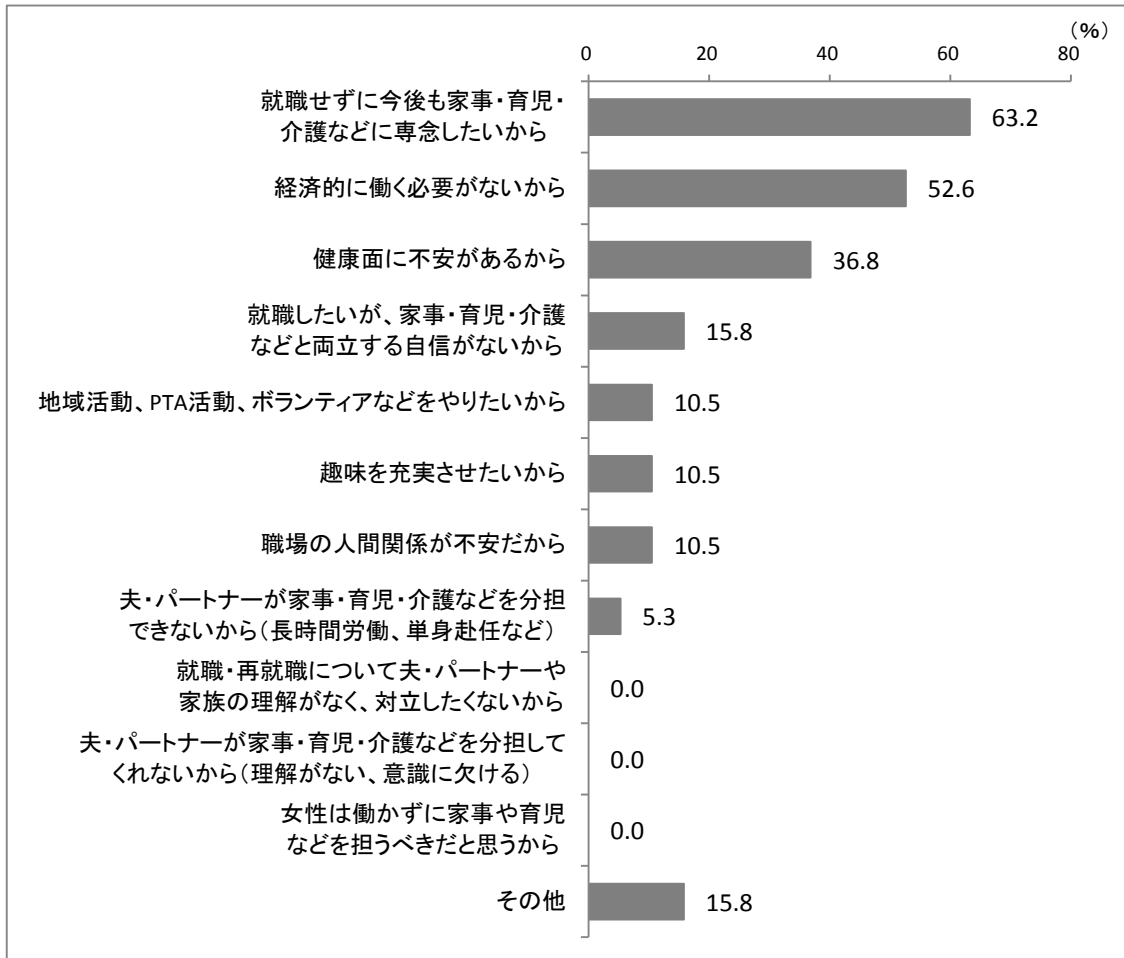
今後、仕事をする上で不安に思うこと・問題になること（n=63、複数回答）



(15) 就業を希望しない理由【問 28】

【問 22】で「今後も仕事に就くつもりはない、就く必要がない」と回答した方（19人）に、その理由を尋ねたところ、「就職せずに今後も家事・育児・介護などに専念したいから」が最も多く 63.2%、次いで「経済的に働く必要がないから」が 52.6%となっている。

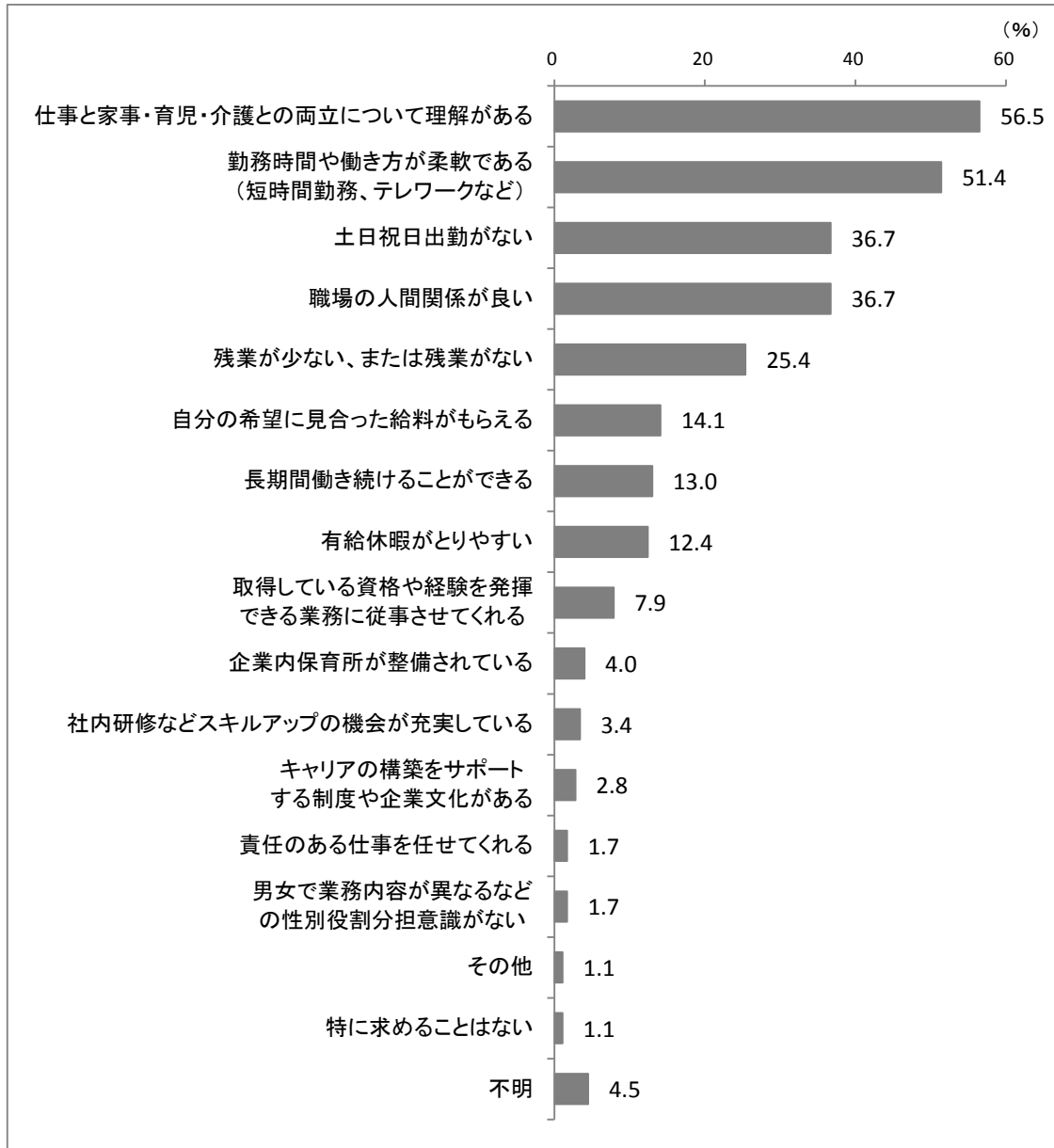
就業を希望しない理由（n=19、複数回答）



(16) 働くために企業に求めること【問 29】

(再び) 働くために、企業に求めることを尋ねたところ、「仕事と家事・育児・介護との両立について理解がある」が最も多く 56.5%、次いで「勤務時間や働き方が柔軟である」が 51.4% となっている。

働くために企業に求めること (n=177、複数回答)



現在仕事をしていない理由別にみると、「夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担できないから」「希望どおりの職種や業務内容の仕事が見つからないから」では「土日祝日出勤がない」も多くなっている。

また、「前職を辞めてからブランクがある、または勤務経験がなく就職して働く自信がないから」では「職場の人間関係が良い」もやや多くなっている。

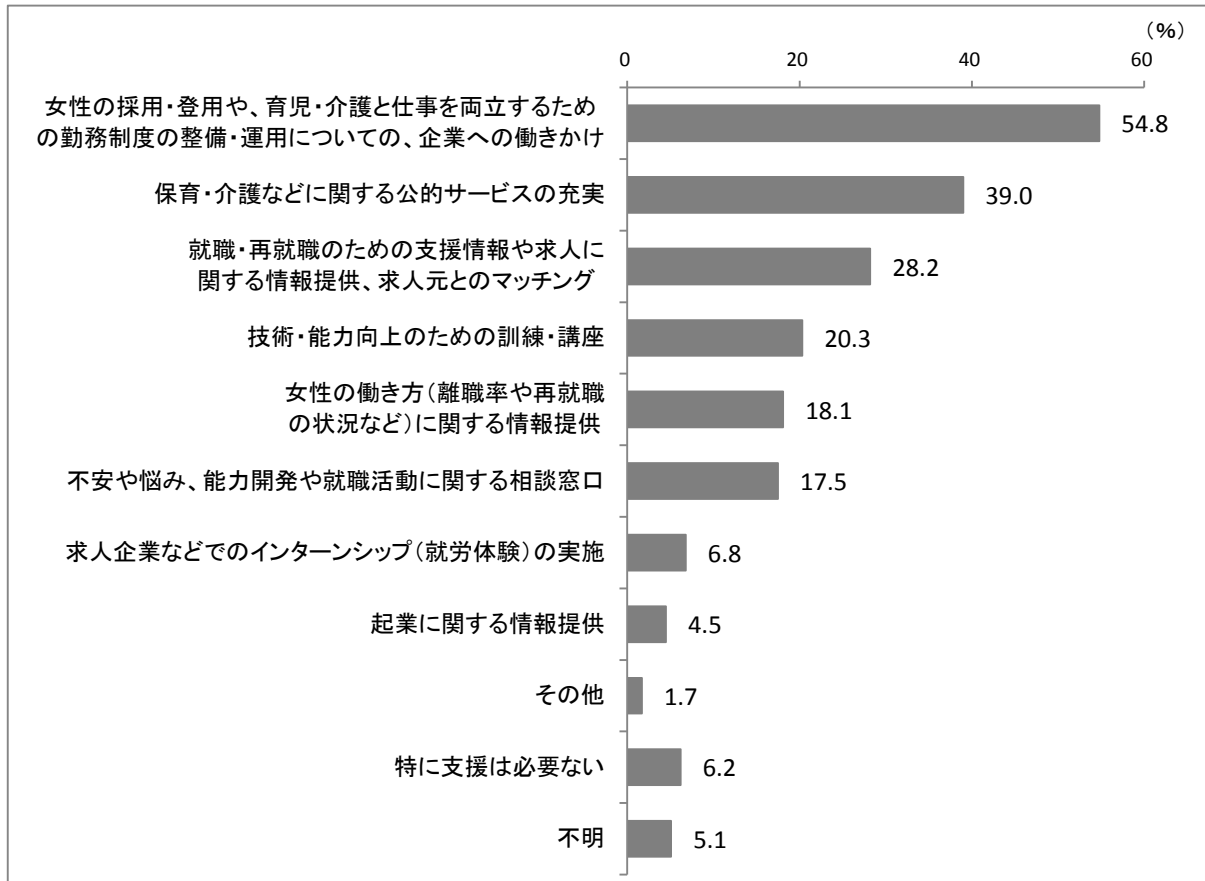
[現在仕事をしていない理由別]
働くために企業に求めること（複数回答）

(単位: %)		現在仕事をしていない理由(上位8つ)【問15】							
働くために企業に求めること 【問29】	全体 (n=177)	家事・育児・ 介護などに 専念したい から(n=88)	家事・育児・ 介護などの 両立に自信 がないから (n=53)	希望する勤務 条件(勤務日 数、勤務時間 など)を満た す仕事がない から(n=34)	経済的に働 く必要がない から (n=28)	前職を辞めて からブランク がある、また は勤務経験が なく就職して 働く自信がない から(n=22)	夫・パート ナーが家事・ 育児・介護な どを分担でき ないから(長 時間労働、単 身赴任など) (n=21)	希望どおり の職種や業 務内容の仕 事が見つか らないから (n=21)	自分が病 気・怪我をし ているから (n=19)
仕事と家事・育児・介護との両立について理解がある	56.5	68.2	60.4	64.7	53.6	63.6	57.1	57.1	26.3
勤務時間や働き方が柔軟である(短時間勤務、テレワークなど)	51.4	51.1	60.4	67.6	67.9	68.2	57.1	33.3	36.8
土日祝日出勤がない	36.7	47.7	45.3	26.5	39.3	22.7	52.4	52.4	26.3
職場の人間関係が良い	36.7	31.8	30.2	26.5	32.1	40.9	33.3	28.6	36.8
残業が少ない、または残業がない	25.4	23.9	26.4	32.4	28.6	13.6	23.8	33.3	36.8
自分の希望に見合った給料がもらえる	14.1	10.2	9.4	11.8	7.1	13.6	-	28.6	15.8
長期間働き続けることができる	13.0	6.8	15.1	17.6	7.1	22.7	14.3	9.5	15.8
有給休暇がとりやすい	12.4	11.4	17.0	11.8	21.4	18.2	14.3	9.5	5.3
取得している資格や経験を発揮できる業務に従事させてくれる	7.9	4.5	3.8	-	3.6	-	-	14.3	26.3
企業内保育所が整備されている	4.0	5.7	3.8	-	-	4.5	4.8	-	-
社内研修などスキルアップの機会が充実している	3.4	2.3	1.9	2.9	3.6	-	4.8	4.8	10.5
キャリアの構築をサポートする制度や企業文化がある	2.8	2.3	1.9	5.9	-	4.5	4.8	-	5.3
責任のある仕事を任せられる	1.7	2.3	-	-	-	-	-	4.8	-
男女で業務内容が異なるなどの性別役割分担意識がない	1.7	2.3	3.8	-	-	4.5	4.8	4.8	-
その他	1.1	-	-	-	-	4.5	-	-	5.3
特に求めることはない	1.1	1.1	-	-	3.6	-	-	-	10.5

(17) 働くために行政に求める支援【問 30】

(再び) 働くために、行政からどのような支援が必要だと思うかを尋ねたところ、「女性の採用・登用や、育児・介護と仕事を両立するための勤務制度の整備・運用についての、企業への働きかけ」が最も多く 54.8%、次いで「保育・介護などに関する公的サービスの充実」が 39.0% となっている。

働くために行政に求める支援 (n=177、複数回答)



現在仕事をしていない理由別にみると、「前職を辞めてからブランクがある、または勤務経験がなく就職して働く自信がないから」「希望どおりの職種や業務内容の仕事が見つからないから」では「就職・再就職のための支援情報や求人に関する情報提供、求人元とのマッチング」も多くなっている。

また、「自分が病気・怪我をしているから」では「不安や悩み、能力開発や就職活動に関する相談窓口」が多くなっている。

[現在仕事をしていない理由別]
働くために行政に求める支援（複数回答）

(単位: %)		現在仕事をしていない理由(上位8つ)【問15】							
働くために行政に求める支援【問30】	全体 (n=177)	家事・育児・介護などに専念したいから(n=88)	家事・育児・介護などの両立に自信がないから(n=53)	希望する勤務条件(勤務日数、勤務時間など)を満たす仕事がないから(n=34)	経済的に働く必要がないから(n=28)	前職を辞めてからブランクがある、または勤務経験がなく就職して働く自信がないから(n=22)	夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担できないから(長時間労働、単身赴任など)(n=21)	希望どおりの職種や業務内容の仕事が見つからないから(n=21)	自分が病気・怪我をしているから(n=19)
女性の採用・登用や、育児・介護と仕事を両立するための勤務制度の整備・運用についての、企業への働きかけ	54.8	65.9	64.2	58.8	42.9	45.5	57.1	47.6	31.6
保育・介護などに関する公的サービスの充実	39.0	44.3	45.3	29.4	32.1	22.7	42.9	19.0	15.8
就職・再就職のための支援情報や求人に関する情報提供、求人元とのマッチング	28.2	25.0	26.4	35.3	14.3	50.0	19.0	47.6	31.6
技術・能力向上のための訓練・講座	20.3	17.0	22.6	11.8	21.4	40.9	38.1	4.8	26.3
女性の働き方(離職率や再就職の状況など)に関する情報提供	18.1	17.0	15.1	17.6	17.9	22.7	14.3	33.3	21.1
不安や悩み、能力開発や就職活動に関する相談窓口	17.5	11.4	15.1	20.6	3.6	27.3	23.8	23.8	36.8
求人企業などでのインターンシップ(就労体験)の実施	6.8	4.5	7.5	5.9	7.1	-	4.8	9.5	10.5
起業に関する情報提供	4.5	4.5	7.5	2.9	-	4.5	4.8	9.5	15.8
その他	1.7	1.1	-	2.9	-	-	-	4.8	5.3
特に支援は必要ない	6.2	4.5	5.7	-	25.0	9.1	9.5	4.8	10.5

(18) 就職するために足りないと感じていること【問31】[自由回答]

就職するために「足りないと感じている」ことについて尋ねたところ、52人から回答を得た。

① 内容別の回答件数

内 容	件数	(%)
保育士・保育園などの不足・対応	15	28.8
働く意欲・勇気、キャリアへの不安など	12	23.1
企業情報の入手など（相談窓口含む）	8	15.4
勤務形態・待遇など	8	15.4
家族・職場の理解	8	15.4
行政などからのサポート	4	7.7
その他	2	3.8
回答者数（n）	52人	100.0

※同一回答者が複数の内容を回答している場合があるため、件数の合計値は回答者数を超える。

② 内容別の主な意見

■企業が対応できること■

内 容	主な意見
時短勤務・時差出勤などの状況に応じた勤務形態の工夫	<input type="checkbox"/> 時差通勤やワーク・ライフ・バランスの事をきちんと考えている企業が少ない。 <input type="checkbox"/> 正社員と非正規社員の格差 <input type="checkbox"/> 産休・育休制度の充実
企業情報（就業実態、勤務内容、社内制度など）	<input type="checkbox"/> 企業の情報（表向きのもではなく、労務環境の実態） <input type="checkbox"/> 求人紹介 <input type="checkbox"/> 会社の業務内容や働いている人の生の声が聞きたい。
その他	<input type="checkbox"/> 業務に対して給料が安い。仕事の持ち帰りが多い。 <input type="checkbox"/> 会社側が子育てしている事に十分な理解を示してくれない。 <input type="checkbox"/> 保育環境の充実（短時間労働など）への対応 <input type="checkbox"/> 持病や障害があると就労は難しいと判断されて働けないことが多い。企業もこのような人を理解し、偏見を払拭して欲しい。

■行政が対応できること■

内 容	主な意見
保育所・保育士などの充実	<input type="checkbox"/> 保育士不足を解消するため、保育職（幼稚園教諭や保育士）の待遇改善 <input type="checkbox"/> 保育園探しは北欧のように行政側に義務を負って欲しい。学童保育の不足も解消して欲しい。
求人情報の整備	<input type="checkbox"/> 主婦向けの求人情報サイト
相談窓口などの設置	<input type="checkbox"/> インターネット時代ですが、やはり窓口でのやり取り、人間対人間でのコミュニケーションが必要と思う。窓口対応の重要性を感じる。
その他	<input type="checkbox"/> 横浜駅周辺に大企業を誘致して欲しい。都内（特に J R）への通勤は大変である。 <input type="checkbox"/> 不妊治療中の女性へのサポート <input type="checkbox"/> 不妊に悩む女性への就労サポート

■その他■

内 容	主な意見
働く自信・意欲、勇気の欠如	<input type="checkbox"/> 20年以上職歴がないので、自分に自信が持てない。 <input type="checkbox"/> 働いてみるまで具体的な仕事内容や人間関係がわからないことが怖い。
家族などの理解	<input type="checkbox"/> 家族の協力や理解をしてもらえるよう話をする事が必要である。 <input type="checkbox"/> 育児との両立へのサポート（夫の家庭への関心、夫の家事や育児への協力）。

3. 女性が働くこと・働き続けることについて 問 32 [自由回答]

(1) 内容別の回答件数

全回答者に、女性が働くこと・働き続けることについての考えを尋ねたところ、569人から回答を得た。そのうち、収入のある仕事をしている回答者は461人、収入のある仕事はしていない回答者は108人となっている。

内 容	収入を伴う 仕事をしている		収入を伴う 仕事はしていない		合計	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
企業の待遇や公的制度の改善	124	26.9	27	25.0	151	26.5
女性への負担軽減、男女平等	103	22.3	21	19.4	124	21.8
働きやすい環境整備 (保育所・手当など)	96	20.8	21	19.4	117	20.6
生き方の選択など柔軟な社会のあり方	78	16.9	23	21.3	101	17.8
社会参加への意欲 (向上心・生き甲斐など)	71	15.4	14	13.0	85	14.9
家族など周囲の理解と協力の必要性	71	15.4	7	6.5	78	13.7
職場の理解と協力の必要性	70	15.2	6	5.6	76	13.4
行政によるさまざまな支援	33	7.2	7	6.5	40	7.0
資格・キャリア形成の必要性	28	6.1	4	3.7	32	5.6
給与・賃金など経済的な問題と仕事の関係	22	4.8	7	6.5	29	5.1
未婚・子どもがいない女性への負担増・不平など	10	2.2	3	2.8	13	2.3
その他	48	10.4	12	11.1	60	10.5
回答者数 (n)	461人	100.0	108人	100.0	569人	100.0

※同一回答者が複数の内容を回答している場合があるため、件数の合計値は回答者数を超える。

(2) 内容別の主な意見

<p>■収入を伴う仕事をしている人について■内容</p>	<p>主な意見</p>
<p>企業の待遇や公的制度の改善</p>	<p>□ 育児・介護と仕事を両立するための勤務制度はどの会社にも取り入れてほしいし、自由に有給休暇などをとれる制度を作ってもらえば女性も働き続けられ、多くの女性の管理職が増えると思う。</p> <p>□ 女性の社会進出促進と同時に、男性の家事・育児・介護への当事者意識改革が急務だと感じる。家庭に男性を帰さないで女性活躍はありえない。働き方改革などと変化してきている中で、フレリーマンなどと取り上げられる男性の意識の低さは残念である。国民として未来を見据えられるようにしたい。</p>
<p>女性への負担軽減、男女平等など</p>	<p>□ 昇進について男女が不平等だと感じている。結婚しない人もいるのだから、もう少し昇給・昇進に関して、平等が当たり前になる政策を期待する。</p> <p>□ 仕事と家事・育児・介護の両立が必要と思う。女性だけが両立するのではなく、男性と分担して両立していく事が当たり前の社会になる事を願う。男性は仕事、女性は家庭のイメージが少なからず感じる。この固定概念がなくなる日が早く来てほしい。</p>
<p>働きやすい環境整備（保育所・手当など）</p>	<p>□ 現在、会社で産育休取得者の対応を主な業務としているが、育休取得後1年で復職希望の社員が多いが、保育園が決まらず復職できない社員が多い。保育・子育て環境が整うと、女性も働き続けやすいと思う。</p> <p>□ 労働人口が減ってくるのは目前であり、専業主婦という仕事もあるものより多くの労働人口を増やすために、働きたいと思っている人を働けるように支援していくべきだと思う。ただ、スキルがなく正社員に応募できない事もあるので、相談所があれば、女性の社会復帰率も高くなると思う。私の場合は、今の職場で3年半仕事を続け、やっと社員登用試験にチャレンジ資格をいただいた。</p>
<p>生き方の選択など柔軟な社会のあり方</p>	<p>□ 家事・育児の両立は本当に難しいと思う。地域性もあり、人それぞれに抱える問題は異なるので、全体のバランスを見通して自分に合う対処法を見つける事が大切と思う。千差万別で一般論が通じないので、働く女性は常に賢く立ち回る必要性を実感している。</p> <p>□ 経済的に自立をして社会に目を向け、一つの考えに固執せず、柔軟な思考で育児や地域社会に活かしていきたい。視野拡大のためには必要なことだと思う。</p>
<p>社会参加への意欲（向上心・生き甲斐など）</p>	<p>□ 社会に出て働くことは誰かの役に立っているという充実感が得られ、収入があれば生活にも余裕ができて好きなことに使えるので、女性も働いて輝いた方が良いと思う。</p> <p>□ 働くことは職場というコミュニティを持つことにも繋がるので、人としてバランスを保って生きていくために必要なことだと思う。</p>

<p>家族など周囲の理解と協力の必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 女性が働くことについては周りの人の理解が一番大切だと思う。理解されているならば男女差別や女性の働きにくさがなくなると思う。 <input type="checkbox"/> 家族の理解と協力は不可欠で、職場の家庭事情への理解が必要だと思う。特に復帰サポートが充実していれば出産への抵抗も少なくなり、社会進出も進んでいくと思う。
<p>職場の理解と協力の必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 既婚者が働き続けるためには職場の体制や上司などの理解が大きいと思う。夫や両親の理解・協力も前提になるが、協力したくても夫の職場の理解がなければできないことも多いと思う。したがって、既婚女性や子どものいる女性だけでなく、既婚男性・子どものいる男性の職場全体の体制・理解向上が必要と思う。 <input type="checkbox"/> 現状ではまだ職場や上司の出産・子育てへの理解が低いと思うので、働き続けることは、2つの事を同時に上手くできる能力のある人でないと難しいと思う。また、保育園も数が足りないので、仕事に復帰したくてもできない女性も多いと思う。今のままでは女性が働き続けることは相当難しいと思う。
<p>行政によるさまざまな支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 女性を家庭から出し働かせる政策ばかりでなく、時間とお金にゆとりを持ち小さな子どもと過ごす時間を持てるための政策を横浜市には考えて欲しい。 <input type="checkbox"/> 横浜市は待機児童問題にいち早く取り組んでいるので、退職せず働き続けている人も多いが、一方で一度退職すると復職が難しいことも周囲を見て感じる。再就職するための情報提供や支援を行政側からもっと発信してもよいのではないか。
<p>資格・キャリア形成の必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 出産・育児がどうしても女性のキャリアを一旦ストップさせてしまうという不安がある。この不安を解消できれば、キャリアアップを図ることができると考えている。 <input type="checkbox"/> 女性が働き続けられる資格取得の充実さがもっと幅広くあると、やりがいや自信にも繋がって収入面でも評価されていき、職場復帰や継続にも繋がると思う。
<p>給与・賃金など経済的な問題と仕事の関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 本当は子どもが中学校を卒業するまで育児・家事を優先したいので、働きたくはない。可能ならば男性の給料が上がってほしい。 <input type="checkbox"/> 主婦が働く理由として時間があるからという人もいるが、大半は生活や学費のためである。目的がそれだけだと辛く感じる時がある。時給も上がり自分のために使えるお金を稼げれば、充実した暮らしができると思う。

<p>未婚・子どものいない女性への負担増・不平など</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 仕事や家庭環境も必要だが、一緒に働く人へのフォローが必要である。時短社員と一緒に働いているが、時短社員の残り仕事をするフルタイム社員のことも考えてほしい。それがないと女性が心身ともに働き続けることは無理だと考える。 □ 現在の勤務先は、女性が働き続けることに対する制度は、過剰な程に充実しているが、その制度に甘え、制度利用者の仕事に対する意識が低くなっている。権利主張ではなく、仕事で利益を出す意識を持つことが必要だと思う。実力のない女性まで管理職にし、数字をごまかす企業の姿勢も問題あり。支援などをして、女性自身の意識が変わらないと女性は活躍できない。「平等・差別」ではなく、できることを役割分担すれば活躍できる。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> □ 女性はどうしても男性と同程度に働くことはできないので、無理に男女平等や管理職にする必要はない。女性自身も男性と同じ扱いをして欲しいと思っている人が少数なのに、その少数派が女性の代表と思われている。差別ではなく、区別は必要だと思う。 □ セクハラなどのモラルに欠ける職場が非常に多い。上司・先輩から下世話なこと、体に触れるなどされても我慢しなければうまくやっていけない。性的なことは厳重に取り締まって欲しい。そうすればもっと働きやすくなる。

■収入を伴う仕事はしていない人について■

内 容	主な意見
企業の待遇や公的制度の改善	<p>□ 女性が家庭を持って子育てしながらの就職は、表面上では両立しているように見えるが、本当は諸所大変だと思う。誰もが知る大企業に勤めていたが女性保護に関しての制度がなく、難しい現実を見てきて幻滅している。</p> <p>□ 働きたいと思っている方が、妊娠・出産をしても退職しなくて良いように理解してもらえる制度、復帰をする時も安心して仕事ができるようになればと思う。</p>
女性への負担軽減、男女平等など	<p>□ 女性が働き、働き続けるためには、男性の働き方も変えていかないとはいけないと思う。出産後、女性だけが働き方を変えなくてはいけないのは不公平だと感じる。</p> <p>□ まだまだ男性社会で「家事は女」とする傾向があり、男性の家事に対する考え方、スキルアップは大切と思う。子育てに関しても、女性がするものという考えがあり、子育てを協力し合っていくことが変わらなければ、女性はスムーズに働けないと感じる。</p>
働きやすい環境整備（保育所・手当など）	<p>□ 社会には経済的な理由や、意欲を持ち働きたい人もいる。でも、家事・育児・介護などとの両立が厳しい環境の人も多いので、保育所や介護サービスを受けやすくするなどのニーズに合った対策が整えば、女性ももっと働きやすい社会になると思う。</p> <p>□ 小さな子どもがいると、育児のサポートも必要になってくるので、そういったことを考えると働き方の選択肢は狭くなるように感じる。</p>
生き方の選択など柔軟な社会のあり方	<p>□ とても良いことだと思う。子どもがいれば、第一は子どもだと思うが、働き続けたいのに働けない社会は良くないと思う。</p> <p>□ いろいろなライフワークがあって良いと思う。ただ、働いていない女性に対する目線がだんだん冷たくなっているようにも感じられる。</p>
社会参加への意欲（向上心・生き甲斐など）	<p>□ 人生百年時代なので、自分が元気に働けるこの体があるうちは、社会の一員として社会と繋がりを持ち、少しでも社会に貢献したい。それが自分自身を高めると思う。</p> <p>□ 家庭内で対等な立場であり続けるために必要なことである。また、社会から認められることが生きるためには必要だと思うので働きたいし、働き続けたい。また、男性だけでは出ないアイデアが女性から出るなど、互いの良い能力を利用しながら働くことが良いと思う。</p>
家族など周囲の理解と協力の必要性	<p>□ 自分の親が協力することができない家庭では、フルタイムで働くことは困難である。子どもを預けることにお金がかかるので、パートでないと無理である。</p> <p>□ 私は出産前に離職しているが、子どもを育てながら仕事をするのは本当に大変なことだと思う。もちろん周りの理解が必要だし、サポートではなく、地域で子どもを育てることが必要だと思う。</p>

職場の理解と協力の必要性	<input type="checkbox"/> 子どもが体調不良などで学校などを休せる場合、急遽仕事も休まなければならない、それを理解してくれる会社が増えること、会社自体も人員不足の際に人員確保できるシステムができれば良いと思う。 <input type="checkbox"/> 上司の性格が安定していることが重要と思う。男女の別ではなく、上司としての資質がある人の下で働ければ幸せだと思う。
行政によるさまざまな支援	<input type="checkbox"/> 少子高齢化社会で経済を維持するためには、女性が働くことが必要不可欠であり、そのためには行政による子育てのあらゆる支援が必要だと思う。 <input type="checkbox"/> 収入(世帯)が上がると税金が上がり、子どもの医療費も無料ではなくなるので、そこのラインの見直しをしてほしい。片働きでの違いや不平等さをなくしてほしい。
資格・キャリア形成の必要性	<input type="checkbox"/> 早い段階(中高校生)で、妊娠・出産といった女性特有のキャリア形成上の問題とどのように向き合うか、という内容の教育を本気で行うべきだと思う。我々の頃は、気付けば高齢出産になってしまっていた。 <input type="checkbox"/> 子どもが小学生まで子育てに専念し、中学入学後に学生時代の資格を活かして正社員として仕事を始めた知人がある。子どもにある程度の道筋を歩ませてから自分も次のステップに行くという理想的なスタイルと思った。
給与・賃金など経済的な問題と仕事の関係	<input type="checkbox"/> 女性がみな働きたくて働いているわけではないと思う。夫の収入のみではやっていけないので働いている人も多くいる。女性が働きやすい環境も必要ですが、男性の働いている状況の改善が第一と思う。 <input type="checkbox"/> 経済的自立、家計の助けなど、今は女性も働かないと余裕はないと思う。
未婚・子どものいない女性への負担増・不平など	<input type="checkbox"/> さまざまなライフスタイルがある中で、雇用側の理解は必要だが、働く側も権利を主張するだけでなく、責任持って働くことが必要だと思う。大多数の人が責任持って働いていると思うが、一部はそうでなかった経験があり、同性として不条理に感じた。 <input type="checkbox"/> 幼稚園の場合、預かり保育制度があるが、横浜型で働いている人が優先して預けることができ、働いていない人は枠がなく不平等さを感じる人が多い。結局、働いている人が得をし、働いていない人が大変な思いをしている。
その他	<input type="checkbox"/> 以前より働きやすい社会になってきているので良いことだと思う。 <input type="checkbox"/> 女性も外で働くことが当たり前という考え方は間違っていると思う。今、女性がホルモン系の病気になるのは、女性が働きストレスを受け、家で料理をしなくなって子どもが小さい時からファストフードやインスタント食品を食べているからだと思う。

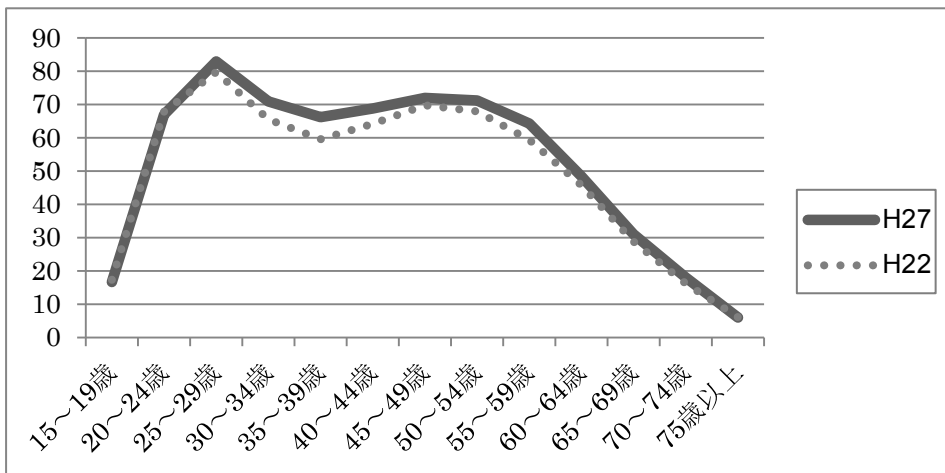
Ⅲ 結果の分析

1. 女性の年齢階級別労働力率について

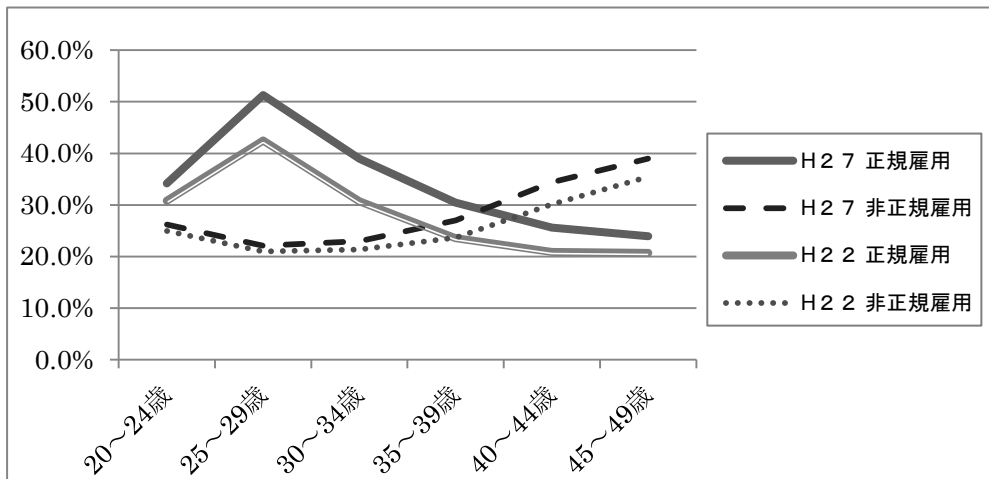
日本における女性の年齢階級別労働力率を折れ線グラフで表すとM字型の曲線を描くことから、「M字カーブ」と言われている。女性の労働力率（15歳以上人口に占める労働力人口（就業者+完全失業者）の割合）は、結婚・出産・子育て期にあたる30代前半から低下し、30代後半で底となり、子育てが一段落する40代以降、再就職等により上昇する。M字の底が深いほど、結婚・出産・子育てを機に仕事を辞める女性が多いと言われている。

<参考> M字カーブの改善について

女性の年齢階級別労働力率（出典：国勢調査結果 横浜市分）



女性の年齢階級別、従業上の地位別労働力率（出典：国勢調査結果 横浜市分）



平成27年と平成22年の国勢調査の結果を比較すると、横浜市におけるM字カーブの底の深さは改善傾向にある。従業上の地位別にみると、正規雇用・非正規雇用ともに増加しており、M字カーブの底である30代では、特に正規雇用の増加分が改善要素となっている。

■ 30 歳から 39 歳までの労働力率が低下する理由 ■

調査項目	結果概要
過去の就業経験【問 14】	□ 「現在、収入を伴う仕事はしていない」人（177 人）の中で、「かつて働いていたが今は働いていない」人は 92.1%と大半を占めている。（P34 参照）
仕事を辞めた時期【問 16】	□ 「第 1 子または第 2 子以降の妊娠・出産・育児を機に辞めた」人が 51.6%を占め、「結婚を機に辞めた」人が 22.1%となっており、結婚・妊娠・出産・育児を機に仕事を辞めている人は 73.7%と大半を占めている。（P36 参照）
仕事を辞めた理由【問 17】 （3 つまで複数回答）	□ 「家事・育児・介護に専念したかった（35.6%）」「家事・育児・介護と両立できなかった（25.2%）」「家事・育児・介護などを家族と分担できなかった（12.3%）」「出産や子育てをしながらの通勤が負担だった（12.3%）」が上位 4 つを占めている。（P37 参照）
<p>《まとめ》</p> <p>結婚・出産・育児などのライフイベントを機に仕事を辞めていることから、30 歳から 39 歳までの労働力率が低下していると思われる。</p>	

■ 40 歳以降の労働力率の回復が鈍い理由 ■

調査項目	結果概要
現在、仕事をしていない理由【問 15】 （3 つまで複数回答）	□ 「家事・育児・介護などに専念したい（53.0%）」「家事・育児・介護などとの両立に自信がない（31.9%）」が多く、次いで「希望する勤務条件を満たす仕事がない（20.5%）」が挙げられている。（P35 参照）
<p>《まとめ》</p> <p>家事・育児・介護などの負担が女性にかかっており、また、仕事と家庭の両立ができるような勤務条件を満たす仕事が見つけられないことから、再就職への障害となっていると思われる。</p>	

2. 現在、収入を伴う仕事をしている人について

調査項目	結果概要
<p>働き始めることができた理由【問2】 (3つまで複数回答)</p>	<p><input type="checkbox"/> 「希望する働き方と、求人側のニーズをすりあわせ、働き方や仕事内容などについて折り合いをつけたこと (41.1%)」が多く、次いで「以前の仕事において、技能や実績を積んでいたこと (28.8%)」が挙げられている。(P16 参照)</p> <p><input type="checkbox"/> 「正規の社員・職員」として働いている人は、「以前の仕事において、技能や実績を積んでいたこと」「取得している資格を活かしたこと」が多く挙げられている。(P17 参照)</p>
<p>将来希望する働き方【問6】</p>	<p><input type="checkbox"/> 「正規の社員・職員」で「フルタイム勤務または短時間勤務」を希望する人が61.3%を占めている。また、現在の働き方に比べて「フルタイム勤務」よりも「短時間勤務」を希望する人が多くなっている。(P22 参照)</p>
<p>働き続けていく上での悩みや不安【問12】 (3つまで複数回答)</p>	<p><input type="checkbox"/> 「家事・育児・介護などに十分な時間をかけられない (35.3%)」が最も多く、「結婚している」人や「同居している子どもがいる」人では、そうでない人に比べて特に多くなっている。また、同様に「結婚していない」人や「子どもはいない」人と比べて、「夫・パートナーや家族が家事・育児・介護などを分担してくれない」「夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担できない」も多く挙げられている。(P30～31 参照)</p> <p><input type="checkbox"/> 「パート・アルバイト」や「派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員」では、「正規の社員・職員」と比べて、「賃金が安い」が最も多くなっている。また、「派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員」では、「身分が不安定」「仕事の内容が同等なのに、雇用形態の違いにより同等の待遇がされていない」も多く挙げられている。(P32 参照)</p>
<p>女性が働き続けていくために必要だと思うこと【問13】 (3つまで複数回答)</p>	<p><input type="checkbox"/> 「育児・介護と仕事を両立するための勤務制度 (56.4%)」が最も多く、次いで「夫・パートナーや家族による家事・育児・介護などの分担 (47.0%)」「家事・育児・介護などと仕事の両立についての上司や職場の理解 (47.0%)」「保育・介護サービスの充実 (33.3%)」「夫・パートナーや家族の理解 (31.1%)」が多く挙げられている。(P33 参照)</p>
<p>《まとめ》</p> <p>技能や実績を積み重ねることや、働き方や仕事内容への柔軟な考え方を持つとともに、より幅広い求人ニーズとの折り合いをつけることが、就職につながっていると考えられる。</p> <p>また、家庭と仕事の両立について、家族の協力により家事などを分担したり、職場の理解により柔軟な勤務制度を整備したりすることが、女性が就業を継続するために必要と思われる。</p>	

3. 現在、収入を伴う仕事はしていない人について

調査項目	結果概要
現在、仕事をしていない理由【問 15】 （3つまで複数回答）	<input type="checkbox"/> 「家事・育児・介護などに専念したい（53.0%）」「家事・育児・介護などとの両立に自信がない（31.9%）」が多く、次いで「希望する勤務条件を満たす仕事がない（20.5%）」が挙げられている。（P 35 参照）
今後の就業意向とその理由【問 22～23】	<input type="checkbox"/> 約9割（89.3%）で仕事に就きたい意向が見られるが、その理由として、経済的な理由（生計の維持・補助、子どもの教育費、自分自身の収入、老後資金・結婚資金）が上位を占めている。（P 41、43 参照）
現在希望する働き方【問 24】	<input type="checkbox"/> 「パート・アルバイト」や「正規の社員・職員」「派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員」で「短時間勤務」を希望する人が82.1%と多くを占めている。また、30歳以上では特にその割合が多くなっている。（P 44 参照）
将来希望する働き方【問 24】	<input type="checkbox"/> 「正規の社員・職員」を希望する人が50.0%と多くなっているが、30歳以上では、年齢が上がるほど「正規の社員・職員」が少なくなり、「パート・アルバイト」が多くなっている。（P 45～46 参照）
今後、仕事をする上で不安に思うこと・問題になること【問 27】 （3つまで複数回答）	<input type="checkbox"/> 「自分の体力・健康（42.9%）」「育児・介護と仕事を両立するための勤務制度を利用できるか（34.9%）」「希望する職種や仕事内容、処遇の会社が見つかるか（33.3%）」「希望する通勤時間・通勤距離での仕事であるか（30.2%）」が多く挙げられている。（P 49 参照）
働くために企業に求めること【問 29】 （3つまで複数回答）	<input type="checkbox"/> 「仕事と家事・育児・介護との両立について理解がある（56.5%）」「勤務時間や働き方が柔軟である（51.4%）」「土日祝日出勤がない（36.7%）」「職場の人間関係が良い（36.7%）」が多く挙げられている。（P 51 参照）
働くために行政に求める支援【問 30】 （3つまで複数回答）	<input type="checkbox"/> 「女性の採用・登用や、育児・介護と仕事を両立するための勤務制度の整備・運用についての、企業への働きかけ（54.8%）」「保育・介護などに関する公的サービスの充実（39.0%）」「就職・再就職のための支援情報や求人に関する情報提供、求人元とのマッチング（28.2%）」が多く挙げられている。（P 53 参照）
<p>《まとめ》</p> <p>経済的な理由などにより就業意向はあるが、家事・育児・介護と仕事を両立するための短時間勤務や柔軟な休暇取得などの希望に沿った働き方が難しい状況となっている。</p> <p>したがって、企業には、仕事と家庭の両立に理解を持ち、柔軟な勤務制度を整備することなどが求められている。また、行政には、企業への働きかけとともに、保育・介護の公的サービスの充実、求人などの情報提供や求人元とのマッチングなどが求められている。</p>	

4. 企業や行政に求められていること

本調査の調査結果全般（自由回答も含む）から、今後の取組の方向性として、企業や行政に求められていることについて以下にまとめる。

■企業に求められていること■

内 容	キーワードなど
勤務形態の多様化の充実	<input type="checkbox"/> 短時間勤務・在宅勤務・フレックスの充実や状況に応じて組み合わせる勤務制度の工夫 <input type="checkbox"/> 正規雇用の充実 <input type="checkbox"/> 雇用形態による不平等感の是正 <input type="checkbox"/> 中高年女性へのサポート制度（健康に関して） <input type="checkbox"/> 人事考課制度の明確化 <input type="checkbox"/> 緊急時に休暇をとりやすいシステム（生理休暇なども含む） <input type="checkbox"/> 子育てが終わった後に勤務時間を長くできる制度
妊娠・出産時の継続勤務・復職のための環境整備	<input type="checkbox"/> 妊娠・出産しても働き続けられる企業制度・風土 <input type="checkbox"/> 妊娠・出産後の再就職（復職含む）しやすい企業制度・風土
育児・介護などと仕事を両立するための休暇制度	<input type="checkbox"/> 男女ともに育児・介護休暇の普及、休暇をとりやすい環境 <input type="checkbox"/> 子どもの病気など緊急時に休暇を取りやすいシステム
その他	<input type="checkbox"/> コンプライアンス（企業倫理）の高い企業 <input type="checkbox"/> 柔軟に対応できる社風 <input type="checkbox"/> ストレス軽減のための取組（休暇の取得、責任の分担など）

■行政に求められていること■

内 容	キーワードなど
企業への働きかけ	<input type="checkbox"/> 育児・介護休暇などの休暇制度の推進 <input type="checkbox"/> 短時間勤務・在宅勤務などの柔軟な勤務制度の推進 <input type="checkbox"/> 社内での男女平等（待遇、対応など）
公的サービスの充実	<input type="checkbox"/> 認可保育園・幼稚園などの子育て施設の整備 <input type="checkbox"/> 出産・子育てサポート、福祉サービス・体制の充実 <input type="checkbox"/> 中学校・高校の完全給食の実施
相談できる公的機関や窓口の設置	<input type="checkbox"/> 能力開発、将来のキャリアプランに関する相談 <input type="checkbox"/> メンタルを含め自身や社内の問題に関する相談
その他	<input type="checkbox"/> 収入と税金・控除の関係性を見直し <input type="checkbox"/> P T Aなどの活動見直し（平日昼間の会議など） <input type="checkbox"/> 行政として家事仕事についての対価を算定 <input type="checkbox"/> 法的拘束力を持った育児休暇制度 <input type="checkbox"/> キャリアレインボーの普及 <input type="checkbox"/> 行政主導でのワンモアベイビー活動

[巻末資料]

調査票および単純集計表

女性の就業に関するニーズ調査

～ ご協力のお願い ～

平素から、横浜市の女性活躍推進にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

「日本一女性が働きやすい、働きがいのある都市横浜」の実現を目指し、平成28年4月、横浜市と市内経済団体を中心とした関係団体が集まり、「横浜市女性活躍推進協議会」を設立し、横浜市の女性活躍の更なる推進に向けて、行政と市内企業が連携して課題と解決策の検討を行ってきました。

本調査は、女性の就業に関するご希望やお悩み、必要とされる支援などを把握し、横浜市の施策や市内企業の取組をさらに進めるための基礎資料とすることを目的に実施するものです。

今回、無作為に抽出した横浜市にお住まいの20歳以上49歳以下の女性3,000人に回答をお願いします。ご多忙とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

調査の結果を公表する際、個人の名前が出ることや、他の目的に使用することはありません。また、個人情報については事務局である横浜市において厳重に管理いたします。

ご回答は、同封の返信用封筒にて平成30年1月12日（金）までにご投函くださいますよう、お願いいたします。

なお、ご回答いただいた方の中から抽選で500名様に、ご協力のお礼として、持ち歩くにも便利な「防災5点セット 番犬くん」をお送りさせていただきます。抽選をご希望の方は調査票返送の際、返信用封筒の所定の欄に、お名前とご住所をご記入ください。

※ご記入いただいた個人情報は、横浜市で厳重に管理し、当選品の発送以外には使用しません。

※調査の集計では、ご記入いただいた個人情報と回答内容を照合することはありません。

平成29年12月

横浜市女性活躍推進協議会

(事務局：横浜市政策局男女共同参画推進課)

【調査委託機関：お問合せ先】

有限会社自然文化創舎

〒231-0011 横浜市中区太田町4-47

TEL：045-201-2547 担当：君塚、阿部

(平日10:00～17:00)

【調査企画】

横浜市女性活躍推進協議会

[事務局] 横浜市 政策局 男女共同参画推進課

〒231-0017 横浜市中区港町1-1 担当：森、石川

TEL：045-671-2035 FAX：045-663-3431

回答へのご協力のお礼（抽選で500名様）

「防災5点セット 番犬くん」（予定）

ポーチにもなる犬のぬいぐるみの中に、ホイッスル、LEDハンディライト、防寒アルミシート、防災のしおりが入っています。

（お礼の品は、変更される場合もありますので、予めご了承ください。）

防災5点セット 番犬くん



～裏表紙に、女性の活躍を応援する横浜市の主な取組をご紹介します。ぜひご覧ください。～

あなた自身のことについておたずねします。あてはまるもの1つを選んでください。

F 1 あなたの年齢は何歳ですか。

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 |
| 4. 35～39歳 | 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 |

F 2 あなたがお住まいの区はどちらですか。

- | | | | | |
|---------|----------|---------|---------|---------|
| 1. 鶴見区 | 2. 神奈川区 | 3. 西区 | 4. 中区 | 5. 南区 |
| 6. 港南区 | 7. 保土ヶ谷区 | 8. 旭区 | 9. 磯子区 | 10. 金沢区 |
| 11. 港北区 | 12. 緑区 | 13. 青葉区 | 14. 都筑区 | 15. 戸塚区 |
| 16. 栄区 | 17. 泉区 | 18. 瀬谷区 | | |

F 3 あなたが最後に卒業した学校（または在学中の学校）はどちらですか。

- | | | | |
|--------|---------|------------|-------|
| 1. 中学校 | 2. 高等学校 | 3. 短大・専門学校 | 4. 大学 |
| 5. 大学院 | 6. その他（ | | ） |

F 4 あなたは現在、結婚（事実婚も含む）していますか。

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 結婚している（夫・パートナーと同居または単身赴任） | → F 5 へお進みください |
| 2. 結婚している（夫・パートナーと別居中） | → F 7 へお進みください |
| 3. 結婚（事実婚）はしていない（離別・死別・未婚） | → F 7 へお進みください |

F 4で「1. 結婚している（夫・パートナーと同居または単身赴任）」を選んだ方におたずねします。

F 5 あなたの夫またはパートナーは、現在、収入を伴う仕事をしていますか。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 収入を伴う仕事をしている | → F 6 へお進みください |
| 2. 収入を伴う仕事はしていない | → F 7 へお進みください |

F 5で「1. 収入を伴う仕事をしている」を選んだ方におたずねします。

F 6 あなたの夫またはパートナーの年収はいくらですか。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 130万円未満 | 2. 130万円以上 200万円未満 |
| 3. 200万円以上 300万円未満 | 4. 300万円以上 400万円未満 |
| 5. 400万円以上 500万円未満 | 6. 500万円以上 700万円未満 |
| 7. 700万円以上 1,000万円未満 | 8. 1,000万円以上 |
| 9. わからない | |

問 12 あなたが働き続けていく上で、悩みや不安を感じるとしたら、どのようなことですか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 家事・育児・介護などに十分な時間をかけられない
2. 夫・パートナーや家族の理解が得られない・反対している
3. 夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担できない(長時間労働、単身赴任など)
4. 夫・パートナーや家族が家事・育児・介護などを分担してくれない
5. 仕事がきつい、就労時間が長い(残業が多い、休日が少ない、休暇が取りにくい)
6. 仕事内容が自分には向いていない
7. 賃金が安い
8. 賃金、仕事の内容、地位などの面で男性と同等の待遇がされていない
9. 仕事の内容が同等なのに、雇用形態の違い(正規の従業員か非正規かなど)により、同等の待遇がされていない
10. 身分が不安定
11. 妊娠・出産・育児や介護などを抱える人が働き続けるための制度が、職場で整備されていない、または、制度はあるが利用しづらい
12. 女性が就労することや、妊娠・出産した人、介護を抱える人などに対して、職場で嫌がらせや圧力がある
13. 職場の人間関係が難しい
14. 職場に倒産やリストラのおそれがある
15. 保育・介護サービスが不十分
16. 通勤時間が長く、仕事と家事・育児・介護などを両立するにあたって負担になっている
17. 家族の転勤、転居
18. その他 ()
19. 特に悩みや不安はない

問 13 あなたは、女性が働き続けていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 技術・能力を向上させる機会(研修、講座など。社内・社外は問わない。)
2. 能力開発や就職活動、働き方・両立方法などについてアドバイスしてくれる相談窓口
3. 夫・パートナーや家族の理解
4. 夫・パートナーや家族による家事・育児・介護などの分担
5. 家事・育児・介護などと仕事の両立についての上司や職場の理解
6. 働く女性同士のネットワーク、相談できる友人
7. 育児・介護と仕事を両立するための勤務制度
(短時間勤務制度、フレックスタイム制度、残業の免除、育児・介護休業制度など)
8. 勤める企業などが、女性のキャリアアップを積極的に進めていること
(人材育成、管理職への登用など)
9. 社内に育児や介護などについてアドバイスできる経験者や先輩がいない
10. 保育・介護サービスの充実
11. その他 ()
12. 特に必要なことはない

問 32 (14 ページ) へお進みください。最後の設問です。

問 14 で「1. ある（かつて働いていたが今は働いていない）」を選んだ方におたずねします。

問 19 あなたが最後に働いていた時の働き方（雇用形態）は、次のどちらですか。（1つに○）

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. 正規の社員・職員 | 2. パート・アルバイト |
| 3. 派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員 | 4. 会社役員（経営者以外） |
| 5. 起業家・経営者（法人） | →問 22 へお進みください |
| 6. 個人事業主・自営・家族従業など（法人以外） | →問 22 へお進みください |
| 7. 家庭内職・在宅ワークなどの従業員 | →問 22 へお進みください |
| 8. その他（ ） | →問 22 へお進みください |

問 19 で1～4のいずれかを選んだ方におたずねします。

問 20 あなたが最後に勤めていた勤務先の業種は何ですか。（1つに○）

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 建設業 | 2. 製造業 |
| 3. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 4. 情報通信業 |
| 5. 運輸業、郵便業 | 6. 卸売業、小売業 |
| 7. 金融業、保険業 | 8. 不動産業、物品賃貸業 |
| 9. 学術研究、専門・技術サービス業 | 10. 宿泊業、飲食サービス業 |
| 11. 生活関連サービス業、娯楽業 | 12. 教育、学習支援業 |
| 13. 医療、福祉 | |
| 14. 公務（上記1～13に分類されるものを除く） | |
| 15. その他（ ） | |

問 19 で1～4のいずれかを選んだ方におたずねします。

問 21 あなたが最後に勤めていた職種は何ですか。（1つに○）

1. 経営層（本部長、執行役員以上）
2. 管理職（部長、課長、係長）
3. 専門・技術職（医師、看護師、薬剤師、技師、教員、保育士、介護士など）
4. 事務職
5. 販売サービス職
6. 営業職
7. 技能職（工員・作業員など）
8. その他（ ）

問 22 あなたは今後、仕事に就きたいと思いませんか。（1つに○）

- | | |
|--------------------------------|----------------|
| 1. すぐにでも仕事に就きたい、求職中である | →問 23 へお進みください |
| 2. 現在抱えている不安や問題が解決されれば、仕事に就きたい | →問 23 へお進みください |
| 3. 今すぐにはではないが、いずれは仕事に就きたい | →問 23 へお進みください |
| 4. 今後も仕事に就くつもりはない、就く必要がない | →問 28 へお進みください |

問 22 で 1 ～ 3 のいずれかを選んだ方におたずねします。

問 26 あなたが、現在持っている資格は何ですか。また、今後仕事に活かすために取得したいと思う資格は何ですか。その資格の名称を下の回答欄にご記入ください。

※ 例：小学校教諭免許、医師免許、建築士免許、ウェブデザイン技能検定 など

問 26 回答欄（資格の名称を記入）	
現在持っている資格	今後仕事に活かすために取得したい資格

問 22 で「2. 現在抱えている不安や問題が解決されれば、仕事に就きたい」を選んだ方におたずねします。

問 27 あなたが今後、仕事をしようとする上で、不安に思うことや問題になることは何ですか。（あてはまるもの 3 つ以内に○）

1. 就職・再就職することについて、夫・パートナーや家族の理解を得られるか
2. 夫・パートナーや家族が家事・育児・介護などを分担してくれるか
3. 保育サービス、介護サービスなどが利用できるか
4. 必要な技術や知識が自分に十分あるか、対応できるか
5. 離職期間が長いこと
6. 自分の体力・健康
7. 職場の人間関係
8. 労務環境（長時間労働、有給が取得できるか など）
9. 育児・介護と仕事を両立するための勤務制度※を利用できるか
※短時間労働制度、フレックスタイム制度、残業の免除、育児・介護休業制度など
10. 希望する職種や仕事内容、処遇の会社が見つかるか
11. 希望する通勤時間・通勤距離での仕事であるか
12. 家族の転勤、転居
13. その他（）

問 22 で「4. 今後も仕事に就くつもりはない、就く必要がない」を選んだ方におたずねします。

問 28 今後も仕事に就くつもりはない、就く必要がないのは、どのような理由からですか。
(あてはまるもの3つ以内に○)

1. 経済的に働く必要がないから
2. 地域活動、PTA活動、ボランティアなどをやりたいから
3. 趣味を充実させたいから
4. 就職せずに今後も家事・育児・介護などに専念したいから
5. 就職したいが、家事・育児・介護などと両立する自信がないから
6. 就職・再就職について夫・パートナーや家族の理解がなく、対立したくないから
7. 夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担できないから
(長時間労働、単身赴任など)
8. 夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担してくれないから
(理解がない、意識に欠ける)
9. 女性は働かずに家事や育児などを担うべきだと思うから
10. 職場の人間関係が不安だから
11. 健康面に不安があるから
12. その他()

問 29 あなたが(再び)働くために、企業に求めることは何ですか。
(優先順位の高いもの3つ以内に○)

1. キャリアの構築をサポートする制度や企業文化がある
2. 長期間働き続けることができる
3. 取得している資格や経験を発揮できる業務に従事させてくれる
4. 自分の希望に見合った給料がもらえる
5. 責任のある仕事を任せてくれる
6. 社内研修などスキルアップの機会が充実している
7. 勤務時間や働き方が柔軟である(短時間勤務、テレワークなど)
8. 残業が少ない、または残業がない
9. 土日祝日出勤がない
10. 有給休暇がとりやすい
11. 仕事と家事・育児・介護との両立について理解がある
12. 男女で業務内容が異なるなどの性別役割分担意識がない
13. 職場の人間関係が良い
14. 企業内保育所が整備されている
15. その他()
16. 特に求めることはない

問 30 あなたが（再び）働くために、行政からどのような支援が必要だと思いますか。
（優先順位の高いもの3つ以内に○）

1. 技術・能力向上のための訓練・講座
2. 不安や悩み、能力開発や就職活動に関する相談窓口
3. 就職・再就職のための支援情報や求人に関する情報提供、求人元とのマッチング
4. 求人企業などでのインターンシップ（就労体験）の実施
5. 女性の働き方（離職率や再就職の状況など）に関する情報提供
6. 保育・介護などに関する公的サービスの充実
7. 女性の採用・登用や、育児・介護と仕事を両立するための勤務制度の整備・運用についての、企業への働きかけ
8. 起業に関する情報提供
9. その他（）
10. 特に支援は必要ない

問 31 あなたが就職するために「足りないと感じている」ことについて、さらに何かあればご記入ください。（自由回答）

全ての方（収入を伴う仕事をしている方、収入を伴う仕事をしていない方）におたずねします。

問 32 女性が働くこと・働き続けることについて、あなたのお考えをご記入ください。（自由回答）

ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒にて平成30年1月12日（金）までにご投函ください。

【単純集計表】

[回答者属性]

F 1 あなたの年齢は何歳ですか。(1つに○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	20~24歳	56	6.9
2	25~29歳	111	13.6
3	30~34歳	141	17.3
4	35~39歳	148	18.1
5	40~44歳	159	19.5
6	45~49歳	202	24.7
	N (%^ー入)	817	100

F 2 あなたがお住まいの区はどちらですか。(1つに○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	鶴見区	64	7.8
2	神奈川区	50	6.1
3	西区	31	3.8
4	中区	25	3.1
5	南区	40	4.9
6	港南区	41	5.0
7	保土ヶ谷区	39	4.8
8	旭区	50	6.1
9	磯子区	33	4.0
10	金沢区	43	5.3
11	港北区	99	12.1
12	緑区	35	4.3
13	青葉区	80	9.8
14	都筑区	49	6.0
15	戸塚区	69	8.4
16	栄区	23	2.8
17	泉区	28	3.4
18	瀬谷区	18	2.2
	N (%^ー入)	817	100

F 3 あなたが最後に卒業した学校(または在学中の学校)はどちらですか。(1つに○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	中学校	12	1.5
2	高等学校	117	14.3
3	短大・専門学校	297	36.4
4	大学	357	43.7
5	大学院	29	3.5
6	その他	5	0.6
	N (%^ー入)	817	100

F 4 あなたは現在、結婚(事実婚も含む)していますか。(1つに○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	結婚している(夫・パートナーと同居または単身赴任)	540	66.1
2	結婚している(夫・パートナーと別居中)	3	0.4
3	結婚(事実婚)はしていない(離別・死別・未婚)	274	33.5
	N (%^ー入)	817	100

F 4で「1. 結婚している（夫・パートナーと同居または単身赴任）」を選んだ方におたずねします。

F 5 あなたの夫またはパートナーは、現在、収入を伴う仕事をしていますか。（1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	収入を伴う仕事をしています	530	98.1	98.3
2	収入を伴う仕事はしていない	9	1.7	1.7
	不明	1	0.2	
	N (%ベース)	540	100	539

F 5で「1. 収入を伴う仕事をしています」を選んだ方におたずねします。

F 6 あなたの夫またはパートナーの年収はいくらですか。（1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	130万円未満	4	0.8	0.8
2	130万円以上200万円未満	3	0.6	0.6
3	200万円以上300万円未満	21	4.0	4.0
4	300万円以上400万円未満	44	8.3	8.4
5	400万円以上500万円未満	71	13.4	13.5
6	500万円以上700万円未満	141	26.6	26.8
7	700万円以上1,000万円未満	135	25.5	25.7
8	1,000万円以上	73	13.8	13.9
9	わからない	34	6.4	6.5
	不明	4	0.8	
	N (%ベース)	530	100	526

F 7 あなたには、子どもがいますか。（1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	同居している子どもがいる	449	55.0
2	子どもはいるが同居している子どもはいない	5	0.6
3	子どもはいない	363	44.4
	N (%ベース)	817	100

「1. 同居している子どもがいる」場合の人数

カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1人	181	40.3	41.2
2人	211	47.0	48.1
3人	41	9.1	9.3
4人	5	1.1	1.1
7人	1	0.2	0.2
不明	10	2.2	
N (%ベース)	449	100	439

F 7で「1. 同居している子どもがいる」を選んだ方におたずねします。

F 8 あなたと同居している一番下の子どもの年齢は、次のどちらですか。（1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	0～3歳	172	38.3	38.5
2	4歳～就学前	60	13.4	13.4
3	小学校低学年(1～3年生)	56	12.5	12.5
4	小学校高学年(4～6年生)	60	13.4	13.4
5	中学生	39	8.7	8.7
6	中学校卒業以上の18歳以下	35	7.8	7.8
7	19歳以上	25	5.6	5.6
	不明	2	0.4	
	N (%ベース)	449	100	447

F 9 あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。（1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	収入を伴う仕事をしている	640	78.3
2	収入を伴う仕事はしていない	177	21.7
	N (%ベース)	817	100

F 9で「1. 収入を伴う仕事をしている」を選んだ方におたずねします。

F 10 あなたの働き方（雇用形態）は、次のどちらですか。（主なもの1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	正規の社員・職員	346	54.1	54.1
2	パート・アルバイト	193	30.2	30.2
3	派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員	73	11.4	11.4
4	会社役員（経営者以外）	3	0.5	0.5
5	起業家・経営者（法人）	6	0.9	0.9
6	個人事業主・自営・家族従業員など（法人以外）	14	2.2	2.2
7	家庭内職・在宅ワークなどの従業員	3	0.5	0.5
8	その他	1	0.2	0.2
	不明	1	0.2	
	N (%ベース)	640	100	639

F 9で「1. 収入を伴う仕事をしている」を選んだ方におたずねします。

F 11 あなたの年収はいくらですか。（1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	103万円以下	146	22.8	23.0
2	103万1円以上130万円未満	26	4.1	4.1
3	130万円以上200万円未満	58	9.1	9.1
4	200万円以上300万円未満	97	15.2	15.3
5	300万円以上400万円未満	123	19.2	19.3
6	400万円以上500万円未満	93	14.5	14.6
7	500万円以上700万円未満	62	9.7	9.7
8	700万円以上1,000万円未満	22	3.4	3.5
9	1,000万円以上	9	1.4	1.4
	不明	4	0.6	
	N (%ベース)	640	100	636

F 9で「2. 収入を伴う仕事はしていない」を選んだ方におたずねします。

F 12 あなたの現在の状況は、次のどちらですか。（1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家事専業	145	81.9
2	ボランティア・社会貢献活動	8	4.5
3	学生	11	6.2
4	無職（家事・活動・就学をしていない）	10	5.6
5	その他	3	1.7
	N (%ベース)	177	100

[現在、収入を伴う仕事をしている人について]

問 1 現在のお仕事は、いつから続けていますか。(1つに○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	最終学歴卒業・中退後に就いた仕事をずっと続けている	198	30.9	31.0
2	最終学歴卒業・中退後に就いた仕事からは転職しているが、仕事はずっと続けている	156	24.4	24.4
3	最終学歴卒業・中退後に就いた仕事を結婚・出産を機にいったん辞めたが、その後、同じ仕事または別の仕事に就いた	156	24.4	24.4
4	最終学歴卒業・中退後、就労しない期間があったが、その後、仕事に就いた	35	5.5	5.5
5	最終学歴卒業・中退後に就いた仕事を結婚・出産以外の理由で辞めたが、その後、同じ仕事または別の仕事に就いた	75	11.7	11.7
6	その他	19	3.0	3.0
	不明	1	0.2	
	N (%ベース)	640	100	639

問 1 で3～6のいずれかを選んだ方におたずねします。

問 2 あなたは、どのようなことが理由で(再び)働き始めることができたと思いますか。(3つ以内に○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	以前の仕事において、技能や実績を積んでいたこと	82	28.8	29.6
2	取得している資格を活かしたこと	64	22.5	23.1
3	技術・能力向上のための訓練・講座を受講したこと	22	7.7	7.9
4	能力開発や就職活動に関する相談ができたこと	7	2.5	2.5
5	キャリアカウンセリングなどにより、就職する際の不安や悩みを解決・緩和できたこと	2	0.7	0.7
6	企業などでのインターンシップ(就労体験)を受けられたこと	1	0.4	0.4
7	保育・介護などに関する公的サービスが受けられるようになったこと	25	8.8	9.0
8	職場に子育て・介護をサポートする制度があったこと	4	1.4	1.4
9	希望する働き方と、求人側のニーズをすりあわせ、働き方や仕事内容などについて折り合いをつけたこと	117	41.1	42.2
10	友人・知人から就職先や求人情報を紹介してもらったこと	45	15.8	16.2
11	家族の理解、家事・育児・介護などの分担が得られるようになったこと	47	16.5	17.0
12	状況が変化し、子育てや介護に専念する必要がなくなったこと	60	21.1	21.7
13	その他	25	8.8	9.0
	不明	8	2.8	
	N (%ベース)	285	100	277

問 3 現在、あなたが勤めている勤務先の業種は何ですか。(1つに○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	建設業	28	4.4
2	製造業	48	7.5
3	電気・ガス・熱供給・水道業	11	1.7
4	情報通信業	48	7.5
5	運輸業、郵便業	14	2.2
6	卸売業、小売業	63	9.8
7	金融業、保険業	47	7.3
8	不動産業、物品賃貸業	16	2.5
9	学術研究、専門・技術サービス業	43	6.7
10	宿泊業、飲食サービス業	45	7.0
11	生活関連サービス業、娯楽業	38	5.9
12	教育、学習支援業	59	9.2
13	医療、福祉	142	22.2
14	公務(上記1～13に分類されるものを除く)	14	2.2
15	その他	24	3.8
	N (%ベース)	640	100

問 4 現在、あなたが勤めている職種は何ですか。（1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	経営層(本部長、執行役員以上)	6	0.9
2	管理職(部長、課長、係長)	19	3.0
3	専門・技術職(医師、看護師、薬剤師、技師、教員、保育士、介護士など)	206	32.2
4	事務職	227	35.5
5	販売サービス職	93	14.5
6	営業職	31	4.8
7	技能職(工員・作業員など)	32	5.0
8	その他	26	4.1
	N (%ベース)	640	100

問 4 で3～8のいずれかを選んだ方におたずねします。

問 5 あなたは将来、経営層や管理職になりたいと思いますか。（1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	なりたいと考えている	93	15.1	15.2
2	なりたいと思わない	374	60.8	61.1
3	わからない	145	23.6	23.7
	不明	3	0.5	
	N (%ベース)	615	100	612

問 6 あなたの現在の働き方（雇用形態）は、次のどちらですか。また、将来的にどのような働き方を望みますか。

<現在の働き方> 1つ選択

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	正規の社員・職員でフルタイム勤務	261	40.8	49.4
2	正規の社員・職員で短時間勤務	31	4.8	5.9
3	パート・アルバイト	154	24.1	29.2
4	派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員でフルタイム勤務	49	7.7	9.3
5	派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員で短時間勤務	8	1.3	1.5
6	在宅勤務・テレワーク	6	0.9	1.1
7	起業(自分で事業を始めた)	4	0.6	0.8
8	自営業・家族従業(法人以外)	11	1.7	2.1
9	その他	4	0.6	0.8
	不明	112	17.5	
	N (%ベース)	640	100	528

<将来望む働き方> 1つ選択

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	正規の社員・職員でフルタイム勤務	207	32.3	39.5
2	正規の社員・職員で短時間勤務	114	17.8	21.8
3	パート・アルバイト	89	13.9	17.0
4	派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員でフルタイム勤務	14	2.2	2.7
5	派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員で短時間勤務	13	2.0	2.5
6	在宅勤務・テレワーク	21	3.3	4.0
7	起業(自分で事業を始める)	40	6.3	7.6
8	自営業・家族従業(法人以外)	15	2.3	2.9
9	その他	11	1.7	2.1
	不明	116	18.1	
	N (%ベース)	640	100	524

問 7 あなたが、現在の仕事に活かしている資格はありますか。（自由回答）

<回答者 262人>

問 8 現在、あなたが働いている理由は何ですか。（3つ以内に○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	生計(食費・光熱費などの生活基盤)を維持・補助するため	471	73.6	73.7
2	老後資金や結婚資金など将来に備えるため	165	25.8	25.8
3	子どもの教育費のため	192	30.0	30.0
4	住宅ローン・奨学金など借金返済のため	81	12.7	12.7
5	自分の能力や資格を活かしたいから	115	18.0	18.0
6	社会や他人とのつながりを持ちたいから	171	26.7	26.8
7	自分の力を活かして社会や地域に貢献したいから	89	13.9	13.9
8	経済的に自立したいから	164	25.6	25.7
9	‘働くこと’は当たり前だから	117	18.3	18.3
10	時間に余裕があるから	61	9.5	9.5
11	家業だから	4	0.6	0.6
12	その他	18	2.8	2.8
	不明	1	0.2	
	N (%ベース)	640	100	639

問 9 あなたは今後も、現在の仕事を続けたいと思いますか。（1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	続けたい	267	41.7	42.0
2	どちらかと言えば続けたい	209	32.7	32.9
3	どちらかと言えば変えたい	97	15.2	15.3
4	変えたい	44	6.9	6.9
5	仕事を辞めたい	19	3.0	3.0
	不明	4	0.6	
	N (%ベース)	640	100	636

問 9で「3. どちらかと言えば変えたい」「4. 変えたい」を選んだ方におたずねします。

問 10 あなたが、仕事を変えたいと思う理由は何ですか。（3つ以内に○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	家事・育児・介護などとの両立が困難だから	15	10.6
2	夫・パートナーや家族の理解が得られないから	0	0.0
3	重労働で、仕事がついから	23	16.3
4	残業が多かったり、有給が取得できないから	20	14.2
5	通勤時間が長いから	31	22.0
6	人間関係など、精神的に辛いから	27	19.1
7	今の職場が今後も存続するか心配だから	17	12.1
8	今の職場は、妊娠・出産した人や介護を抱える人や一定年齢になった人は、辞めざるを得ない雰囲気だから	6	4.3
9	今より賃金や待遇がよい仕事に就きたいから	57	40.4
10	今の仕事にやりがいを感じられないから	44	31.2
11	今の仕事以上にやりたいことがあるから	32	22.7
12	その他	9	6.4
	N (%ベース)	141	100

あなたが既婚者で、夫が給与所得者（会社員・公務員）である方におたずねします。

問 11 あなたは、配偶者控除や、給与所得者の配偶者の第三号被保険者扱いの制度を意識して就業日数や時間を調整するなどしていますか。（1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	現在既に、控除の対象となる金額を超えて自分の収入があり、働き方に影響はない	183	49.1
2	適用範囲内に収まるように調整をしている	97	26.0
3	特に意識してはいない	89	23.9
4	わからない	4	1.1
	N (%ベース)	373	100

問 12 あなたが働き続けていく上で、悩みや不安を感じるとしたら、どのようなことですか。（3つ以内に○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	家事・育児・介護などに十分な時間をかけられない	226	35.3	36.0
2	夫・パートナーや家族の理解が得られない・反対している	12	1.9	1.9
3	夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担できない(長時間労働、単身赴任など)	44	6.9	7.0
4	夫・パートナーや家族が家事・育児・介護などを分担してくれない	49	7.7	7.8
5	仕事がつい、就労時間が長い(残業が多い、休日が少ない、休暇が取りにくい)	154	24.1	24.5
6	仕事内容が自分には向いていない	56	8.8	8.9
7	賃金が安い	208	32.5	33.1
8	賃金、仕事の内容、地位などの面で男性と同等の待遇がされていない	24	3.8	3.8
9	仕事内容が同等なのに、雇用形態の違い(正規の従業員か非正規かなど)により、同等の待遇がされていない	48	7.5	7.6
10	身分が不安定	47	7.3	7.5
11	妊娠・出産・育児や介護などを抱える人が働き続けるための制度が、職場で整備されていない、または、制度はあるが利用しづらい	58	9.1	9.2
12	女性が就労することや、妊娠・出産した人、介護を抱える人などに対して、職場で嫌がらせや圧力がある	10	1.6	1.6
13	職場の人間関係が難しい	84	13.1	13.4
14	職場に倒産やリストラのおそれがある	25	3.9	4.0
15	保育・介護サービスが不十分	30	4.7	4.8
16	通勤時間が長く、仕事と家事・育児・介護などを両立するにあたって負担になっている	95	14.8	15.1
17	家族の転勤、転居	27	4.2	4.3
18	その他	29	4.5	4.6
19	特に悩みや不安はない	67	10.5	10.7
	不明	12	1.9	
	N (%ベース)	640	100	628

問 13 あなたは、女性が働き続けていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つ以内に○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	技術・能力を向上させる機会(研修、講座など。社内・社外は問わない。)	64	10.0	10.1
2	能力開発や就職活動、働き方・両立方法などについてアドバイスしてくれる相談窓口	34	5.3	5.4
3	夫・パートナーや家族の理解	199	31.1	31.4
4	夫・パートナーや家族による家事・育児・介護などの分担	301	47.0	47.5
5	家事・育児・介護などと仕事の両立についての上司や職場の理解	301	47.0	47.5
6	働く女性同士のネットワーク、相談できる友人	41	6.4	6.5
7	育児・介護と仕事を両立するための勤務制度(短時間勤務制度、フレックスタイム制度、残業の免除、育児・介護休業制度など)	361	56.4	56.9
8	勤める企業などが、女性のキャリアアップを積極的に進めていること(人材育成、管理職への登用など)	74	11.6	11.7
9	社内に育児や介護などについてアドバイスできる経験者や先輩がいない	11	1.7	1.7
10	保育・介護サービスの充実	213	33.3	33.6
11	その他	37	5.8	5.8
12	特に必要なことはない	11	1.7	1.7
	不明	6	0.9	
	N (%ベース)	640	100	634

[現在、収入を伴う仕事はしていない人について]

問 14 あなたは過去に、収入を伴う仕事をしていましたか。(1つに○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ある(かつて働いていたが今は働いていない)	163	92.1	92.6
2	ない(最終学歴卒業・中退後、一度も働いたことはない)	3	1.7	1.7
3	ない(在学中)	10	5.6	5.7
	不明	1	0.6	
	N (%ベース)	177	100	176

問 14 で「1. ある(かつて働いていたが今は働いていない)」「2. ない(最終学歴卒業・中退後、一度も働いたことはない)」を選んだ方におたずねします。

問 15 あなたが現在、仕事をしていない主な理由は何ですか。(3つ以内に○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	経済的に働く必要がないから	28	16.9
2	仕事以外にやりたいことがあるから	2	1.2
3	家事・育児・介護などに専念したいから	88	53.0
4	家庭を守るのが当然だから	8	4.8
5	夫・パートナーや家族の理解が得られないから	2	1.2
6	家事・育児・介護などとの両立に自信がないから	53	31.9
7	夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担できないから(長時間労働、単身赴任など)	21	12.7
8	家族の都合で転勤、転居が多いから	4	2.4
9	自分が病気・怪我をしているから	19	11.4
10	希望どおりの職種や業務内容の仕事が見つからないから	21	12.7
11	希望する勤務条件(勤務日数、勤務時間など)を満たす仕事がないから	34	20.5
12	希望する収入を得られる仕事がないから	2	1.2
13	就職活動はしているが、採用に至っていないから	6	3.6
14	前職を辞めてからブランクがある、または勤務経験がなく就職して働く自信がないから	22	13.3
15	その他	27	16.3
	N (%ベース)	166	100

問 14 で「1. ある(かつて働いていたが今は働いていない)」を選んだ方におたずねします。

問 16 あなたが仕事を辞めた時期はいつですか。(1つに○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	結婚を機に辞めた	36	22.1	22.2
2	第1子の妊娠・出産・育児を機に辞めた	78	47.9	48.1
3	第2子以降の妊娠・出産・育児を機に辞めた	6	3.7	3.7
4	家族の介護を機に辞めた	1	0.6	0.6
5	家族の転勤・転居を機に辞めた	9	5.5	5.6
6	その他	32	19.6	19.8
	不明	1	0.6	
	N (%ベース)	163	100	162

問 14 で「1. ある（かつて働いていたが今は働いていない）」を選んだ方におたずねします。

問 17 あなたが仕事を辞めた主な理由は何ですか。（3つ以内に○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	仕事以外にやりたいことがあったから	6	3.7	3.7
2	仕事を続けるよりも家事・育児・介護に専念したかったから	58	35.6	35.8
3	結婚・出産などを機に辞めるのが当然だと思ったから	12	7.4	7.4
4	仕事を続けることに、夫・パートナーや家族の理解が得られなかったから	2	1.2	1.2
5	夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担できなかったから（長時間労働や単身赴任など、仕事の状況的に難しかった）	20	12.3	12.3
6	夫・パートナーが家事・育児・介護を分担してくれなかったから（理解がない、意識に欠ける）	5	3.1	3.1
7	通勤時間が長く、出産や子育てをしながら通うことが負担だったから	20	12.3	12.3
8	今の働き方（長時間労働など）では、家事・育児・介護と両立できなかったから	41	25.2	25.3
9	会社側に、育児・介護などをしながら仕事をするための支援制度がなかったから	18	11.0	11.1
10	妊娠・出産した人や介護を抱える人は、会社を辞めざるを得ない雰囲気だったから	13	8.0	8.0
11	上記4～10の他に、家事・育児・介護に専念せざるを得ない状況だったから	3	1.8	1.9
12	保育園に入れず、仕事を辞めざるを得ない状態になったから	7	4.3	4.3
13	仕事にやりがいを感じられなかったから	9	5.5	5.6
14	将来のキャリアが描けず行き詰まり感があったから	7	4.3	4.3
15	職場の雰囲気や人間関係が悪くなったから	11	6.7	6.8
16	仕事が見つく、続けるのが困難だったから	20	12.3	12.3
17	病気・怪我をしたから	14	8.6	8.6
18	会社の倒産やリストラ（会社都合退職）があったから	4	2.5	2.5
19	家族の転勤、転居があったから	19	11.7	11.7
20	その他	15	9.2	9.3
	不明	1	0.6	
	N (%ベース)	163	100	162

問 14 で「1. ある（かつて働いていたが今は働いていない）」を選んだ方におたずねします。

問 18 「こうした制度やサポートがあれば仕事を辞めなかった」など、あなたが仕事を続けるために必要だったと思うことがあればご記入ください。（自由回答）

<回答者 86 人>

問 14 で「1. ある（かつて働いていたが今は働いていない）」を選んだ方におたずねします。

問 19 あなたが最後に働いていた時の働き方（雇用形態）は、次のどちらですか。（1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	正規の社員・職員	82	50.3
2	パート・アルバイト	45	27.6
3	派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員	36	22.1
4	会社役員（経営者以外）	0	0.0
5	起業家・経営者（法人）	0	0.0
6	個人事業主・自営・家族従業員など（法人以外）	0	0.0
7	家庭内職・在宅ワークなどの従業員	0	0.0
8	その他	0	0.0
	N (%ベース)	163	100

問 19 で 1～4 のいずれかを選んだ方におたずねします。

問 20 あなたが最後に勤めていた勤務先の業種は何ですか。(1つに○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	建設業	11	6.7
2	製造業	14	8.6
3	電気・ガス・熱供給・水道業	3	1.8
4	情報通信業	11	6.7
5	運輸業、郵便業	8	4.9
6	卸売業、小売業	12	7.4
7	金融業、保険業	15	9.2
8	不動産業、物品賃貸業	3	1.8
9	学術研究、専門・技術サービス業	9	5.5
10	宿泊業、飲食サービス業	12	7.4
11	生活関連サービス業、娯楽業	14	8.6
12	教育、学習支援業	16	9.8
13	医療、福祉	26	16.0
14	公務(上記1～13に分類されるものを除く)	2	1.2
15	その他	7	4.3
	N (%ベース)	163	100

問 19 で 1～4 のいずれかを選んだ方におたずねします。

問 21 あなたが最後に勤めていた職種は何ですか。(1つに○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	経営層(本部長、執行役員以上)	0	0.0	0.0
2	管理職(部長、課長、係長)	2	1.2	1.3
3	専門・技術職(医師、看護師、薬剤師、技師、教員、保育士、介護士など)	38	23.3	25.2
4	事務職	72	44.2	47.7
5	販売サービス職	19	11.7	12.6
6	営業職	6	3.7	4.0
7	技能職(工員・作業員など)	7	4.3	4.6
8	その他	7	4.3	4.6
	不明	12	7.4	
	N (%ベース)	163	100	151

問 22 あなたは今後、仕事に就きたいと思いませんか。(1つに○)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	すぐにでも仕事に就きたい、求職中である	6	3.4
2	現在抱えている不安や問題が解決されれば、仕事に就きたい	63	35.6
3	今すぐにはではないが、いずれは仕事に就きたい	89	50.3
4	今後も仕事に就くつもりはない、就く必要がない	19	10.7
	N (%ベース)	177	100

問 22 で 1～3 のいずれかを選んだ方におたずねします。

問 23 あなたが（再び）働きたいと思う理由は何ですか。（3つ以内に○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	生計(食費・光熱費などの生活基盤)を維持・補助するため	87	55.1	55.4
2	老後資金や結婚資金など将来に備えるため	48	30.4	30.6
3	子どもの教育費のため	72	45.6	45.9
4	住宅ローン・奨学金など借金返済のため	16	10.1	10.2
5	自分の能力や資格を活かしたいから	30	19.0	19.1
6	社会や他人とのつながりを持ちたいから	48	30.4	30.6
7	自分の力を活かして社会や地域に貢献したいから	24	15.2	15.3
8	キャリアを再開し、能力を高め、成長したいから	10	6.3	6.4
9	経済的に自立したいから	24	15.2	15.3
10	自分自身の収入が欲しいから	55	34.8	35.0
11	‘働くこと’は当たり前だから	7	4.4	4.5
12	時間に余裕があるから	14	8.9	8.9
13	その他	2	1.3	1.3
	不明	1	0.6	
	N (%ベース)	158	100	157

問 22 で 1～3 のいずれかを選んだ方におたずねします。

問 24 あなたが今（再び）働き始める場合、どのような働き方（雇用形態）を望みますか。また、将来的にどのような働き方を望みますか。

<現在望む働き方> 1つ選択

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	正規の社員・職員でフルタイム勤務	12	7.6	9.3
2	正規の社員・職員で短時間勤務	20	12.7	15.5
3	パート・アルバイト	71	44.9	55.0
4	派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員でフルタイム勤務	0	0.0	0.0
5	派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員で短時間勤務	15	9.5	11.6
6	在宅勤務・テレワーク	9	5.7	7.0
7	起業(自分で事業を始める)	1	0.6	0.8
8	自営業・家族従業(法人以外)	0	0.0	0.0
9	その他	1	0.6	0.8
	不明	29	18.4	
	N (%ベース)	158	100	129

<将来望む働き方> 1つ選択

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	正規の社員・職員でフルタイム勤務	37	23.4	28.9
2	正規の社員・職員で短時間勤務	27	17.1	21.1
3	パート・アルバイト	26	16.5	20.3
4	派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員でフルタイム勤務	7	4.4	5.5
5	派遣・嘱託・契約・非常勤などの従業員で短時間勤務	14	8.9	10.9
6	在宅勤務・テレワーク	6	3.8	4.7
7	起業(自分で事業を始める)	7	4.4	5.5
8	自営業・家族従業(法人以外)	2	1.3	1.6
9	その他	2	1.3	1.6
	不明	30	19.0	
	N (%ベース)	158	100	128

問 22 で1～3のいずれかを選んだ方におたずねします。

問 25 あなたが（再び）働く場合、資格や経験を活かして仕事したいと思いますか。（1つに○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	取得している資格及び前職での経験の両方を活かしたい	35	22.2	22.6
2	取得している資格を活かしたい	17	10.8	11.0
3	前職での経験を活かしたい	25	15.8	16.1
4	取得している資格や前職の経験とは関係のない仕事をしたい	11	7.0	7.1
5	仕事内容は特に問わない	67	42.4	43.2
	不明	3	1.9	
	N (%ベース)	158	100	155

問 22 で1～3のいずれかを選んだ方におたずねします。

問 26 あなたが、現在持っている資格は何ですか。また、今後仕事に活かすために取得したいと思う資格は何ですか。（自由回答）

<回答者 現在持っている資格 95 人、今後取得したい資格 47 人>

問 22 で「2. 現在抱えている不安や問題が解決されれば、仕事に就きたい」を選んだ方におたずねします。

問 27 あなたが今後、仕事をしようとする上で、不安に思うことや問題になることは何ですか。（3つ以内に○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	就職・再就職することについて、夫・パートナーや家族の理解を得られるか	1	1.6
2	夫・パートナーや家族が家事・育児・介護などを分担してくれるか	15	23.8
3	保育サービス、介護サービスなどが利用できるか	15	23.8
4	必要な技術や知識が自分に十分あるか、対応できるか	14	22.2
5	離職期間が長いこと	15	23.8
6	自分の体力・健康	27	42.9
7	職場の人間関係	12	19.0
8	労務環境（長時間労働、有給が取得できるかなど）	9	14.3
9	育児・介護と仕事を両立するための勤務制度を利用できるか	22	34.9
10	希望する職種や仕事内容、処遇の会社が見つかるか	21	33.3
11	希望する通勤時間・通勤距離での仕事であるか	19	30.2
12	家族の転勤、転居	1	1.6
13	その他	1	1.6
	N (%ベース)	63	100

問 22 で「4. 今後も仕事に就くつもりはない、就く必要がない」を選んだ方におたずねします。

問 28 今後も仕事に就くつもりはない、就く必要がないのは、どのような理由からですか。（3つ以内に○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	経済的に働く必要がないから	10	52.6
2	地域活動、PTA活動、ボランティアなどをやりたいから	2	10.5
3	趣味を充実させたいから	2	10.5
4	就職せずに今後も家事・育児・介護などに専念したいから	12	63.2
5	就職したいが、家事・育児・介護などと両立する自信がないから	3	15.8
6	就職・再就職について夫・パートナーや家族の理解がなく、対立したくないから	0	0.0
7	夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担できないから（長時間労働、単身赴任など）	1	5.3
8	夫・パートナーが家事・育児・介護などを分担してくれないから（理解がない、意識に欠ける）	0	0.0
9	女性は働かずに家事や育児などを担うべきだと思うから	0	0.0
10	職場の人間関係が不安だから	2	10.5
11	健康面に不安があるから	7	36.8
12	その他	3	15.8
	N (%ベース)	19	100

問 29 あなたが（再び）働くために、企業に求めることは何ですか。（3つ以内に○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	キャリアの構築をサポートする制度や企業文化がある	5	2.8	3.0
2	長期間働き続けることができる	23	13.0	13.6
3	取得している資格や経験を発揮できる業務に従事させてくれる	14	7.9	8.3
4	自分の希望に見合った給料がもらえる	25	14.1	14.8
5	責任のある仕事を任せてくれる	3	1.7	1.8
6	社内研修などスキルアップの機会が充実している	6	3.4	3.6
7	勤務時間や働き方が柔軟である(短時間勤務、テレワークなど)	91	51.4	53.8
8	残業が少ない、または残業がない	45	25.4	26.6
9	土日祝日出勤がない	65	36.7	38.5
10	有給休暇がとりやすい	22	12.4	13.0
11	仕事と家事・育児・介護との両立について理解がある	100	56.5	59.2
12	男女で業務内容が異なるなどの性別役割分担意識がない	3	1.7	1.8
13	職場の人間関係が良い	65	36.7	38.5
14	企業内保育所が整備されている	7	4.0	4.1
15	その他	2	1.1	1.2
16	特に求めることはない	2	1.1	1.2
	不明	8	4.5	
	N (%ベース)	177	100	169

問 30 あなたが（再び）働くために、行政からどのような支援が必要だと思いますか。（3つ以内に○）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	技術・能力向上のための訓練・講座	36	20.3	21.4
2	不安や悩み、能力開発や就職活動に関する相談窓口	31	17.5	18.5
3	就職・再就職のための支援情報や求人に関する情報提供、求人元とのマッチング	50	28.2	29.8
4	求人企業などでのインターンシップ(就労体験)の実施	12	6.8	7.1
5	女性の働き方(離職率や再就職の状況など)に関する情報提供	32	18.1	19.0
6	保育・介護などに関する公的サービスの充実	69	39.0	41.1
7	女性の採用・登用や、育児・介護と仕事を両立するための勤務制度の整備・運用についての、企業への働きかけ	97	54.8	57.7
8	起業に関する情報提供	8	4.5	4.8
9	その他	3	1.7	1.8
10	特に支援は必要ない	11	6.2	6.5
	不明	9	5.1	
	N (%ベース)	177	100	168

問 31 あなたが就職するために「足りないと感じている」ことについて、さらに何かあればご記入ください。（自由回答）

<回答者 52人>

[自由意見]

全ての方（収入を伴う仕事をしている方、収入を伴う仕事をしていない方）におたずねします。

問 32 女性が働くこと・働き続けることについて、あなたのお考えをご記入ください。（自由回答）

<回答者 569人>

女性 の 就 業 ニ ー ズ 調 査

報 告 書

平 成 29 年 度

発 行 横浜市政策局男女共同参画推進課
〒231-0017 横浜市中区港町1-1
電 話 045 (671) 2035 (直通)
F A X 045 (663) 3431
